

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	市社会福祉協議会活動促進費						決算書P.	91
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	社会福祉課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
7,162	0	0	0	7,162

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		12,097	9,250	7,162	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		11,145	9,214	6,900	18負担金補助及び交付金	7,162	6,900			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
一般財源		11,145	9,214	6,900						
対前年度比 (増減額)			△1,931	△2,314						
対前年度比 (増減率)			△17.3%	△25.1%						
					合計	7,162	6,900			

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

- 社会福祉協議会が実施する地域福祉の推進を目的とした事業費の一部を補助することにより、地域における市民全体の社会福祉の実現を図る。
- 成果としては、各地区で行われる地域福祉活動に対する支援、家庭等における心配ごと相談所や法律相談を開設するなど、幅広い福祉施策を展開し、その充実に寄与した。

【事業の実施内容】

<内訳>

- ・ 人件費（10人分） 6,271,458円
- ・ 心配ごと相談所事業 625,261円
- ・ 身元不明者供養費 3,452円
- 計 6,900,171円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	社会福祉総務費							決算書	P.	91
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	社会福祉課			

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
4,051	5,429	0	0	9,480

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		417	33,850	9,480	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		415	33,586	9,263	7報償費	377	216			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	20	18			
	県支出金	0	0	562	11役務費	10	3			
	市 債	0	0	0	12委託料	2,927	2,927			
	その他	0	0	0	13使用料及び賃借料	312	265			
	一般財源	415	33,586	8,701	18負担金補助及び交付金	405	405			
対前年度比 (増減額)			33,171	△24,323	22償還金、利子及び割引料	5,429	5,429			
対前年度比 (増減率)			7993.0%	△72.4%						
							合計	9,480	9,263	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

○ 社会福祉の事務管理経費を一括管理し、事務の効率化を図る。

【事業の実施内容】

＜主要内訳＞

- | | |
|-----------------|-------------|
| ・ 地域福祉計画策定委員報償費 | 216,500 円 |
| ・ 需用費 | 17,755 円 |
| ・ 通信運搬費 | 2,545 円 |
| ・ 監査指導支援費 | 165,000 円 |
| ・ 地域福祉計画策定業務 | 2,761,917 円 |
| ・ 使用料及び賃借料 | 265,103 円 |
| ・ 負担金補助及び交付金 | 405,000 円 |
| ・ 国庫支出金等返還金 | 5,429,000 円 |
| 計 | 9,262,820 円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	民生委員関係費							決算書	P.	93
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	社会福祉課			

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
12,605	0	0	25	12,630

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		12,422	12,526	12,630	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		12,342	12,416	12,370	1報酬	50	50			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	7報償費	5,640	5,380			
	県支出金	534	545	563	12委託料	6,940	6,940			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	11,808	11,871	11,807						
対前年度比 (増減額)			74	△46						
対前年度比 (増減率)			0.6%	△0.4%						
							合計	12,630	12,370	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

○ 地域住民の生活上における様々な相談に応じ、適切な支援やサービスのパイプ役としての役割を果たすとともに、高齢者や障がい者世帯の見守りや安否確認を行った。

成果として、市民が抱える不安や悩みごとを解消の方向に導き、市民の安心・安全な街づくりに寄与した。

【事業の実施内容】

＜主要内訳＞

- ・ 民生委員推薦会委員報酬 50,000円
- ・ 民生委員児童委員報償費 5,380,000円
- 支給対象者数 91人
- ・ 民生委員・児童委員関係業務委託 6,939,796円
- 八街市民生委員児童委員協議会に係る運営業務委託

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	社会を明るくする運動運営費							決算書	P. 93
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	社会福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
125	0	0	0	125

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		125	125	125	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		82	117	124	10需用費 ①消耗品費	124	124			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	11役務費	1	0			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	82	117	124						
対前年度比 (増減額)			35	7						
対前年度比 (増減率)			42.7%	6.0%						
							合計	125	124	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

- 犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築くため、強化月間にPR活動や、社会を明るくする運動「作文コンテスト」を実施する。
- 公共施設や集会施設などにポスターを掲示したほか、小中学生を対象とした作文コンテストを実施し、犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生について、理解を深めてもらうきっかけを築いた。

【事業の実施内容】

- ・啓発、表彰用消耗品 123,653円
公共施設や集会施設におけるポスター掲示、イオンでの啓発活動、作文コンテストを実施し、市内小学生から11点応募あり。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	福祉団体活動費							決算書	P. 93
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	社会福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
122	0	0	0	122

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		158	212	122	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	158	122	18負担金補助及び交付金	122	122			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
一般財源		0	158	122						
対前年度比 (増減額)			158	△36						
対前年度比 (増減率)			皆増	△22.8%						
							合計	122	122	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

- 社会福祉の増進を図るための活動や事業を展開する福祉団体を支援するため、補助金を支出し、地域福祉の更なる増進を図る。
- 各福祉団体の活動が円滑に実施され、地域福祉の増進につなげることができた。

【事業の実施内容】

- ・成田八街地区保護司会八街支部 121,500円
※八街市遺族会、八街市更生保護女性会及び八街市ＢＢＳ会は、令和5年度は交付を辞退。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	生活困窮者自立支援事業費							決算書	P.	93
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	社会福祉課			

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
34,348	8,324	0	0	42,672

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		63,802	44,475	42,672	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		60,283	33,352	33,176	12委託料	25,616	24,342			
特定財源	国庫支出金	21,711	21,664	23,364	19扶助費	8,732	510			
	県支出金	0	0	0	22償還金、利子及び割引料	8,324	8,324			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	38,572	11,688	9,812						
対前年度比 (増減額)			△26,931	△176						
対前年度比 (増減率)			△44.7%	△0.5%						
							合計	42,672	33,176	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

平成27年4月施行の生活困窮者自立支援法に基づく事業

必須事業

1. 自立相談支援事業：生活保護（現に生活に困窮している世帯への金銭給付等）が必要になる前段階で生活に困窮する恐れのある方に寄り添った相談支援を行い、問題解決（税・公共料金等の滞納の長期化防止、家計の収支バランスの見直し等）を目指す支援事業
2. 住居確保給付金：2年以内に離職・廃業した方、休業等により収入が減少し、住居を失う恐れのある方へ家賃相当分を支給

任意事業（実施しているもの）

3. 生活困窮者就労準備支援事業：一般就労が困難な方への就労に向けた基礎能力の形成を計画的かつ一貫して支援するもの
4. 生活困窮者家計改善支援事業：家計管理方法の提案や支援を行い、家計管理のスキルを身につけることにより安定した生活を送れるよう支援するもの

【事業の実施内容】

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------------|--------|
| 1. 自立相談支援事業 | 新規相談205件 | 支援計画作成56件 | 勤労者27人 |
| 2. 住居確保給付金 | 給付金決定件数2件 | 延べ14月分の家賃相当分を支給 | |
| 3. 就労準備支援事業 | 延べ支援回数23回 | | |
| 4. 家計改善支援事業 | 延べ支援回数31回 | | |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費							決算書	P.	93.95
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 1 目	事業種別	新規	担当課等	社会福祉課			

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	813,385	0	0	813,385

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	466,569	813,385	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	372,742	780,474	3職員手当等	1,950	1,939			
特定財源	国庫支出金	0	372,742	763,805	10需用費 ①消耗品費	600	546			
	県支出金	0	0	0	11役務費	6,578	3,994			
	市 債	0	0	0	12委託料	48,190	44,369			
	その他	0	0	0	13使用料及び賃借料	2,322	2,321			
	一般財源	0	0	16,669	14工事請負費	275	275			
対前年度比 （増減額）			372,742	407,732	18負担金補助及び交付金	753,470	727,030			
対前年度比 （増減率）			皆増	109.4%						
								合計	813,385	780,474

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

国における令和5年3月22日の第8回物価・賃金・生活総合対策本部において、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を増額・強化し、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金に新たに低所得世帯支援枠が創設されたことを受け、令和5年度住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対して、1世帯3万円を給付した。

また、令和5年11月2日閣議決定された「デフレ完全脱却のための総合経済対策」において、物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金の低所得世帯支援枠が拡大され、令和5年度物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和5年度住民税非課税世帯及び家計急変世帯1世帯あたり7万円給付した。

【事業の実施内容】

第1回期間 令和5年 7月18日～令和5年10月 2日

第2回期間 令和5年12月12日～令和6年 2月29日

支給実績 1世帯あたり3万円 7,278世帯

1世帯あたり7万円 7, 267世帯

令和 5 年度 主要な施策の成果

事業費名	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費（均等割）							決算書	P.	95
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 1 目	事業種別	新規	担当課等	社会福祉課			

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	306,868	0	0	306,868

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	0	306,868	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	0	139,393	10需用費 ④印刷製本費	259	258			
特定財源	国庫支出金	0	0	139,393	11役務費	1,314	35			
	県支出金	0	0	0	12委託料	28,449	0			
	市 債	0	0	0	13使用料及び賃借料	1,846	0			
	その他	0	0	0	18負担金補助及び交付金	275,000	139,100			
一般財源		0	0	0						
対前年度比 （増減額）			0	139,393						
対前年度比 （増減率）			0.0%	皆増						
							合計	306,868	139,393	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

令和5年12月22日、経済対策に盛り込んだ低所得世帯向け給付などの財源として、2023年度予備費を拠出すると閣議決定されました。

令和５年度住民税所得割が非課税で住民税の一部の「均等割」のみ納めている世帯へ1世帯あたり10万円給付、低所得の子育て世帯に対する18歳以下の子ども1人あたり5万円の給付する。

今事業は令和6年度に続くため明許繰越をした。

【事業の実施内容】

申請期間 令和6年3月1日～令和6年4月30日

支給実績 1世帯あたり10万円 1,391世帯(令和6年3月31日現在)

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	総合保健福祉センター管理費							決算書P.	95
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	財政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
72,375	0	0	0	72,375

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		18,416	38,188	72,375	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		18,074	37,301	66,699	10需用費 ①消耗品費	197	190			
特定財源	国庫支出金	226	0	0	10需用費 ②燃料費	6,767	6,007			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ⑤光熱水費	2,957	2,779			
	市 債	1,000	16,300	44,500	10需用費 ⑥修繕料	3,000	2,767			
	その他	0	0	0	12委託料	6,472	5,107			
	一般財源	16,848	21,001	22,199	13使用料及び賃借料	418	349			
対前年度比 (増減額)			19,227	29,398	14工事請負費	52,564	49,500			
対前年度比 (増減率)			106.4%	78.8%						
							合計	72,375	66,699	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

○ 総合保健福祉センターの適切な管理を行い、市民の福祉の向上および健康の保持増進を図る。

【事業の成果】

・施設内における事故の未然防止と老朽化している建物の長寿寿命化工事等を実施することにより、市民（利用者）が安全に施設を利用しやすくなった。

- ・燃料費（空調機冷暖房用、ストーブ用灯油）
- ・光熱水費（ガス、上・下水道使用料）
- ・修繕料

主な内容: 八街市総合保健福祉センター駐車場区画線補修 495,000円、南面雨漏り修繕 161,480円、
エアハンドリングユニット部品交換作業 287,100円、1F身障者トイレ修繕154,011円 ほか

- ・委託料
空調設備保守点検、 冷却水薬注装置保守点検、自動制御機器保守点検、エレベーター保守点検、汚水槽保守点検、汚水槽産業廃棄物処分、貯湯槽保守点検

- ・工事請負費
内容：八街市総合保健福祉センター屋上キュービクル更新工事 49,500,000円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	障害者福祉諸費						決算書P.	97
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	障がい福祉課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
3,232	69,772	0	27	73,031

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		44,608	11,854	73,031	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		44,508	11,798	72,987	7報償費	96	86	18負担金補助及び交付金	190	190
特定財源	国庫支出金	0	0	173	8旅費	27	16	22償還金、利子及び割引料	69,387	69,386
	県支出金	0	143	0	10需用費①消耗品費	72	71	26公課費	33	33
	市 債	0	0	0	10需用費②燃料費	85	75			
	その他	0	21	0	10需用費④印刷製本費	66	66			
一般財源		44,508	11,634	72,814	10需用費⑥修繕料	179	168			
対前年度比(増減額)			△32,710	61,189	11役務費	663	663			
対前年度比(増減率)			△73.5%	518.6%	13使用料及び賃借料	1,848	1,848			
					17備品購入費	385	385			
					合計				73,031	72,987

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

障害者週間記念行事等障害福祉に関する事業、障害者団体補助金交付、障がい福祉課の庶務的経費、国庫負担金返還金（実績の確定による精算分を次年度で返還金として支出）

◎事業の成果

- 障害者週間に関する事業の一環である「ふれあいスポーツ大会」の実施及び千葉県障害者スポーツ大会参加随伴支援。

「ふれあいスポーツ大会」は、令和2・3年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止したが、4年度は3年ぶりに開催し、5年度は前年より87名多い140名の参加があった。

6月17日（土） スポーツプラザで開催。

- 千葉県障害者スポーツ大会 参加1名 5月28日（日） 千葉県総合運動場で開催。
- 身体障害者相談員（3名）知的障害者相談員（1名）の配置。
- 障害者自立支援システム(地域生活支援管理システム)賃借料 (株)ニック 東京支店
- 八街市身体障害者福祉会活動補助金 交付金額180,000円 会員42名

- 過年度負担金、補助金の確定に伴う返還金

障害者医療費国庫負担金	1,851,348円
障害者自立支援給付費国庫負担金	67,471,886円
地域生活支援事業費等補助金	63,000円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	幼児ことばの相談室運営費							決算書	P. 97,99
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	障がい福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
1,778	0	0	0	1,778

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		1,142	1,537	1,778	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		1,007	1,312	1,679	7報償費	1,636	1,546			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	26	25			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	2	0			
	市 債	0	0	0	11役務費	114	108			
	その他	0	0	0						
	一般財源	1,007	1,312	1,679						
対前年度比 (増減額)			305	367						
対前年度比 (増減率)			30.3%	28.0%						
							合計	1,778	1,679	

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

就学前の幼児を対象にことばのことで問題を持つ、あるいは持つと思われる幼児に対して相談を受け、その問題や障がいを経減できるよう指導・援助を行うための経費

◎事業の成果

早期に療育を開始し、必要に応じ他機関に引き継ぐ等、支援を実施した。

報償費：小兒神経科医謝礼 1名 2回分 4組実施

心理相談員謝礼 3名 延74.5日分

役務費： 傷害保険料……幼児ことばの相談室利用者を対象とした傷害保険

聴力検査機器保守点検業務……幼児用の聴力検査機器1台の保守点検料

・ことばの相談室相談、指導件数

令和元年度 171人 965件

令和2年度 142人 688件

令和3年度	160人	704件
-------	------	------

令和4年度	110人	677件
-------	------	------

令和5年度	129人	697件
-------	------	------

・グループ指導実施回数

4. 5歳児（各月1回 1グループ10人程度を3グループ）	33回	合同行事	1回
-------------------------------	-----	------	----

3歳児（各月2回 1グループ7、8人程度を1グループ） 21回

グループ指導とは…発達遅滞、自閉傾向等が見られたり、発達面で何かしらのつまづきが見られる保育園、幼稚園に通園している児童をグループに分け、グループ活動(ゲームや課題)を通して、人への意識や関わり方(対人関係)を育て、集団への適応を促す。また、保護者の集団面接を行い、お子さんへの理解の促進を図ることを目的としている。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	障害者自立支援給付事業費						決算書	P. 99
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	障がい福祉課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
1, 871, 126	176, 190	0	△ 94	2, 047, 222

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		1, 762, 610	1, 869, 661	2, 047, 222	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		1, 727, 542	1, 836, 940	2, 047, 130	11 役務費	1, 986	1, 895			
特定財源	国庫支出金	865, 482	980, 818	1, 017, 017	18 負担金補助及び交付金	3, 840	3, 840			
	県支出金	431, 179	459, 785	512, 190	19 扶助費	2, 041, 396	2, 041, 395			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
一般財源		430, 881	396, 337	517, 923						
対前年度比 (増減額)			109, 398	210, 190						
対前年度比 (増減率)			6. 3%	11. 4%						
					合計	2, 047, 222	2, 047, 130			

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

障害福祉サービスの提供、失われた身体機能を補完する補装具費用の支給等により、身体や精神、知的障がい者や特定の疾患がある者が、地域で生活を続けていけるように日常生活の支援と共に自立と社会参加の促進を図る。

◎事業の成果

障がい者（児）に対し、障がい福祉サービス等の提供、障害者医療費（更生・育成・療養介護）の給付、失われた身体機能を補完する補装具の支給等により、障がい者（児）の日常生活の支援とともに自立と社会参加を促進した。

《障害福祉サービスの給付》

		件数	金額
障がい者	居宅介護	704	46, 795, 028
	生活介護	2, 374	539, 662, 655
	療養介護・施設入所	1, 119	191, 610, 052
	就労移行・就労継続A型・B型	2, 893	427, 595, 267
	共同生活援助	1, 411	281, 592, 834
	他サービス	4, 502	94, 130, 075
	合計	13, 003	1, 581, 385, 911

		件数	金額
障がい児	児童発達支(医療型含む)	982	114, 710, 544
	放課後等デイサービス	1, 950	252, 258, 764
	他サービス	833	12, 688, 931
	合計	3, 765	379, 658, 239

		件数	金額
補装具		125	14, 046, 228
療養介護		141	11, 573, 283

《障害者医療費（更生医療・育成医療）の給付》

医療費給付件数 111件（更生107件・育成4件）

支給額 54, 731, 585円（更生54, 505, 249円・育成226, 336円）

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	介護給付費等認定事業費							決算書	P.	99
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	障がい福祉課			

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
3,598	0	0	0	3,598

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		4,170	3,563	3,598	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		3,733	3,219	3,311	1報酬	1,926	1,761			
特定財源	国庫支出金	0	0		10需用費 ①消耗品費	188	187			
	県支出金	0	0		11役務費	914	903			
	市 債	0	0	0	12委託料	570	460			
	その他	0	0							
	一般財源	3,733	3,219	3,311						
対前年度比 (増減額)			△514	92						
対前年度比 (増減率)			△13.8%	2.9%						
								合計	3,598	3,311

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

障害福祉サービスの支給決定に必要となる障害支援区分認定業務。認定調査(市職員、外部委託)と主治医意見書による一次判定をもとに審査会で二次判定を行い、支援区分が確定。

《障害支援区分》

障がいのある多様な特性や心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを表す6段階の区分。必要とされる支援の度合いに応じて適切なサービス利用ができるように導入された。

調査項目：①移動や動作等に関連する項目(12項目)

- ②身の回りの世話や日常生活等に関連する項目(16項目)
③意思疎通等に関連する項目(6項目)
④行動障がいに関連する項目(34項目)
⑤特別な医療に関連する項目(12項目)

《介護給付費等審査会》

医療、保健、精神、身体、知的の各分野の専門的な知識を有する委員による審査会を月1回開催。

◎事業の成果

介護給付等認定事業は、障害福祉サービスを利用するためには必要であり、福祉サービスの円滑な活用
に寄与している。

年度	認定調査数			審査件数			審査会報酬	
	市職	委託	合計	区分	延長	合計	延委員長数	報酬支給額
3	70	121	147	191	4	195	76	2,097,000
4	68	79	147	147	5	152	67	1,845,000
5	90	92	182	188	4	192	64	17,610,000

各分野 1 人ずつ、計 5 人の合議体
が 2 グループ

4月、3月 第1. 第2合議体合同
5月～2月 1合議体

令和3年度は3年に1回更新の
多い年度であり2.3月は月2回開催し
計14回開催

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	在宅障害者福祉費							決算書	P. 99
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	障がい福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
37,324	0	0	0	37,324

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		34,409	33,480	37,324	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		30,370	30,399	34,006	7報償費	120	120			
特定財源	国庫支出金	0	0	47	18負担金補助及び交付金	36,760	33,620			
	県支出金	15,064	15,199	16,895	19扶助費	444	266			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	3							
	一般財源	15,306	15,197	17,064						
対前年度比 （増減額）			29	3,607						
対前年度比 （増減率）			0.1%	11.9%						
							合計	37,324	34,006	

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

グループホーム・生活ホーム等への支援や日常生活用具取付費用の助成等により、地域における自立の支援及び福祉の増進を図る。

- ・グループホーム等運営費補助

市が援護する障がい者が入居するグループホームに対し、入居定員、障害支援区分により運営費を補助。

- ・グループホーム入居者家賃補助

共同生活援助事業所の入居者が支払った家賃について補助。補助基準は家賃の2分の1。上限は月額25,000円。(介護給付による補足給付がある場合は月額20,000円が上限)

- ・日常生活用具取付費

日常生活用具の給付を受けた用具の取付工事を行った場合、その工事費を1件60,000円まで助成。

- 難聴児補聴器助成費

身体障害者手帳の交付対象とならない18歳未満の難聴児に補聴器購入費用の一部を助成。

- ・小児慢性特定疾病児童等日常生活用具

小児慢性特定疾病児童等の日常生活の便宜を図るための用具日常生活用具を給付。

◎事業の成果

障がい者が利用するグループホーム等の運営費補助やグループホーム等に入所する方への家賃補助、日常生活用具の取付費の助成をすることにより経済的負担の軽減を図った。

年度	家賃補助		運営補助			日常生活用具取付		難聴児補聴器		小児慢性日常生活用具	
	人数	補助額	事業所数	人数	補助額	件数	助成額	件数	助成額	件数	助成額
3	95	10,210,604	28	109	19,928,445	3	136,500	1	75,000	0	0
4	91	10,624,029	28	104	19,512,622	4	192,354	1	70,000	0	0
5	111	12,526,945	34	121	21,092,956	2	98,500	1	72,000	1	95,670

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	地域生活支援事業費							決算書	P. 99,101
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	障がい福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
46,988	5,920	0	△ 805	52,103

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		43,545	49,157	52,103	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		41,835	41,718	47,119	7報償費	192	63			
特定財源	国庫支出金	11,306	13,370	11,462	8旅費	16	13			
	県支出金	5,608	6,742	5,840	10需用費 ①消耗品費	38	18			
	市 債	0	0	0	11役務費	402	276			
	その他	0	0		12委託料	8,121	8,065			
	一般財源	24,921	21,606	29,817	18負担金補助及び交付金	1,005	180			
対前年度比 (増減額)			△117	5,401	19扶助費	42,329	38,504			
対前年度比 (増減率)			△0.3%	12.9%						
								合計	52,103	47,119

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

様々な事業を実施し、障がい者等の福祉の増進を図るとともに障がいの有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことができる地域社会の実現をする。

《事業内容》

- | | |
|--------------------------------------|--|
| ①理解・促進事業 | ⑦移動支援事業（委託先 13事業所） |
| ②相談支援事業 | ・社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のため、外出時の移動支援 |
| ③成年後見制度利用支援事業 | ⑧地域活動支援センター機能強化事業 |
| ④意思疎通支援事業
（設置（月～金 9：00～17：00）、派遣） | ⑨訪問入浴サービス（5事業所と契約） |
| ⑤日常生活用具給付事業 | ⑩日中一時支援事業 |
| ⑥手話奉仕員養成研修事業（富里市・酒々井町と平成27年から共同開催） | ⑪知的障害者職親委託事業 |

◎事業の成果

障がい者が有する能力や適正に応じて、自立した生活を営むことができるよう柔軟な事業形態で事業実施し福祉の増進を図った。

- | | |
|----------------|---|
| ・ 成年後見制度利用支援事業 | 市長申立件数：後見 3 人 保佐 2 人 補助 1 人 |
| ・ 意思疎通支援事業 | 手話：99件 228時間 要約筆記：5件16時間 |
| ・ 日常生活用具給付事業 | 19品目 1,647件（ストマ装具、紙おむつ1,616件 入浴補助用具等31件等） |
| ・ 移動支援事業 | 延利用者数 153人 利用時間合計 1,013時間 |
| ・ 訪問入浴サービス | 延利用者数 444人（実利用人数 5人） |
| ・ 日中一時支援事業 | 延事業所 247事業所 延利用者数 511人 |
| ・ 知的障害者職親委託事業 | 委託職親数 1人 被委託者 2人 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	重度心身障害者（児）医療費助成事業費							決算書	P. 101
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	障がい福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
143,734	13,308	0	737	157,779

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		143,187	151,803	157,779	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		140,517	151,748	157,698	10需用費 ④印刷製本費	33	33			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	11役務費	1,982	1,902			
	県支出金	62,277	65,872	68,353	19扶助費	155,764	155,763			
	市 債	0	0	0						
	その他	15,963	20,003	20,968						
	一般財源	62,277	65,873	68,377						
対前年度比 (増減額)			11,231	5,950						
対前年度比 (増減率)			8.0%	3.9%						
							合計	157,779	157,698	

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかを所持し、かつ、市内に在住している重度心身障害者に対して、医療費及び保険調剤費を助成する。

◎事業の成果

重度の身体障害者、知的障害者、精神障害者の医療費及び保険調剤費を助成することにより、経済的負担を軽減し、生活の安定を図った。

給付人数 1,007人（うち児童10人）

内訳 身体障害者（うち児童）
765人（5人）

知的障害者（うち児童）
180人（5人）

精神障害者（うち児童）
62人（0人）

一人あたり月約11,154円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	福祉年金・手当等給付事業費							決算書	P. 101,103
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	障がい福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
44,701	3,655	0	135	48,491

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		49,051	49,022	48,491	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		43,164	44,802	48,487	11 役務費	9	9			
特定財源	国庫支出金	25,682	25,303	28,155	19 扶助費	48,482	48,478			
	県支出金	3,620	4,727	4,887						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	13,862	14,772	15,445						
対前年度比 (増減額)			1,638	3,685						
対前年度比 (増減率)			3.8%	8.2%						
							合計	48,491	48,487	

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

在宅の重度知的障害者及び在宅で常時特別の介護を要する重度障害者またはその方を介護している者に対して、各種手当を支給する。

- ・特別障害者手当 (月額27,980円 5・8・11・2月支給)
- ・障害児福祉手当 (月額15,220円 5・8・11・2月支給)
- ・在宅重度知的障害者福祉手当 (月額 8,650円 9・3月支給)
- ・心身障害児福祉年金 (月額 6,000円 3月支給)
- ・心身障害者扶養年金制度加入者掛金助成費 (市負担分)

◎事業の成果

在宅の重度知的障害者及び在宅で常時特別の介護を要する重度障害者またはその方を介護している者に対して、各種手当を支給することにより、生活の安定と福祉の向上を図った。

- | | | |
|----------------------------|----------------|------------|
| ・特別障害者手当 | 支給額25,865,480円 | (延べ928名) |
| ・障害児福祉手当 | 支給額11,295,524円 | (延べ745名) |
| ・心身障害児福祉年金 | 支給額1,524,000円 | (23名) |
| ・在宅重度知的障害者福祉手当 | 支給額9,774,500円 | (延べ1,130名) |
| ・心身障害者扶養年金制度加入者掛金助成費(市負担金) | 支給額19,140円 | (1名) |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	障害者手帳交付診断料等助成費						決算書P.	103
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	障がい福祉課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
1,400	0	0	0	1,400

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		1,470	1,410	1,400	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		1,301	1,354	1,370	19扶助費	1,400	1,370			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
一般財源		1,301	1,354	1,370						
対前年度比 (増減額)			53	16						
対前年度比 (増減率)			4.1%	1.2%						
					合計	1,400	1,370			

3. 事業の概要・成果

◎事業の成果

身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳の交付申請時に必要な診断書の作成費用を1件あたり2,500円を上限に助成する。

◎事業の成果

障害者手帳取得申請に必要な診断書の作成に要した費用の一部を助成することにより経済的負担が障害者手帳取得の支障にならないよう実施した。

年度	身体	精神	合計	助成額
3	198	331	529	1,301,360
4	244	304	548	1,354,160
5	192	368	560	1,370,410

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	難病療養者支援事業費							決算書	P.	103
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	障がい福祉課			

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
4,800	0	0	0	4,800

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		4,800	5,016	4,800	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		4,599	4,421	4,437	19扶助費	4,800	4,437			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	4,599	4,421	4,437						
対前年度比 (増減額)			△178	16						
対前年度比 (増減率)			△3.9%	0.4%						
							合計	4,800	4,437	

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

⑤ 特定医療費（指定難病）受給者証、千葉県小児慢性特定疾病医療受給者証、特定疾患医療受給者票、千葉県先天性血液凝固因子障害等受給者証の交付を受けている方に対して見舞金として月額1,000円（年2回支給）を支給する。

対象疾患数 特定医療費（指定難病）：341疾患
千葉県小児慢性特定疾病：16疾患群・成長ホルモン治療・762疾病
特定疾患：4疾患
千葉県先天性血液凝固因子障害等：12疾患

◎事業の成果

難病による療養者に見舞金を支給することにより、療養者やその家族の経済的負担を軽減し、生活の安定と福祉の増進を図った。

令和5年度 人数 上半期388名
下半期397名
助成金額 4,437,000円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	障害者交通費助成費						決算書	P. 103
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	障がい福祉課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
5,747	490	0	0	6,237

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		6,145	5,937	6,237	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		4,359	5,233	5,879	10需用費 ①消耗品費	35	35			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	19扶助費	6,202	5,844			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	4,359	5,233	5,879						
対前年度比 (増減額)			874	646						
対前年度比 (増減率)			20.1%	12.3%						
							合計	6,237	5,879	

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

施設通所者に対する交通費及び重度障害者に対する福祉タクシー料金を助成することにより、障がい者の日中活動及び社会参加に寄与する。

・障害者通所交通費助成

障害者事業所に通所する市内居住の障がい者に対し、通所に要する交通費の一部を助成。

- ①公共交通機関を利用の場合→上限限度額7,000円/月
②自家用自動車及び自転車の場合→ 通所距離が1kmから5km未満1,000円/月
通所距離が5km以上 2,000円/月

- ・福祉タクシー利用助成

重度心身障害者（児）が市と契約したタクシーを利用する際に、助成が受けられるタクシー券を交付する。

タクシー券1枚につき500円、1回の乗車で利用できる枚数2枚

交付枚数 年間最高48枚 (じん臓機能障害により人工透析を受けている方は年間最高96枚)

◎事業の成果

市内に居住する障がい者に対し交通費を助成することにより、障がい者の経済的負担を軽減し、日中活動支援及び社会参加の促進に努めた。

・障害者通所交通費助成

年度	人数（人）			助成額（円）		
	上半期	下半期	合計	上半期	下半期	合計
3	75	71	146	1,376,505	1,450,050	2,826,555
4	75	76	151	1,340,106	1,523,240	2,863,346
5	75	74	149	1,602,152	1,635,070	3,237,222

- ・福祉タクシー利用助成

契約機関：85社

タクシー券交付者数：480人

タクシー券交付枚数：26,120枚

タクシー券利用枚数：5,214枚

助成額：2,607,000円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	障害者基本計画策定事業費							決算書	P. 103
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 3 目	事業種別	新規	担当課等	障がい福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,094	0	0	0	2,094

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	0	2,094	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	0	1,793	1報酬	251	171			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	11役務費	97	25			
	県支出金	0	0	0	12委託料	1,746	1,597			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
一般財源		0	0	1,793						
対前年度比 (増減額)			0	1,793						
対前年度比 (増減率)			0.0%	皆増						
							合計	2,094	1,793	

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

第6期八街市障害がい福祉計画・第2期八街市障がい児福祉計画が、令和5年度に期間満了となるため、これまでの計画の進捗状況や目標数値の検証を行うとともに、国の基本指針に基づいて、令和6年度から3年間に期間とした「第7期八街市障害がい福祉計画」及び「第3期八街市障がい児福祉計画」を策定。

◎事業の成果

「第7期八街市障害がい福祉計画」及び「第3期八街市障がい児福祉計画」の策定に要した経費

- ・ 報償費： 障害者施策推進協議会 協議会開催 2 回 委員 延べ 3 4 名出席
- ・ 役務費： 障害者施策推進協議会手話通訳派遣料
- ・ 委託料： 当事者へのアンケート発送、集計
計画策定業務 2 0 0 冊作成

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	障がい福祉サービス事業者等物価高騰支援事業費							決算書	P. 103
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 3 目	事業種別	新規	担当課等	障がい福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	8,205	0	0	8,205

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	6,804	8,205	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	6,602	8,201	11役務費	5	1			
特定財源	国庫支出金	0	6,602	8,201	18負担金補助及び交付金	8,200	8,200			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	0	0						
対前年度比 （増減額）			6,602	1,598						
対前年度比 （増減率）			皆増	24.2%						
							合計	8,205	8,201	

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

物価高騰の影響を受けている障がい福祉サービス事業者に対し、給付金（原則２０万円で市内に複数事業所がある場合は４０万円）を支給することで負担の軽減を図る。

◎事業の成果

市内の障がい福祉サービス事業者（27事業所）全てに支援金を支給完了し、物価高騰の影響を受ける事業者に経済的支援を行うことで、事業所の費用負担の軽減、経営への影響を緩和し、入所している障がい者の生活環境の維持や安定した事業所運営を図ることができた。

- ・役務費： 通信運搬費（通知等郵送に係る料金）
- ・負担金補助及び交付金： 給付金 総額8,200,000円（200,000円×13件、400,000円×14件）

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	障がい者就労支援事業所管理費							決算書	P. 103
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 4 目	事業種別	継続	担当課等	障がい福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
889	0	0	0	889

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		2,405	383	889	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		2,196	383	883	13使用料及び賃借料	383	383			
特定財源	国庫支出金	1,812	0	0	14工事請負費	506	500			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	750						
	一般財源	384	383	133						
対前年度比 (増減額)			△1,813	500						
対前年度比 (増減率)			△82.6%	130.5%						
							合計		889	883

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

障がい者就労支援事業所を円滑に運営することにより、主に精神障害者に対し福祉的就労支援を図る。

- ・就職することが困難である精神障害者に対し、就労継続B型のサービスを提供

八街市東吉田729番地13

就労継続支援B型 定員20名

- ・指定管理者制度により事業実施

指定管理者：社会福祉法人光明会

指定管理期間：令和2年4月1日から令和10年3月31日まで(8カ年)

◎事業の成果

障がい者就労支援事業所の管理に要する経費

- ・使用料及び賃借料： 障がい者就労支援事業所用地賃借料
- ・工事請負費： 障がい者就労支援事業所玄関屋根修繕工事費

	開所日数 (日)	契約者数 (毎月の契約者数 の合計) (人)	延利用者数 (人)	平均利用率 (%)	時給換算工賃 (円)	平均月額工賃 (円)
3	290	467	5,845	100.78%	176.05	14,913
4	285	414	6,472	113.54%	200.00	15,633
5	287	386	5,831	101.59%	213.70	16,140

《日課》	7:30~8:30	送迎
------	-----------	----

8:30～15:00 バイタルチェック、朝礼、作業、終礼

15:00～16:00 送迎、希望者に対し個別相談

《作業内容》 農産物の計量、袋詰め

部品の組み立て

シール貼り

ウエス製作（たたみ・梱包）

有機栽培輕作業

落花生の皮むき 等

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	高齢者福祉諸費							決算書	P. 105
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	高齢者福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
348	△ 113	0	0	235

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		156	43	235	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		118	31	217	1報酬	192	186			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ②燃料費	29	17			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ⑥修繕料	14	14			
	市 債	0	0	0	11役務費	0	0			
	その他	0	0	0	17備品購入費	0	0			
	一般財源	118	31	217	26公課費	0	0			
対前年度比 (増減額)		△87	186							
対前年度比 (増減率)		△73.7%	600.0%							
							合計	235	217	

3. 事業の概要・成果

●事業の概要

高齢者福祉にかかる事務経費を計上し、事務効率等の向上を図る。
 需用費燃料費は、業務用車両1台分の費用。
 業務用車両は12月に廃車。
 廃車と同時に新規業務用車両購入契約の締結をしたが、受注者の事情により次年度に繰り越して購入。

●事業の実施内容

高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に伴う審議会の開催
審議会委員報酬 186,500円

業務用車両燃料費	16,601円
業務用車両修繕	13,915円

●事業の成果

円滑な事務の執行に努めた。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	老人ホーム入所援護対策費							決算書	P. 105
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	高齢者福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
20,657	△ 3,658	0	0	16,999

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		19,256	18,079	16,999	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		17,337	18,036	16,338	1報酬	40	0			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	12委託料	16,959	16,338			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	3,942	4,278	4,248						
	一般財源	13,395	13,758	12,090						
対前年度比 (増減額)			699	△1,698						
対前年度比 (増減率)			4.0%	△9.4%						
							合計	16,999	16,338	

3. 事業の概要・成果

●事業の概要

老人福祉法に基づき、環境上及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な65歳以上の者等について入所等の措置をとるもの。

●事業の成果

居宅で生活することが困難な高齢者を養護老人ホーム等に入所させ、生活の維持・安定を
☒ することができた。

年度	入所	退所	年度末入所者	入所先(年度末)	
				養護老人	左記以外
3年度	0	0	8	8	0
4年度	1	0	9	9	0
5年度	1	3	7	6	1

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	在宅老人援護対策費							決算書	P. 105
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	高齢者福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
39,275	320	0	1,086	40,681

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		50,651	50,948	40,681	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		46,106	50,931	40,649	10需用費 ①消耗品費	99	82			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	115	112			
	県支出金	0	0	0	11役務費	11	1			
	市 債	0	0	0	12委託料	21,468	21,466			
	その他	416	1,394	1,533	18負担金補助及び交付金	72	72			
	一般財源	45,690	49,537	39,116	19扶助費	18,916	18,916			
対前年度比 (増減額)			4,825	△10,283						
対前年度比 (増減率)			10.5%	△20.2%						
							合計	40,681	40,649	

3. 事業の概要・成果

- 事業の概要 介護保険以外の高齢者福祉事業の委託料、扶助費等
高齢者外出支援タクシー利用助成＝運転免許を持たない高齢者にタクシー助成券を交付し外出を支援。
はり、きゅう、マッサージ等施設利用助成＝はり、きゅう、あん摩、マッサージ、指圧の助成券を交付し、健康維持を図る。／ひとり暮らし高齢者等訪問＝高齢者宅を傾聴ボランティアが月1回程度訪問し、孤立の防止に努める。／緊急通報装置設置(貸与)＝急病などの緊急時に容易に通報できる装置を設置(貸与)し在宅支援。

●事業の成果

高齢者の孤立防止、健康維持、在宅・外出支援が図られた。

高齢者外出支 援タクシー利 用助成	年度	交付枚数	利用枚数	利用率	申請者数	申請率※
	3年度	81,072	44,211	54.5%	2,818	13.25%
	4年度	90,981	49,920	54.9%	3,204	14.69%
	5年度	56,772	27,480	48.4%	3,180	14.47%

$$\text{※申請率} = \frac{\text{申請者数}}{\text{高齢者人口}}$$

はり、きゅう、マッサー ジ等施設利用 助成	年度	交付枚数	利用枚数	利用率	申請者数	申請率※
	3年度	12,366	4,224	34.2%	1,164	5.47%
	4年度	16,155	4,817	29.8%	1,463	6.71%
	5年度	19,074	5,176	27.1%	1,684	7.66%

高齢者人口（年度末）

後期高齢者分は長寿・健康増進事業補助金交付（特定財源・その他 に記載）

	年度	訪問希望者	訪問回数	ボランティヤ集人数	緊急通報装置の設置（貸与）	年度末設置（貸与）件数	相談・連絡	救急搬送
ひとり暮らし 高齢者等訪問	3 年度	12	42	8		465	547	62
	4 年度	14	70	16		497	543	40
	5 年度	18	131	21		525	598	41

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	敬老事業費						決算書	P. 105
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	高齢者福祉課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,349	△ 485	0	△ 78	1,786

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		17,552	6,479	1,786	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		13,406	6,478	1,785	7報償費	850	850			
特定財源	国庫支出金	12,578	0	0	10需用費 ①消耗品費	26	26			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	140	139			
	市 債	0	0	0	11役務費	770	770			
	その他	0	2	0						
一般財源		828	6,476	1,785						
対前年度比 (増減額)			△6,928	△4,693						
対前年度比 (増減率)			△51.7%	△72.4%						
					合計					
									1,786	1,785

3. 事業の概要・成果

●事業の概要

高齢者の長寿を祝うことで福祉の増進に寄与するもの。

●事業の実施状況

- ・100歳高齢者(17名)へ1人50,000円の祝金を贈呈。
- ・敬老会の開催に替え、75歳以上の高齢者に敬老祝品として、ポストカードと市長の祝い状を贈呈。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	高齢者生きがい対策事業費							決算書	P. 107
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	高齢者福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
1,373	△ 77	0	△ 12	1,284

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		1,476	1,269	1,284	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		1,417	1,264	1,223	18負担金補助及び交付金	1,284	1,223			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	774	744	718						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	643	520	505						
対前年度比 (増減額)			△153	△41						
対前年度比 (増減率)			△10.8%	△3.2%						
							</			

3. 事業の概要・成果

- ## ●事業の概要

高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動や社会参加の促進のため、シニアクラブ連合会等の活動を支援するもの。

市シニアクラブ連合会への活動補助金と県連合会の負担金を計上。

- ## ●事業の実施内容

千葉県老人クラブ連合会負担金 146,160円

市シニアクラブ活動補助金	1,077,000円
--------------	------------

- ## ●事業の成果

市シニアクラブ連合会が市内の単位老人クラブ(シニアクラブ)を総括し、千葉県老人クラブ連合会及び印旛地区高齢者クラブ連合会の事業に参加するとともに、連合会を通じて単位老人クラブの活動を支援した。

シニアクラブ数：26 会員数：1,136人（令和5年4月1日）

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	後期高齢者医療特別会計繰出金							決算書	P. 107
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	国保年金課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
177,616	△ 812	0	0	176,804

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		156,837	165,886	176,804	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		156,837	165,886	176,804	繰出金	176,804	176,804			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	113,406	119,840	128,275						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
一般財源		43,431	46,046	48,529						
対前年度比 (増減額)			9,049	10,918						
対前年度比 (増減率)			5.8%	6.6%						
							合計	176,804	176,804	

3. 事業の概要・成果

後期高齢者医療における事務経費等の市負担分、低所得者の保険料の軽減分を公費負担するもの。後期高齢者医療の安定運営が図られた。

(特例財源：民生費県負担金／後期高齢者医療保険基盤安定負担金)

高齢者の医療の確保に関する法律 第99条（市町村の特別会計への繰入れ等）

1. 事務費繰出金（総事業費－収入額）
2. 保険基盤安定繰出金（保険料軽減相当分）広域連合の試算による。

低所得者の均等割額の減額分と被用者保険の被扶養者であった被保険者の均等割額減額分の合計額を負担するもの。

負担額の4分の3について県から交付。一般会計から後期高齢者医療特別会計に繰出し、後期高齢者医療広域連合負担金として広域連合に納付。

	1. 事務費繰出金	前年度比	2. 保険基盤安定繰出金	2の対象者	前年度比
3 年度	5,628,000	-7.1%	151,208,570	6,272	2.1%
4 年度	6,098,000	8.4%	159,787,747	6,699	5.7%
5 年度	5,771,000	-5.4%	171,032,675	7,226	7.0%

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	後期高齢者医療事業費							決算書	P. 107
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	国保年金課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
650,208	△ 2,694	0	0	647,514

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		596,212	629,144	647,514	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		591,068	625,476	647,513	18負担金補助及び交付金	647,514	647,513			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	591,068	625,476	647,513						
対前年度比 (増減額)			34,408	22,037						
対前年度比 (増減率)			5.8%	3.5%						
							合計	647,514	647,513	

3. 事業の概要・成果

高齢者の医療の確保に関する法律等に基づき、後期高齢者医療被保険者にかかる療養給付費等の一部を広域連合の構成市町村が負担するもの。
千葉県後期高齢者医療広域連合の運営の安定が図られた。

1. 後期高齢者医療広域連合 共通経費負担金

広域連合の試算を基に負担するもの。（県広域連合規約第18条）

均等割(10%)・・・・・・・・共通経費×10%/県内54市町村

人口割(40%)……………共通経費×40%×人口(八街市)／人口(千葉県)

$$\text{高齡者人口割}(50\%) \cdots \text{共通経費} \times 50\% \times \text{高齡者人口(八街市)} / \text{高齡者人口(千葉県)}$$

2. 後期高齢者医療 定率市町村負担金

療養の給付等に要する費用の額から特定費用(現役並み所得の被保険者の療養給付費)を除いた額について、広域連合の試算を基に負担するもの。(法定負担率 1/12)
(高齢者の医療の確保に関する法律第98条)

$$(\text{療養給付費}-\text{特定費用}) \times (\text{法定負担率} \quad 1/12)$$

3. 支出の内訳

	1. 共通経費負担金	前年度比	2. 定率市町村負担金	前年度比
3 年度	23,906,154	-3.7%	567,162,000	0.0%
4 年度	23,250,989	-2.7%	602,225,000	6.2%
5 年度	31,404,082	35.1%	616,109,000	2.3%

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	高齢者の保健・介護予防一体的実施事業						決算書P.	107
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	国保年金課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
3,779	0	0	0	3,779

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	3,387	3,779	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	715	301	10需用費 ①消耗品費	20	0			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	11役務費	52	16			
	県支出金	0	0	0	12委託料	3,707	285			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	409	244						
一般財源		0	306	57						
対前年度比 (増減額)			715	△414						
対前年度比 (増減率)			皆増	△57.9%						
					合計	3,779	301			

3. 事業の概要・成果

高齢者の生活習慣病等の重症化の予防と生活機能の低下を防止する取り組みの双方を、市町村が中心となって推進し、高齢者の健康増進を図るもの。
国民健康保険、後期高齢者医療保険の受診状況や健康診査結果、介護認定状況等の様々な数値から地域の健康課題等を抽出し、2つの区分で事業を実施。千葉県後期高齢者医療広域連合から受託し、事業に係る委託料、消耗品費、通信運搬費を計上。
(特定財源：高齢者保健介護一体化事業受託収入)

1. 高齢者に対する個別支援（ハイリスクアプローチ）

健康状態不明者を対象に質問票の発送、個別訪問等により状況を把握。

	対象者数	回答者数	回答率	個別把握
4 年度	198	44	22.2%	11
5 年度	216	100	46.3%	34

2. 通いの場等への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）

通いの場に講師を派遣し、介護予防を目的に運動指導と体力測定を実施。
※通いの場・・・地域の高齢者等が定期的に集まり、趣味活動や体操などの介護予防のための活動を行う、住民が主体となって運営される場。

	実施回数	参加者数
4 年度	2	48
5 年度	3	31

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	介護予防・生活支援総合事業費						決算書	P. 107
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 5 目	事業種別	新規	担当課等	高齢者福祉課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
1,134	0	0	0	1,134

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	0	1,134	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	0	1,134	12委託料	1,134	1,134			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	1,134						
	一般財源	0	0	0						
対前年度比 (増減額)			0	1,134						
対前年度比 (増減率)			0.0%	皆増						
					合計	1,134	1,134			

3. 事業の概要・成果

●事業の概要

地域包括ケアシステムの推進のため、介護予防・日常生活支援総合事業の体制構築を図る。

●事業の成果

介護予防・日常生活支援総合事業に関わる地域包括支援センター職員、リハビリテーション専門職、居宅介護支援事業所の介護支援専門員、介護保険サービス事業所職員等に対して、事業内容の理解を深め効果的に実践できるよう研修等を実施。

研修内容及び参加延べ人数

令和5年度

研修名	回数	のべ参加者数
介護予防ケアマネジメント研修	3 回	4 6 人
通所型サービスCモデル事業報告会	1 回	1 0 人
先行自治体見学（豊島区通所型サービスC事業）	1 回	5 人
自立支援型地域ケア会議	1 2 回	1 1 5 人

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	介護サービス事業者等物価高騰支援事業費							決算書	P. 107
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 5 目	事業種別	新規	担当課等	高齢者福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	14,609	0	0	14,609

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	14,008	14,609	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	13,804	14,404	11 役務費	9	4			
特定財源	国庫支出金	0	13,804	14,404	18 負担金補助及び交付金	14,600	14,400			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	0	0						
対前年度比 (増減額)			13,804	600						
対前年度比 (増減率)			皆増	4.3%						
							合計	14,609	14,404	

3. 事業の概要・成果

【概要】

- ・ コロナ禍における原油価格、物価高騰の影響を受けている介護サービス事業者等に対し、経営支援するため給付金を支給する。

通信運搬費

4, 200 円

給付金

$$22 \text{ 事業者} \times 400,000 \text{ 円} = 8,800,000 \text{ 円}$$
$$25 \text{ 事業者} \times 200,000 \text{ 円} = 5,600,000 \text{ 円}$$

【成果】

- ・ 給付金を支給することにより、介護サービス事業者等の費用負担の軽減、経営への影響を緩和し、入所している高齢者の生活環境の維持や安定した事業運営を図ることができた。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	老人福祉センター管理運営費							決算書	P.	109
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 6 目	事業種別	継続	担当課等	高齢者福祉課			

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
33,786	0	0	885	34,671

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		31,651	33,508	34,671	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		31,602	33,506	34,668	10需用費 ⑥修繕料	56	55			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	11役務費	62	61			
	県支出金	0	0	0	12委託料	33,655	33,654			
	市 債	0	0	0	13使用料及び賃借料	898	898			
	その他	30	0	0						
	一般財源	31,572	33,506	34,668						
対前年度比 (増減額)			1,904	1,162						
対前年度比 (増減率)			6.0%	3.5%						
							合計		34,671	34,668

3. 事業の概要・成果

- ## ●事業の概要

令和3年度より指定管理者制度を導入し、社会福祉協議会へ委託。
老人福祉センター送迎用のマイクロバスについては、従前どおり市で管理のため、令和2年4月1日から令和6年3月31日までのリース契約に伴い、役務費、使用料及び賃借料を計上。

※昭和53年4月開所。鉄筋コンクリート平屋・597.75m²

- ・開館時間 午前9時から午後5時まで
- ・休館日 月曜日及び年末年始(12月28日～翌年1月4日)

- ## ●事業の成果

老人福祉センターの運営と施設の維持管理に努めた。

年度	開館日数	利用延べ人数
4年度	306	18,178人
5年度	308	20,102人

令和 5 年度 主要な施策の成果

事業費名	老人憩いの家管理運営費							決算書	P. 109
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 6 目	事業種別	継続	担当課等	高齢者福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
5,455	△ 100	0	28	5,383

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		4,599	5,019	5,383	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		4,579	5,017	5,382	10需用費 ⑥修繕料	0	0			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	12委託料	5,305	5,304			
	県支出金	0	0	0	14工事請負費	0	0			
	市 債	0	0	0	17備品購入費	78	78			
	その他	0	282	0						
	一般財源	4,579	4,735	5,382						
対前年度比 (増減額)			438	365						
対前年度比 (増減率)			9.6%	7.3%						
							合計	5,383	5,382	

3. 事業の概要・成果

- ## ●事業の概要

令和3年度より指定管理者制度を導入し、社会福祉協議会へ委託。

※平成5年4月開所。鉄骨平屋・290.25m²。

- ・開館時間 午前9時から午後5時まで
- ・休館日 月曜日及び年末年始(12月28日～翌年1月4日)

- ## ●事業の成果

南部老人憩いの家の運営と施設の維持管理に努めた。

年度	開館日数	利用延べ人数
4年度	302	1,302人
5年度	306	2,406人

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	介護保険特別会計繰出金							決算書	P. 109
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 7 目	事業種別	継続	担当課等	高齢者福祉課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
760,820	9,497	0	0	770,317

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		728,423	742,602	770,317	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		728,423	742,600	770,303	繰越金	770,317	770,303			
特定財源	国庫支出金	37,173	38,553	39,864						
	県支出金	18,587	19,277	19,932						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
一般財源		672,663	684,770	710,507						
対前年度比 (増減額)			14,177	27,703						
対前年度比 (増減率)			1.9%	3.7%						
							合計	770,317	770,303	

3. 事業の概要・成果

介護保険法の定めるところにより、介護保険事業を行うにあたっての市の法定負担金であります。

介護保険特別会計繰出金

- | | | |
|----------------------------|---------|----|
| ・介護給付費 | 584,587 | 千円 |
| ・介護給付費介護予防・日常生活支援総合事業費 | 13,876 | 千円 |
| ・包括の支援事業・任意事業費 | 10,731 | 千円 |
| ・包括の支援事業・社会保障充実分 | 664 | 千円 |
| ・事務費等操出金 | 71,446 | 千円 |
| ・低所得者介護保険料軽減負担金(国県市負担分) | 77,278 | 千円 |
| ・前年度介護給付費負担金(市負担分) | 9,270 | 千円 |
| ・前年度低所得者介護保険料軽減負担金(国県市負担分) | 2,451 | 千円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	介護保険事業費						決算書	P. 109
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 7 目	事業種別	継続	担当課等	高齢者福祉課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,500	0	0	0	2,500

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		2,175	2,555	2,500	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		1,926	2,554	2,461	12委託料	2,500	2,461			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	1,926	0	0						
一般財源		0	2,554	2,461						
対前年度比 (増減額)			628	△93						
対前年度比 (増減率)			32.6%	△3.6%						
					合計	2,500	2,461			

3. 事業の概要・成果

●事業の概要

介護保険の要支援認定者に係る介護予防支援業務を、指定介護予防支援事業所である「八街市地域包括支援センター」が居宅介護支援事業所に業務を委託し、在宅生活の支援を図るもの。

●事業の成果

要支援認定者の希望等により、居宅介護支援事業所に介護予防支援を委託し、在宅生活の維持向上等を支援した。

委託単価 （月額）基本報酬 4,471円 初回加算 3,063円
委託連携加算 3,063円

年度	のべ件数	委託事業 所数
3 年度	394件	16カ所
4 年度	545件	14カ所
5 年度	536件	14カ所

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	国民健康保険特別会計繰出金							決算書	P. 111
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 8 目	事業種別	継続	担当課等	国保年金課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
553,114	2,828	0	0	555,942

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		548,013	551,061	555,942	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		547,038	547,410	552,415	27繰出金	555,942	552,415			
特定財源	国庫支出金	84,085	83,433	82,056						
	県支出金	277,714	275,670	277,467						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	185,239	188,307	192,892						
対前年度比 （増減額）			372	5,005						
対前年度比 （増減率）			0.1%	0.9%						
								合計	555,942	552,415

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

- ・国民健康保険制度の安定維持運営のため、一般会計より国民健康保険特別会へ繰出を行う。

【事業の実施内容】

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
保険基盤安定（国）	84,084,850 円	83,432,586 円	82,055,812 円
保険基盤安定（県）	277,713,650 円	275,669,568 円	277,466,381 円
保険基盤安定（市）	120,599,501 円	119,700,719 円	119,840,731 円
保険基盤安定合計	482,398,001 円	478,802,873 円	479,362,924 円
職員給与費等	32,479,000 円	34,082,000 円	34,189,000 円
出産育児一時金	14,759,000 円	11,469,000 円	14,893,000 円
財政安定化支援	17,402,234 円	18,368,491 円	19,379,531 円
未就学児均等割保険税繰入金	- 円	4,687,151 円	4,509,231 円
産前産後保険税繰入金	- 円	- 円	80,916 円
合 計	547,038,235 円	547,409,515 円	552,414,602 円

【事業の成果】

- ・国民健康保険制度の安定維持運営のための財源として機能した。
- ・国の定める基準の範囲内での繰出となっており、基準を超えた繰出しは行われていない。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	国民年金費							決算書	P. 111
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 1 項 9 目	事業種別	継続	担当課等	国保年金課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
288	0	0	0	288

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		318	287	288	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		243	190	125	7報償費	96	96			
特定財源	国庫支出金	197	190	125	8旅費	4	3			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	131	24			
	市 債	0	0	0	11役務費	57	2			
	その他	0	0	0						
	一般財源	46	0	0						
対前年度比 (増減額)			△53	△65						
対前年度比 (増減率)			△21.8%	△34.2%						
							合計		288	125

3. 事業の概要・成果

国民年金に関する各種届出の受理・審査・報告等を行うとともに、各種年金制度の周知広報・相談を実施し、年金制度の理解普及、各種届出等の促進を図った。

年金相談時の謝礼、消耗品費、年金事務所への郵送料等を計上。法定受託事務

(特定財源：国民年金等事務費交付金、年金生活者支援給付金支援業務市町村事務取扱交付金)

【処理件数等】

【処理件数等】		3 年度	4 年度	5 年度
届出等(加入喪失・請求免除等)の受理・審査・報告	処理件数	4,291	9,731	9,386
以下は上記に付随する協力連携事務等				
国民年金制度の周知啓発(来庁・電話対応等)	対応件数	7,545	10,343	10,504
保険料免除、猶予、学生納付特例の処理	処理件数	1,970	4,796	3,657
口座振替・クレジットカード納付等の勧奨	実績	37	31	61
年金相談(社会保険労務士が対応・月1回実施)	相談件数	28	29	62
広報やちまた、市ホームページ等による制度の周知	広報掲載	14	14	15

【被保険者数等】（各年度末）

被保険者	13,403	13,097	12,517
受給者	21,501	21,786	21,910
免除認定	3,239	3,313	3,178
学生納付特例	716	618	631
納付猶予	553	545	523

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	児童福祉総務費							決算書	P. 113
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
4,049	8,986	0	27	13,062

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

[illegible]

3. 事業の概要・成果

- ・事業概要
児童の心身の健全な育成を図るため児童の相談等を行い、家庭児童福祉の向上を図る。
 - ・事業の成果
児童の心身の健全な育成を図るため、児童等の相談・支援を行い家庭児童福祉の向上を図った。
- | | | | |
|--------------|------------|----------------------------------|------------|
| ○ 報酬 | | ○ 負担金補助及び交付金 | |
| 子ども子育て会議委員報酬 | 40,500円 | 母子父子自立支援員・婦人相談員連絡相談員
連絡協議会負担金 | 6,000円 |
| ○ 旅費 | | ○ 償還金利子及び割引料 | |
| 費用弁償 | 6,088円 | 国庫支出金等返還金 | 5,935,937円 |
| ○ 需用費 | | 県支出金等返還金 | 2,698,500円 |
| 消耗品費 | 54,736円 | | |
| 燃料費 | 40,141円 | | |
| 印刷製本費 | 351,230円 | | |
| ○ 使用料及び賃借料 | | | |
| 児童相談システム賃借料 | 3,343,080円 | | |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	ファミリーサポートセンター事業費							決算書P.	113
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
506	△ 100	0	0	406

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		420	505	406	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		256	341	305	07報償費	100	0			
特定財源	国庫支出金	85	113	101	10需用費 ①消耗品	20	20			
	県支出金	85	113	101	10需用費 ④印刷製本費	47	47			
	市 債	0	0	0	11役務費	184	183			
	その他	0	0	0	18負担金補助及び交付金	55	55			
	一般財源	86	115	103						
対前年度比 (増減額)			85	△36						
対前年度比 (増減率)			33.2%	△10.6%						
							合計	406	305	

3. 事業の概要・成果

- ## ・事業概要

地域において育児の援助を行いたい者(提供会員)と、援助を受けたい者(利用会員)が相互に援助し合う活動を支援する事業であり、子育て家庭が安心して生活できる環境を整備し、児童福祉の向上を図る。

- ・事業成果

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を行いたい者と当該援助を受けたい者との相互援助活動に関する連絡、調整を行い、地域における育児の相互援助の推進を図った。

《会員数》 3月31日現在

- ・提供会員

令和3年度 65名

令和4年度 67名

令和5年度 64名

- ・利用会員

令和3年度 69名

令和4年度 73名

令和5年度 83名

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	子育て短期支援事業費						決算書P.	113
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
61	0	0	0	61

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	0	61	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	0	54	12委託料	61	54			
特定財源	国庫支出金	0	0	17						
	県支出金	0	0	17						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	0	20						
対前年度比 (増減額)			0	54						
対前年度比 (増減率)			0.0%	皆増						
					合計	61	54			

3. 事業の概要・成果

・事業概要

保護者の疾病などにより家庭において一時的に児童の養育が困難な場合などに、一時的に養育や保護を行う事業を実施することにより、児童及びその家庭の福祉の向上を図ることを目的とする。

・事業成果

利用者延人数

令和3年度 0名

令和4年度 0名

令和5年度 8名

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	病後児保育事業費							決算書	P. 113
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
4,234	0	0	0	4,234

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		4,501	5,269	4,234	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		4,166	4,171	4,174	12委託料	4,234	4,174			
特定財源	国庫支出金	1,388	1,389	1,390						
	県支出金	1,388	1,389	1,390						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	1,390	1,393	1,394						
対前年度比 (増減額)			5	3						
対前年度比 (増減率)			0.1%	0.1%						

3. 事業の概要・成果

- ## ・事業概要

保護者の就労等により、子どもが疾病の際に自宅での保育が困難な場合に、児童が病気の回復期であり、かつ、集団の保育が困難な期間において、当該児童を専用施設で一時的に保育することで、安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図る。

対象児童 生後6ヶ月～9歳

- ・事業成果

利用者延人数

令和2年度 0名

令和3年度 4名

令和4年度 2名

令和5年度 5名

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	子育てのための施設等利用給付事業費							決算書	P. 113
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
13,048	△ 5,854	0	0	7,194

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		11,517	11,633	7,194	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		10,296	9,589	6,278	18負担金補助及び交付金	7,194	6,278			
特定財源	国庫支出金	5,332	3,750	2,887						
	県支出金	2,666	1,875	1,443						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0							
	一般財源	2,298	3,964	1,948						
対前年度比 (増減額)			△707	△3,311						
対前年度比 (増減率)			△6.9%	△34.5%						
							合計	7,194	6,278	

3. 事業の概要・成果

・事業の概要

令和元年10月より開始された幼児教育無償化により、預かり保育事業・一時預かり事業・認可外保育施設病後児保育・ファミリーサポートセンターを利用した保護者に対する利用料を償還払いにより負担する。

・事業の成果

- | | | |
|-----------------|--------------|------------------|
| ○ 預かり保育事業 | 償還延べ人数： 941人 | 償還額： 3,532,320 円 |
| ○ 一時預かり事業 | 償還延べ人数： 45人 | 償還額： 520,985 円 |
| ○ 認可外保育施設 | 償還延べ人数： 60人 | 償還額： 2,171,300 円 |
| ○ 病後児保育 | 該当者なし | |
| ○ ファミリーサポートセンター | 該当者なし | |

※令和4年度分 追加給付

- 預かり保育事業 償還額: 54,250 円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	子ども家庭総合支援拠点整備事業費							決算書	P. 115
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
429	0	0	0	429

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	1,125	429	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	759	380	10需用費 ①消耗品	93	93			
特定財源	国庫支出金	0	346	0	10需用費 ④印刷製本費	231	228			
	県支出金	0	0	0	11役務費	78	34			
	市 債	0	0	0	17備品購入費	27	25			
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	413	380						
対前年度比 (増減額)			759	△379						
対前年度比 (増減率)			皆増	△49.9%						
							合計	429	380	

3. 事業の概要・成果

- ## ・事業概要

子どもが心身ともに健やかに育成されるよう、子どもとその家庭及び妊産婦等の福祉に関し、実情の把握、情報の提供を行い、子ども等に関する相談・調査を行い必要なサービスへ繋ぐ。

- ・事業の成果

子どもとその家庭及び妊産婦等の福祉に関し、実情の把握、情報の提供を行い、子ども等に関する相談・調査を行い必要なサービスへ繋いだ。

- 需用費

消耗品 92,388円

印刷製本費 228,250円

- 役務費

通信運搬費	34,338円
-------	---------

- 備品購入費

25,410円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業							決算書	P. 115
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	139,025	0	0	139,025

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		139,250	141,595	139,025	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		99,253	94,667	121,459	3職員手当等	4,698	2,313			
特定財源	国庫支出金	99,253	94,667	121,459	10需用費 ①消耗品費	309	255			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	543	241			
	市 債	0	0	0	11役務費	725	448			
	その他	0	0	0	12委託料	2,223	1,475			
一般財源		0	0	0	18負担金補助及び交付金	110,000	96,200			
対前年度比 (増減額)			△4,586	26,792	22償還金、利子及び割引料	20,527	20,527			
対前年度比 (増減率)			△4.6%	28.3%						
							合計	139,025	121,459	

3. 事業の概要・成果

・事業概要

「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）支給要領」（令和5年4月10日付こ支家第13号こども家庭庁支援局長通知）、「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯分）支給要領」（令和5年4月10日付こ支家第14号厚生労働省子ども家庭局長通知）に基づき、物価高騰の影響等踏まえ、低所得の子育て世帯に対し児童一人あたり5万円の生活支援特別給付金を支給。

《支給対象》

○ひとり親

- ・令和5年3月分の児童扶養手当の支給を受けている者。
- ・公的年金給付等を受けていることにより、児童扶養手当の支給を受けていない者。
- ・家計が急変し、直近収入が、児童扶養手当の対象となる水準に下がった者。

○ひとり親以外の世帯

- ・令和４年度八街市低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を受給した者。
- ・児童を養育する父母等、で市町村民税均等割が非課税又は家計が急変し市町村民税均等割が非課税相当となった者。

・成果（支給実績）

○ひとり親

- | | | |
|------------|------|----------|
| ・児童扶養手当受給者 | 609件 | 46,250千円 |
| ・公的年金受給者 | 6件 | 400千円 |
| ・家計急変者 | 40件 | 3,100千円 |

○ひとり親以外の世帯

- | | | |
|-----------|------|----------|
| ・令和4年度受給者 | 409件 | 36,750千円 |
| ・非課税者 | 89件 | 7,450千円 |
| ・家計急変者 | 23件 | 2,250千円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	子どもの成長応援臨時給付金事業費							決算書	P. 115
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 1 目	事業種別	新規	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	47,738	0	0	47,738

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		0	0	47,738	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	0	41,582	3職員手当等	904	850			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	1 0需用費 ①消耗品費	176	86			
	県支出金	0	0	41,582	1 0需用費 ④印刷製本費	583	305			
	市 債	0	0	0	11役務費	1,075	531			
	その他	0	0	0	18負担金補助及び交付金	45,000	39,810			
	一般財源	0	0	0						
対前年度比 (増減額)			0	41,582						
対前年度比 (増減率)			0.0%	皆増						
								合計	47,738	41,582

3. 事業の概要・成果

- ## ・事業概要

物価高騰の影響を踏まえ、習い事や体験活動などにかかる経費の負担を軽減し、将来を担う子ども達が豊かな成長に繋がる機会を得られるよう、県内在住の小学校1年生から中学校3年生までを対象に児童1人あたり1万円を支給する。

- ・事業実績

【プッシュ型】

支給決定者数 世帯：2,591世帯 児童：3,741名

支給決定額 37,410,000円

【申請型】

支給決定者数 世帯：174世帯 児童：240名

支給決定額 2,400,000円

○職員手当等

超過勤務手当 849,990円

○需用費

消耗品費 86,642円

印刷製本費 304,700円

○役務費

通信運搬費 226,688円

手数料 304,260円

令和 5 年度 主要な施策の成果

事業費名	物価高騰対策新入学・新生活支援金事業費							決算書P.	117
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 1 目	事業種別	新規	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	30,349	0	0	30,349

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	0	30,349	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	0	26,610	10需用費 ①消耗品費	40	1			
特定財源	国庫支出金	0	0	21,960	10需用費 ④印刷製本費	146	9			
	県支出金	0	0	0	11役務費	163	100			
	市 債	0	0	0	18負担金補助及び交付金	30,000	26,500			
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	0	4,650						
対前年度比 (増減額)			0	26,610						
対前年度比 (増減率)			0.0%	皆増						
							合計		30,349	26,610

3. 事業の概要・成果

- 事業概要
物価高騰の影響を受け、子どもの入学や新生活の準備にかかる経済的負担の大きい子育て世帯を支援するため、令和6年4月に小学校・中学校に入学する子どもと令和6年3月に中学校を卒業する子どもの養育者に対し、八街市独自の施策として、児童1人あたり2万円を支給する。
- 事業実績
【プッシュ型】
支給決定者数 世帯：1,144世帯 児童：1,237名
支給決定額 24,740,000円

【申請型】
支給決定者数 世帯：82世帯 児童：88名
支給決定額 1,760,000円

○需用費
消耗品 880円
印刷製本費 9,240円

○役務費
通信運搬費 100,338円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	児童等性被害防止対策推進事業費							決算書P.	117
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 1 目	事業種別	新規	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	2,700	0	0	2,700

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		0	0	2,700	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	0	1,612	17備品購入費	2,400	1,397			
特定財源	国庫支出金	0	0	826	18負担金補助及び交付金	300	215			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	0	786						
対前年度比 (増減額)			0	1,612						
対前年度比 (増減率)			0.0%	皆増						
								合計	2,700	1,612

3. 事業の概要・成果

- | | |
|---|----------|
| ・事業概要 | |
| すべての子ども・若者が安心して過ごせる社会の実現に向け、保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援を行うことで、性被害防止を図る。 | |
| ・事業実績 | |
| ○備品購入費 | |
| ・性被害防止対策に係る備品購入（児童クラブ・児童館・家庭総合支援拠点分） | 796,950円 |
| ・保育園ビデオカメラ購入 | 599,940円 |
| ○負担金補助及び交付金 | |
| ・いろはに保育園補助金支出 | 65,000円 |
| ・生活クラブ風の村保育園八街 | 75,000円 |
| ・八街かいたく保育園 | 75,000円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	児童手当支給費							決算書	P. 117
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
801,111	772	0	0	801,883

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		823,190	805,653	801,883	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		820,764	789,114	760,848	11 役務費	821	773			
特定財源	国庫支出金	562,653	540,912	522,779	19 扶助費	800,290	759,305			
	県支出金	127,886	122,923	119,150	22 償還金、利子及び割引料	772	770			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	130,225	125,279	118,919						
対前年度比 (増減額)			△31,650	△28,266						
対前年度比 (増減率)			△3.9%	△3.6%						
							合計	801,883	760,848	

3. 事業の概要・成果

- ## ・事業概要

児童手当法に基づき、子を監護している者に児童手当を支給することにより、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援する。

- ・支給対象 15歳到達後最初の3月31日までの児童を養育している者

- ・支給金額

- ・3歳未満：一律15,000円

- ・3歳以上小学校修了前：10,000円

- ・中学生：一律10,000円

※児童を養育している者の所得が所得制限限度額以上の場合は、特例給付として月額一律5,000円

※令和4年6月分より、児童を養育している者の所得が所得上限限度額以上の場合は、支給なし

- ・成果（支給実績）[分類：延べ児童数：支出額]

- ・被用者(0～3歳未満)：6,738人：101,070千円

- ・非被用者(0～3歳未満)：2,416人：36,240千円

- ・被用者(3歳～小学校修了前)：29,556人：318,390千円

- ・非被用者(3歳～小学校修了前)：11,385人：125,925千円

- ・被用者(中学生)：12,260人：122,600千円

- ・非被用者(中学生)：4,993人：49,930千円

- ・被用者(0～3歳未満)(特例給付)：41人：205千円

- ・非被用者(0～3歳未満)(特例給付)：28人：140千円

- ・被用者(3歳～小学校修了前)(特例給付)：411人：2,055千円

- ・非被用者(3歳～小学校修了前) (特例給付) : 92人 : 460千円

- ・被用者(中学生)(特例給付) : 384人 : 1,920千円

- ・非被用者(中学生)(特例給付) : 74人 : 370千円

令和 5 年度 主要な施策の成果

事業費名	母子援護対策費							決算書	P. 117
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
70,052	5,083	0	0	75,135

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

[illegible]

3. 事業の概要・成果

- ## ・事業の概要

すべての母子家庭等の児童が心身ともに健やかに育成され、また、母親や父親が健康で文化的な生活を営めるよう、母子福祉の向上を図る。

- ・事業の成果

母子家庭等の児童が心身ともに健やかに育成され、また母親や父親が健康で文化的な生活を営めるよう、母子及び父子家庭の福祉の向上を図った。

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. ひとり親家庭等医療費等助成(延べ受給者 18,817名) | 52,220,665円 |
| 2. 母子生活支援施設入所委託料 | 1,018,660円 |
| 3. 助産措置費(3件) | 1,508,290円 |
| 4. その他(高等職業訓練促進給付金等) | 5,246,500円 |
| 自立支援教育訓練給付金の件数 | 0件(支給対象講座指定決定件数 2件) |
| 高等職業訓練促進給付金等の実数 | 実人数6人・延べ人数57人 |
| 5. ひとり親家庭等医療費等助成未返還金 | 9,330円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	児童扶養手当支給費							決算書	P. 117,119
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
302,952	1,791	0	0	304,743

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

[illegible]

3. 事業の概要・成果

・事業の概要

父母の離婚等により、父又は母と生計を同じくしていない18歳までの児童を監護している母又は父、又は父母にかわって児童を養育している人に支給する。

支払い回数については、年6回（1・3・5・7・9・11月）の各月払い。手当の支給には、所得による支給制限有り。

令和5年度手当額 (R5. 11月)

全部支給 月額44,140円

一部支給 月額44,130円から10,410円まで10円きざみの額

2子加算 全部支給 10,420円 一部支給 10,410円～5,210円

3子以降加算 1人につき全部支給6,250円、一部支給 6,240円～3,130円

・事業の成果

児童扶養手当法に基づき、ひとり親家庭等に児童扶養手当を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることができた。

支給実績

	全部支給者	一部支給者	加算額等			
			2子加算	3子加算	13条の2	13条の3
延月人数	3,559人	2,975人	2,466人	863人	206人	29人
支出額	156,242,120円	87,622,010円	23,652,860円	5,245,130円	5,318,200円	540,500円

合計

278, 620, 820円

その他 合計 2,495,560円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	児童クラブ管理運営費							決算書	P. 119
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 4 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
122,187	0	0	0	122,187

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		108,314	104,487	122,187	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		95,689	102,166	108,169	10需用費 ①消耗品費	10	2			
特定財源	国庫支出金	24,133	22,881	23,441	10需用費 ④印刷製本費	83	82			
	県支出金	23,336	22,881	23,441	10需用費 ⑥修繕費	100	99			
	市 債	0	0	0	11役務費	106	76			
	その他	32,270	32,873	37,134	12委託料	121,313	107,459			
	一般財源	15,950	23,531	24,153	13使用料及び賃借料	575	451			
対前年度比 (増減額)			6,477	6,003						
対前年度比 (増減率)			6.8%	5.9%						
								合計	122,187	108,169

3. 事業の概要・成果

・事業概要

放課後帰宅しても保護者のいない家庭の児童を対象に、放課後児童支援員が遊びなどを通じて生活習慣を養うなど児童の健全育成の向上を図る。

また、児童クラブの施設等を管理し、児童福祉の充実を図る。

屋間保護者のいない家庭の小学校就学児童に対し、育成、指導、遊びによる発達の助長などに係るサービスを行い、もって児童の健全育成を図った。また、児童クラブの施設等を管理し、児童福祉の向上を図った。

・事業実績

- | | |
|--------------------------|--------------|
| ○需用費 | |
| ・消耗品費 | 1,998円 |
| ・印刷製本費 | 82,280円 |
| ・修繕料 | 99,000円 |
| ○役務費 | 76,236円 |
| ○委託料 | |
| ・八街市社会福祉協議会への児童クラブ委託料支払い | 107,458,853円 |
| ○使用料及び賃借料 | |
| ・元八街北児童クラブ土地賃借料 | 247,750円 |
| ・AED使用料 | 203,280円 |

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
児童クラブの定員	610	610	625
児童クラブ入所状況	429	408	434
児童クラブ待機児童	23	0	6

單位：人 4月1日現在

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	およこサロン運営事業費							決算書P.	119
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 4 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
52	0	0	0	52

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		52	52	52	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		44	52	50	10需用費 ①消耗品費	19	17			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	17備品購入費	33	33			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	44	52	50						
対前年度比 (増減額)			8	△2						
対前年度比 (増減率)			18.2%	△3.8%						
							合計	52	50	

3. 事業の概要・成果

- ## ・事業概要

子育て支援サポーターに子育てに関する悩みや不安を気軽に相談することができ、また、同じ子育て中の親子との交流の場や子育て情報を提供している。

- ## • 成果

子育て支援サポーターに子育てに関する悩みや不安を気軽に相談することができ、また、同じ子育て中の親子との交流の場や子育て情報を提供した。

また、令和３年２月から朝陽幼稚園内に移設し、事業を継続した。

- 利用件数

- ・令和元年 2,564件
- ・令和2年 1,469件
- ・令和3年 340件
- ・令和4年 216件
- ・令和5年 148件

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	児童クラブ整備事業費							決算書	P. 119
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 4 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	11,019	0	1,239	12,258

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		2,263	6,892	12,258	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		2,263	6,821	11,984	12委託料	7,700	7,700			
特定財源	国庫支出金	715	2,194	3,568	14工事請負費	2,188	2,186			
	県支出金	0	2,194	3,568	17備品購入費	2,370	2,098			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	1,548	2,433	4,848						
対前年度比 (増減額)			4,558	5,163						
対前年度比 (増減率)			201.4%	75.7%						
							合計		12,258	11,984

3. 事業の概要・成果

- ## ・事業概要

児童クラブの環境整備や衛生管理等の充実を図り、児童福祉の向上を目指す。

- ・事業実績

- ## ○委託料

- ・児童クラブインターネット環境整備業務

7,700,000円（補助有）

- ### ○工事請負費

- ・交進児童クラブ空調機更新工事

1,012,000円 (单独)

- ・川上学童クラブ便器交換工事

226,889円（補助有）

- 八街第一幼稚園便器交換工事

348,260円（補助有）

- ・警備仕様変更工事

599,500円（補助有）

- 備品購入費

- ・第四実住、第四八街東児童クラブ新規開設備品購入

2,077,900円 (補助有)

- ・第四実住、第四八街東児童クラブ消火器購入

19,800円（補助有）

令和 5 年度 主要な施策の成果

事業費名	児童館整備事業費						決算書 P.	119
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 4 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
873	0	0	0	873

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	0	873	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	0	829	14工事請負費	873	829			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	0	829						
対前年度比 (増減額)			0	829						
対前年度比 (増減率)			0.0%	皆増						
					合計	873	829			

3. 事業の概要・成果

・事業概要

児童館の環境整備や衛生管理等の充実を図り、児童福祉の向上を目指す。

・事業実績

○工事請負費

- ・児童館非常用発電機屋根設置工事 499,400円
- ・児童館非常用発電機改修工事（浸水防止対策） 330,000円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	児童館管理運営費							決算書	P. 119
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 4 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
34,122	0	0	0	34,122

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		29,442	31,616	34,122	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		29,439	31,610	34,010	10需用費 ⑥修繕料	100	0			
特定財源	国庫支出金	148	0	0	12委託料	33,691	33,690			
	県支出金	0	0	0	13使用料及び賃借料	321	320			
	市 債	0	0	0	15原材料費	10	0			
	その他	0	0	0						
	一般財源	29,291	31,610	34,010						
対前年度比 (増減額)			2,171	2,400						
対前年度比 (増減率)			7.4%	7.6%						
							合計		34,122	34,010

3. 事業の概要・成果

- ## ・事業概要

児童館を管理運営することで、18歳未満のすべての子どもに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、子どもたちが心身共に健やかに育成することを目的とする。

・事業実績

- 令和3年4月に児童館開所。指定管理により、八街市社会福祉協議会が運営。

- 令和5年度利用者

- | | |
|-----|----------|
| 乳幼児 | 3, 226名 |
| 小学生 | 5, 203名 |
| 中学生 | 1, 027名 |
| 高校生 | 20名 |
| 保護者 | 3, 329名 |
| 合計 | 12, 805名 |

- 支出内訳

- | | |
|----------|-------------|
| 委託料 | 33,690,157円 |
| 使用料及び賃借料 | 320,112円 |

- 相談・傾聴件数

- | | |
|----|------|
| 来館 | 155件 |
| 電話 | 4件 |

- ## ○実施プログラム

- 回数 96回
参加人数 1,619名

・事業の成果

施設も周知されたことにより令和4年度より利用者数が893名増加。事業概要にある成果が得られた。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	保育行政総務費							決算書	P. 121
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
448	0	0	35	483

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		169	545	483	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		109	511	448	10需用費 ①消耗品費	56	48			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ②燃料費	69	68			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	230	229			
	市 債	0	0	0	10需用費 ⑥修繕料	25	4			
	その他	0	0	0	11役務費	103	99			
	一般財源	109	511	448						
対前年度比 (増減額)			402	△63						
対前年度比 (増減率)			368.8%	△12.3%						
							合計	483	448	

3. 事業の概要・成果

事業の概要

保育行政を円滑に行うための事務的経費

事業の成果

- | | |
|----------------|----------|
| ○ 需用費 | |
| ・ 消耗品費 | 48,145円 |
| ・ 燃料費 | 68,033円 |
| ・ 印刷製本費 | 229,350円 |
| ・ 修繕料（自動車修繕料） | 3,410円 |
| ○ 役務費 | |
| ・ 手数料（口座振替手数料） | 99,348円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	保育園管理費						決算書	P. 121,123
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
99,958	△ 2,651	0	△ 3,147	94,160

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		108,933	98,493	94,160	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		81,398	80,658	67,855	1報酬	986	865	17備品購入費	5,184	5,006
特定財源	国庫支出金	3,918	4,847	0	7報償費	144	144	18負担金補助及び交付金	634	563
	県支出金	977	380	0	8旅費	32	0			
	市 債	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	4,318	3,985			
	その他	5,183	9,892	9,856	10需用費 ⑥修繕料	3,975	3,975			
一般財源		71,320	65,539	57,999	11役務費	66,981	41,649			
対前年度比 (増減額)			△740	△12,803	12委託料	6,508	6,366			
対前年度比 (増減率)			△0.9%	△15.9%	13使用料及び賃借料	5,110	5,097			
					15原材料費	288	205			
					合計		94,160	67,855		

3. 事業の概要・成果

事業の概要

市立保育園の保育業務に必要な環境整備や衛生管理等の充実を図り、児童福祉の向上を目指す。

事業の成果

- | | | |
|---------------------------|----------------|------------|
| ○ 報酬 | ○ 保守点検・管理業務等 | 6,365,658円 |
| ・ 保育園医 3名 432,630円 | ○ 駐車場賃貸料 | 569,740円 |
| ・ 保育園歯科医 6名 432,630円 | ※八街保育園・二州第二保育園 | |
| ・ 心理相談員謝礼 1名 144,000円 | ○ 各種賃借料等 | 4,527,582円 |
| ○ 需用費 | ○ 原材料費 | 205,260円 |
| ・ 消耗品 158,094円 | ※各保育園補修用原材料 | |
| ・ 消耗品（コロナ対策） 3,010,970円 | ○ 備品購入費 | |
| ・ 消耗品（維持補修） 816,083円 | ・ 保育園用備品 | 5,006,289円 |
| ・ 修繕費（維持補修） 3,974,976円 | ○ 負担金 | 562,367円 |
| ○ 役務費 | | |
| ・ 各種手数料 2,264,687円 | | |
| ・ 保険料等 11,424円 | | |
| ※一時預かり・子育て支援センター
損害保険料 | | |
| ・ 保育士派遣業務 39,372,406円 | | |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	八街保育園運営費						決算書	P. 123,125
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
19,816	456	0	0	20,272

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		16,722	18,931	20,272	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		16,147	17,540	17,025	8旅費	32	32			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	1,367	1,331			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ②燃料費	222	81			
	市 債	0	0	0	10需用費 ⑤光熱水費	4,465	3,307			
	その他	5,123	2,487	1,896	10需用費 ⑥修繕料	60	60			
一般財源		11,024	15,053	15,129	10需用費 ⑦賄材料費	13,585	11,678			
対前年度比 (増減額)			1,393	△515	11役務費	292	292			
対前年度比 (増減率)			8.6%	△2.9%	13使用料及び賃 借料	114	114			
					17備品購入費	135	130			
							合計	20,272	17,025	

3. 事業の概要・成果

事業の概要

八街保育園に通園する児童の保育業務及び園運営

事業の成果

保育園に通園する園児に対し、適切且つ良好な保育サービスを提供した。

○ 月平均入所児童数：157人 （定員：190人）

○ 副食費免除園児数：35人 （世帯数：33世帯）

○ 旅費

・ 普通旅費 26,085円
・ 特別旅費 5,854円

○ 役務費

・ 通信運搬費 209,744円
・ 各種手数料 82,190円

○ 需用費

・ 消耗品 1,331,118円
・ 燃料費 80,398円
・ 光熱水費 3,307,041円
・ 修繕費 59,800円
・ 賄材料費 11,678,203円

○ 使用料及び賃借料

・ 自動車借上料 0円
・ 複写機賃借料 113,957円

○ 備品購入費

・ 施設管理用備品 130,286円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	実住保育園運営費						決算書P.	125
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
16,445	336	0	0	16,781

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		14,109	16,117	16,781	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		13,966	15,156	15,408	8旅費	25	16			
特定 財源	国庫支出金	84	0	0	10需用費 ①消耗品費	1,174	1,168			
	県支出金	84	0	0	10需用費 ②燃料費	99	60			
	市 債	0	0	0	10需用費 ⑤光熱水費	3,732	2,805			
	その他	5,434	3,948	1,957	10需用費 ⑥修繕料	60	58			
	一般財源	8,364	11,208	13,451	10需用費 ⑦賄材料費	11,123	10,764			
対前年度比 (増減額)			1,190	252	11役務費	287	272			
対前年度比 (増減率)			8.5%	1.7%	13使用料及び賃 借料	146	132			
					17備品購入費	135	133			
					合計		16,781	15,408		

3. 事業の概要・成果

実住保育園に通園する児童の保育業務及び園運営

保育園に通園する園児に対し、適切且つ良好な保育サービスを提供した。

○ 月平均入所児童数：116人 （定員：140人）

○ 副食費免除園児数：27人 （世帯数：25世帯）

○ 旅費

・ 普通旅費 9,846円
・ 特別旅費 5,887円

○ 役務費

・ 通信運搬費 156,563円
・ 各種手数料 115,580円

○ 需用費

・ 消耗品 1,168,497円
・ 燃料費 60,180円
・ 光熱水費 2,804,762円
・ 修繕費 58,000円
・ 賄材料費 10,763,629円

○ 使用料及び賃借料

・ 自動車借上料 44,000円
・ 複写機賃借料 88,318円

○ 備品購入費

・ 施設管理用備品 132,876円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	朝陽保育園運営費						決算書	P. 125,127
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
20,356	461	0	0	20,817

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		17,955	19,986	20,817	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		17,356	18,908	19,588	8旅費	38	31			
特定財源	国庫支出金	84	0	0	10需用費 ①消耗品費	1,500	1,500			
	県支出金	84	0	0	10需用費 ②燃料費	60	32			
	市 債	0	0	0	10需用費 ⑤光熱水費	4,085	3,613			
	その他	7,299	6,130	2,222	10需用費 ⑥修繕料	60	0			
一般財源		9,889	12,778	17,366	10需用費 ⑦賄材料費	14,455	13,851			
対前年度比 (増減額)			1,552	680	11役務費	325	307			
対前年度比 (増減率)			8.9%	3.6%	13使用料及び賃 借料	154	114			
					17備品購入費	140	140			
								合計	20,817	19,588

3. 事業の概要・成果

事業の概要

朝陽保育園に通園する児童の保育業務及び園運営

事業の成果

保育園に通園する園児に対し、適切且つ良好な保育サービスを提供した。

○ 月平均入所児童数：156人 （定員：160人）

○ 副食費免除園児数：42人 （世帯数：40世帯）

○ 旅費

・ 普通旅費 12,358円
・ 特別旅費 18,906円

○ 役務費

・ 通信運搬費 212,419円
・ 各種手数料 94,940円

○ 需用費

・ 消耗品 1,499,989円
・ 燃料費 31,420円
・ 光熱水費 3,613,261円
・ 修繕費 0円
・ 賄材料費 13,850,776円

○ 使用料及び賃借料

・ 自動車借上料 44,000円
・ 複写機賃借料 70,196円

○ 備品購入費

・ 施設管理用備品 139,490円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	交進保育園運営費							決算書P.	127
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
14,180	336	0	0	14,516

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

[illegible]

3. 事業の概要・成果

事業の概要

朝陽保育園に通園する児童の保育業務及び園運営

事業の成果

保育園に通園する園児に対し、適切且つ良好な保育サービスを提供した。

- 月平均入所児童数：89人 （定員：140人）

- 副食費免除園児数： 22人 （世帯数： 22世帯）

- | | | | |
|--------|------------|------------|----------|
| ○ 旅費 | | ○ 役務費 | |
| ・ 普通旅費 | 7,474円 | ・ 通信運搬費 | 185,557円 |
| ・ 特別旅費 | 6,427円 | ・ 各種手数料 | 87,520円 |
| ○ 需用費 | | ○ 使用料及び賃借料 | |
| ・ 消耗品 | 876,134円 | ・ 自動車借上料 | 0円 |
| ・ 燃料費 | 0円 | ・ 複写機賃借料 | 43,723円 |
| ・ 光熱水費 | 2,249,433円 | | |
| ・ 修繕費 | 0円 | ○ 備品購入費 | |
| ・ 賄材料費 | 7,565,894円 | ・ 施設管理用備品 | 134,980円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	二州第一保育園運営費							決算書	P. 127,129
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
9,207	168	0	0	9,375

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

[illegible]

3. 事業の概要・成果

事業の概要

二州第一保育園に通園する児童の保育業務及び園運営

事業の成果

保育園に通園する園児に対し、適切且つ良好な保育サービスを提供した。

- 月平均入所児童数： 48人 （定員： 70人）

- 副食費免除園児数： 11人 （世帯数： 10世帯）

- | | | | |
|--------|------------|------------|----------|
| ○ 旅費 | | ○ 役務費 | |
| ・ 普通旅費 | 18,463円 | ・ 通信運搬費 | 197,855円 |
| ・ 特別旅費 | 11,176円 | ・ 各種手数料 | 64,440円 |
| ○ 需用費 | | ○ 使用料及び賃借料 | |
| ・ 消耗品 | 681,602円 | ・ 自動車借上料 | 0円 |
| ・ 燃料費 | 0円 | ・ 複写機賃借料 | 54,878円 |
| ・ 光熱水費 | 2,015,636円 | | |
| ・ 修繕費 | 39,800円 | ○ 備品購入費 | |
| ・ 賄材料費 | 4,989,799円 | ・ 施設管理用備品 | 90,000円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	二州第二保育園運営費							決算書P.	129
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
11,195	168	0	0	11,363

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		9,324	10,446	11,363	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		9,203	10,337	9,368	8旅費	60	34			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	733	733			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ⑤光熱水費	4,588	2,881			
	市 債	0	0	0	10需用費 ⑥修繕料	40	0			
	その他	2,814	2,487	1,179	10需用費 ⑦賄材料費	5,512	5,352			
	一般財源	6,389	7,850	8,189	11役務費	219	199			
対前年度比 (増減額)			1,134	△969	13使用料及び賃 借料	121	84			
対前年度比 (増減率)			12.3%	△9.4%	17備品購入費	90	85			
								合計	11,363	9,368

3. 事業の概要・成果

事業の概要

二州第二保育園に通園する児童の保育業務及び園運営

事業の成果

保育園に通園する園児に対し、適切且つ良好な保育サービスを提供した。

○ 月平均入所児童数： 50人 （定員： 70人）

○ 副食費免除園児数： 15人 （世帯数： 15世帯）

○ 旅費

- ・ 普通旅費 21,090円
- ・ 特別旅費 12,612円

○ 役務費

- ・ 通信運搬費 183,349円
- ・ 各種手数料 16,240円

○ 需用費

・ 消耗品	732, 878円
・ 燃料費	0円
・ 光熱水費	2, 881, 114円
・ 修繕費	0円
・ 賄材料費	5, 351, 849円

○ 使用料及び賃借料

- ・ 自動車借上料 0円
- ・ 複写機賃借料 84,043円

○ 備品購入費

施設管理用備品 85,010円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	子育て支援センター事業費							決算書	P. 129
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
80	0	0	0	80

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		110	79	80	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		75	76	79	8 旅費	6	6			
特定財源	国庫支出金	30	30	0	10 需用費 ①消耗品費	39	39			
	県支出金	30	30	0	11 役務費	35	34			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	15	16	79						
対前年度比 (増減額)			1	3						
対前年度比 (増減率)			1.3%	3.9%						
							合計	80	79	

3. 事業の概要・成果

事業の概要

地域の子育て窓口として、妊娠から子育てまで幅広く各種相談や情報誌の発行・各種イベントや園外活動など行い、育児などに対して総合的に実施

事業の成果

- | | | | |
|---------|---------------|---------|---------|
| ○ 電話相談 | 146件 | | |
| ○ 面談相談 | 49件 | | |
| ○ 利用者数 | | | |
| 総利用者数 | 2,215人 | | |
| にこにこルーム | 795組 / 1,855人 | | |
| にこにこ広場 | 102組 / 243人 | | |
| ○ 旅費 | | ○ 役務費 | |
| ・ 普通旅費 | 2,960円 | ・ 通信運搬費 | 33,579円 |
| ・ 特別旅費 | 2,996円 | | |
| ○ 需用費 | | | |
| ・ 消耗品 | 39,000円 | | |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	私立保育園運営事業費							決算書	P. 129,131
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
272,447	5,559	0	0	278,006

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		246,151	273,004	278,006	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		237,616	264,703	272,526	18負担金補助及び交付金	278,006	272,526			
特定財源	国庫支出金	102,482	115,151	119,199						
	県支出金	61,419	59,454	63,511						
	市 債	0	0	0						
	その他	14,192	17,080	21,676						
	一般財源	59,523	73,018	68,140						
対前年度比 （増減額）			27,087	7,823						
対前年度比 （増減率）			11.4%	3.0%						
							合計	278,006	272,526	

3. 事業の概要・成果

事業の概要

保育を必要とする就学前の子どもを保護者に代わって保育するため、私立保育園に保育を委託することにより、子どもが健やかに成長することを支援する。

また、私立保育園が行う地域子ども・子育て支援事業に要する費用を補助する。

事業の成果

市内私立保育園2園に通常保育及び延長保育を委託した。

- | | | | |
|----------------------------|----------------|-----------|---------------|
| ○ 風の村保育園八街 | 月平均入所児童数: 63人 | (定員:60人) | |
| ・ 運営委託料 | | | 89,702,450 円 |
| ・ 私立保育園運営費等補助金 | | | 22,392,000 円 |
| ・ 私立保育園等運営費補助金(原油・物価高騰対策分) | | | 1,440,000 円 |
| ・ 私立保育園保育環境向上事業補助金 | | | 990,000 円 |
| | | | |
| ○ 八街かいたく保育園 | 月平均入所児童数: 109人 | (定員:111人) | |
| ・ 運営委託料 | | | 130,632,570 円 |
| ・ 私立保育園運営費等補助金 | | | 24,705,000 円 |
| ・ 私立保育園等運営費補助金(原油・物価高騰対策分) | | | 2,664,000 円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	私立認定こども園運営事業費							決算書	P. 131
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
271,366	10,516	0	0	281,882

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		272,931	283,870	281,882	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		248,077	261,468	269,002	18負担金補助及び交付金	281,882	269,002			
特定財源	国庫支出金	107,377	114,638	109,738						
	県支出金	59,865	72,013	71,132						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	3,240						
	一般財源	80,835	74,817	84,892						
対前年度比 (増減額)			13,391	7,534						
対前年度比 (増減率)			5.4%	2.9%						
							合計	281,882	269,002	

3. 事業の概要・成果

事業の概要

認定こども園に対して施設型給付費を支給することにより子どもが健やかに成長することを支援する。
また、認定こども園が行う地域子ども・子育て支援事業に要する費用を補助する。

事業の成果

認定こども園11園に通常保育及び延長保育を委託した。

- | | | | |
|-----------------------------|------------------|---------------------|--------------|
| ○ 明徳やちまたこども園 | (定員:75人) | 月平均入所児童数 (保育) : 59人 | (定員:60人) |
| | | 月平均入所児童数 (教育) : 21人 | (定員:15人) |
| ・ 施設型給付費負担金 | | | 128,638,380円 |
| ・ 私立保育園運営費等補助金 | | | 24,628,000円 |
| ・ 私立保育園等運営費補助金 (原油・物価高騰対策分) | | | 1,800,000円 |
| ○ 八街泉こども園 | (定員:60人) | 月平均入所児童数 (保育) : 44人 | (定員:48人) |
| | | 月平均入所児童数 (教育) : 11人 | (定員:12人) |
| ・ 施設型給付費負担金 | | | 79,640,130円 |
| ・ 私立保育園運営費等補助金 | | | 9,635,000円 |
| ・ 私立保育園等運営費補助金 (原油・物価高騰対策分) | | | 1,440,000円 |
| ・ 私立保育園保育環境改善等事業補助金 | | | 143,000円 |
| ○ 市外認定こども園 | (委託先:9園 児童数:40人) | | |
| 施設型給付費負担金 | | | 23,077,715円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	家庭の保育事業等運営事業費							決算書P.	131
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
82,088	△ 17,489	0	0	64,599

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		78,493	65,759	64,599	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		68,850	52,497	56,823	18負担金補助及び交付金	64,599	56,823			
特定財源	国庫支出金	34,962	29,080	29,664						
	県支出金	17,097	10,918	11,939						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	1,824						
	一般財源	16,791	12,499	13,396						
対前年度比 (増減額)			△16,353	4,326						
対前年度比 (増減率)			△23.8%	8.2%						
							合計	64,599	56,823	

3. 事業の概要・成果

事業の概要

保育を必要とする就学前の子どもを保護者に代わって保育するため、小規模保育事業所に保育を委託することにより、子どもが健やかに成長することを支援する。

また、小規模保育事業所が行う地域子ども・子育て支援事業に要する費用を補助する。

事業の成果

小規模保育事業所3園に通常保育及び延長保育を委託した。

- | | | | | |
|-----------------------------|-----------------|-----------|-----|-------------|
| ○ ひよこのお家 | (定員:19人) | 月平均入所児童数: | 11人 | |
| ・ 小規模保育事業A型給付費負担金 | | | | 24,217,750円 |
| ・ 小規模保育事業A型運営費補助金 | | | | 1,432,000円 |
| ・ 私立保育園等運営費補助金 (原油・物価高騰対策分) | | | | 912,000円 |
| ○ いろはに保育園 | (定員:19人) | 月平均入所児童数: | 13人 | |
| ・ 小規模保育事業A型給付費負担金 | | | | 27,153,500円 |
| ・ 小規模保育事業A型運営費補助金 | | | | 1,708,000円 |
| ・ 私立保育園等運営費補助金 (原油・物価高騰対策分) | | | | 912,000円 |
| ○ 市外小規模保育所 | (委託先:2園 児童数:2人) | | | |
| ・ 給付費負担金 | | | | 487,850円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	管外保育運営委託事業費							決算書P.	131
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
4,430	7,710	0	0	12,140

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		8,554	11,041	12,140	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		6,420	7,392	11,547	18負担金補助及び交付金	12,140	11,547			
特定財源	国庫支出金	2,272	2,636	4,509						
	県支出金	1,067	1,077	1,824						
	市 債	0	0	0						
	その他	746	1,376	1,068						
	一般財源	2,335	2,303	4,146						
対前年度比 (増減額)			972	4,155						
対前年度比 (増減率)			15.1%	56.2%						
							合計	12,140	11,547	

3. 事業の概要・成果

事業の概要

市内の保育園では送迎が難しい保護者の就労先にある市外認可保育所に保育を委託することにより子どもが健やかに成長することを支援する。

事業の成果

通勤圏の拡大や勤務形態の多様化等に伴い、市内保育園では送迎が困難な児童を保護者の勤務先に近い保育所に保育を委託した。

・ 私立保育所運営委託料	(委託先:9園・児童数:9人)	10,074,174 円
・ 公立保育所運営委託料	(委託先:3園・児童数:3人)	1,472,780 円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	保育園施設整備事業費							決算書P.	131
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
25,242	3,590	0	2,858	31,690

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		30,047	68,527	31,690	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		22,024	67,280	31,689	12委託料	1,781	1,780			
特定財源	国庫支出金	19,160	0	0	14工事請負費	29,909	29,909			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	46,600	16,100						
	その他	0	0	13,356						
	一般財源	2,864	20,680	2,233						
対前年度比 (増減額)			45,256	△35,591						
対前年度比 (増減率)			205.5%	△52.9%						
								合計	31,690	31,689

3. 事業の概要・成果

事業の概要

経年劣化が見受けられる八街保育園の中規模な修繕を行った。

また、2園について、園庭遊具の更新を行った

事業の成果

- | | |
|----------------------|------------|
| ○ 委託料 | |
| ・ 調理室改修工事に伴う給食供給業務 | 1,780,260円 |
| ○ 工事請負費 | |
| ・ 二州第二保育園遊戯室空調機更新工事 | 5,500,000円 |
| ・ 二州第一保育園遊具設置工事 | 640,200円 |
| ・ 二州第二保育園葉液注入装置交換工事 | 1,089,000円 |
| ・ 八街保育園保育室床改修工事 | 1,281,060円 |
| ・ 八街保育園調理室改修工事 | 7,755,000円 |
| ・ 八街保育園空調機更新工事 | 4,675,000円 |
| ・ 二州第一保育園葉液注入装置交換工事 | 682,000円 |
| ・ 二州第二保育園濾過装置五方弁交換工事 | 1,287,000円 |
| ・ 八街保育園2歳児室床改修工事 | 3,630,000円 |
| ・ 朝陽保育園園庭時計修繕 | 330,000円 |
| ・ 交進保育園陥没修繕工事 | 308,000円 |
| ・ 二州第一保育園ろ過装置ろ材交換工事 | 927,300円 |
| ・ 実住保育園遊具設置工事 | 1,804,000円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	私立小規模保育事業所施設整備事業費							決算書	P. 131
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
79,189	28,473	0	0	107,662

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	0	107,662	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	0	107,662	18負担金補助及び交付金	107,662	107,662			
特定財源	国庫支出金	0	0	71,775						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	0	35,887						
対前年度比 (増減額)			0	107,662						
対前年度比 (増減率)			0.0%	皆増						
							合計	107,662	107,662	

3. 事業の概要・成果

事業の概要

待機児童解消の一環として、小規模保育事業所新規開設に伴う事業費の一部を補助した。

事業の成果

- 私立小規模保育事業所施設整備事業費補助金

事業者： ダックス株式会社

事業費: 144,650,000円

補助額: 107,662,000円

施設概要

施設名称：けやき保育園

施設種類：小規模保育事業A型

定員：	0歳児	1歳児	2歳児	計
	6人	6人	7人	19人

敷地面積： 1,653.39m²

建築面積：183.84m²

延面積：157.08m²

構造：木造平屋建て

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	認可外保育施設感染症対策費							決算書P.	131
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	子育て支援課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,800	△ 820	0	0	1,980

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		5,300	2,800	1,980	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		854	1,774	1,980	18負担金補助及び交付金	1,980	1,980			
特定財源	国庫支出金	437	1,149	1,980						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	417	625	0						
対前年度比 (増減額)			920	206						
対前年度比 (増減率)			107.7%	11.6%						
							合計	1,980	1,980	

3. 事業の概要・成果

事業の概要

新型コロナウイルス感染症対策として、認可外保育所への補助を行うことにより、認可外保育所に通う園児や職員等への衛生管理等を強化し、感染拡大の防止を行った。

- 八街市保育環境等における新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金
- | | |
|--------------------|----------|
| ・ 託児ルームスイートMAMA | 228,000円 |
| ・ 森の保育園 リトルハウス | 30,000円 |
| ・ ヤクルト八街保育室 | 240,000円 |
| ・ ヤクルト八街北保育室 | 360,000円 |
| ・ 新八街病院病院内保育所 | 456,000円 |
| ・ 長谷川病院 虹の子保育園 | 216,000円 |
| ・ 社会福祉法人泰斗会ひだまり保育園 | 180,000円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	つくし園管理運営費						決算書	P. 133
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 2 項 6 目	事業種別	継続	担当課等	つくし園	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
4,697	△ 454	0	0	4,243

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		5,405	4,007	4,243	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		5,269	3,623	3,917	1報酬	152	151	14工事請負費	596	594
特定 財源	国庫支出金	1,650	0	0	7報償費	858	808	17備品購入費	60	60
	県支出金	0	0	0	8旅費	39	25	18負担金補助及 び交付金	10	4
	市 債	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	151	151			
	その他	413	318	258	10需用費 ⑤光熱水費	1,246	1,001			
	一般財源	3,206	3,305	3,659	10需用費 ⑥修繕料	116	116			
対前年度比 (増減額)			△1,646	294	11役務費	593	591			
対前年度比 (増減率)			△31.2%	8.1%	12委託料	392	387			
					13使用料及び賃 借料	30	29			
					合計		4,243	3,917		

3. 事業の概要・成果

〈事業の概要〉

児童福祉法に基づく児童発達支援事業所であり、保護者と一緒に総合的な発達支援を目標にしている。0歳から未就学の発達面で気になるところがある乳幼児を対象に、保護者と一緒に通園し、生活や遊びを通してできることを増やし、コミュニケーションの楽しさを経験できるよう支援している。年間を通じて小児科専門医・臨床心理士・理学療法士・音楽療法士・言語聴覚士等、専門職による相談も行っており、就学や社会参加に向け、子ども達の健やかな成長・発達を援助できるよう支援している。健康増進課、学校教育課、就学先の小学校、特別支援学校、幼児ことばの相談室、保育園、幼稚園、他事業所等、各関係機関との連携を図っている。

〈成果〉

少子化傾向や子どものみが通所する事業所が増えたことにより、親子通園であるつくし園の利用者は減少傾向にある。

子どもの成長を心配する保護者に、当園の存在や主旨を周知する目的で『出張つくし園』を年度途中から開催した。参加者が増えるようライン配信をしたり、ポスターを作成し公共施設や民間の商店に掲示を依頼した。その成果もあり新規登録者が10組増えた。今後も他機関に出向き周知に努め利用者の増員を目標としたい。

また、すでに利用している保護者の声も丁寧に聞き取り療育目標の達成を目指したい。

令和3年度末の登録者数	29人	利用延べ人数	942人	事業費収入	6,873,428円
令和4年度末の登録者数	25人	利用延べ人数	695人	事業費収入	5,040,885円
令和5年度末の登録者数	23人	利用延べ人数	569人	事業費収入	4,145,314円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	生活保護総務費						決算書	P. 135,137
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 3 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	社会福祉課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
23,547	96,973	0	0	120,520

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		182,557	80,215	120,520	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		181,933	79,934	118,840	1報酬	636	636	17備品購入費	508	507
特定 財源	国庫支出金	2,343	1,616	8,182	10需用費 ①消耗品費	213	213	22償還金、利子 及び割引料	96,786	96,786
	県支出金	0	0	0	10需用費 ②燃料費	193	153	26公課費	9	5
	市 債	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	562	541			
	その他	0	0	0	10需用費 ⑥修繕料	105	39			
一般財源		179,590	78,318	110,658	11役務費	2,541	2,120			
対前年度比 (増減額)			△101,999	38,906	12委託料	8,691	8,549			
対前年度比 (増減率)			△56.1%	48.7%	13使用料及び賃 借料	9,962	8,978			
					14工事請負費	314	313			
					合計		120,520	118,840		

3. 事業の概要・成果

◆事業の概要

生活保護法、中国残留邦人等支援給付等にかかる事務運営費。

訪問用車両燃料費・修繕費

各種調査時の郵送料

医療扶助・介護扶助に係る審査支払手数料

生活保護システム改修業務、被保護者健康管理支援業務等の委託料

生活保護システム、電子レセプト管理システムの賃借料及び生活保護AIヘルプデスクサービス利用料

国庫支出金返還金（生活保護費負担金等）

◆事業の成果

生活保護業務等の事務管理経費を一括管理し、適切な運営を図った。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	生活保護費						決算書	P. 137
会計区分	一般会計	予算科目	3 款 3 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	社会福祉課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
1,957,961	0	0	0	1,957,961

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分	3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）	2,017,529	1,987,959	1,957,961	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額	1,945,602	1,931,068	1,936,559	19扶助費	1,957,961	1,936,559			
特定財源	国庫支出金	1,437,796	1,365,221	1,404,065					
	県支出金	41,979	47,734	33,995					
	市 債	0	0	0					
	その他	26,548	38,817	35,328					
一般財源	439,279	479,296	463,171						
対前年度比 (増減額)		△14,534	5,491						
対前年度比 (増減率)		△0.7%	0.3%						
				合計	1,957,961	1,936,559			

3. 事業の概要・成果

◆事業の概要

- 生活保護法に基づき健康で文化的な最低限度の生活の保障を行うもの。
8種の扶助（①生活②住宅③教育④介護⑤医療⑥出産⑦生業⑧葬祭）があり、世帯の生活困窮状況等に
応じて給付。
- 帰国した中国残留邦人等に対し生活保護に準じた給付を行い、経済的支援を行うもの。
- 行旅死亡人取扱法または、墓地埋葬法に基づき市が葬祭執行者となり火葬を行うもの。

◆事業の成果

- 健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長を図った。

令和5年4月～令和6年3月 累計

	①生活扶助	②住宅扶助	③教育扶助	④介護扶助	⑤医療扶助	⑥出産扶助	⑦生業扶助	⑧葬祭扶助
世帯数	9,003	7,973	578	2,768	9,503	2	268	28
人員数	12,055	10,560	977	2,906	12,308	2	309	28

- 帰国して市内で生活する中国残留邦人等の生活の安定を図った。

令和5年4月～令和6年3月 累計

	生活支援給付	住宅支援給付	介護支援給付	医療支援給付	出産支援給付	生業支援給付	葬祭支援給付
世帯数	36	36	23	33	0	0	0
人員数	60	60	23	51	0	0	0

- 行旅死亡人取扱法または、墓地埋葬法に基づき市が火葬を行った。

行旅死亡人取扱法による火葬 7件 墓地埋葬法による火葬 4件

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	保健衛生総務費						決算書	P. 139
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
16,607	△ 4,124	0	0	12,483

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		22,294	17,686	12,483	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		21,764	17,448	11,986	7報償費	76	45			
特定財源	国庫支出金	2,229	0	0	10需用費 ①消耗品費	21	9			
	県支出金	70	70	0	10需用費 ②燃料費	119	85			
	市 債	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	114	103			
	その他	0	0	0	10需用費 ⑥修繕料	191	140			
	一般財源	19,465	17,378	11,986	11役務費	143	137			
対前年度比 (増減額)			△4,316	△5,462	12委託料	80	0			
対前年度比 (増減率)			△19.8%	△31.3%	18負担金補助及 び交付金	11,701	11,429			
					26公課費	38	38			
					合計		12,483	11,986		

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

- ・健康づくり体制の整備を図り、一人ひとりの健康づくりを支援するため、健康づくり推進協議会を開催し、地域住民に密着した健康づくり対策を推進する。
- ・医療機関の連携及び救急医療体制を充実させるため、印旛市郡小児初期急病診療所と成田市急病診療所の運営費の一部を負担し、地域医療体制の整備を図る。
- ・骨髄又は末梢血幹細胞提供者の増加や移植の推進を図るため、骨髄等を提供したドナー等に骨髄移植ドナー支援事業助成金を交付する。千葉県骨髄移植におけるドナー支援事業補助金交付要綱：補助率1/2

【事業の成果】

- ・健康づくり推進協議会に事業計画、事業報告等を諮り、地域住民に密着した健康づくり対策を推進。
- ・一次救急医療および小児一次救急医療のスムーズな受診のため、成田市急病診療所と印旛市郡小児初期急病診療所に人口割、受診者割合により運営費の一部を負担した。

	成田市急病診療所				印旛市郡小児初期急病診療所			
	受診者数		負担金		受診者数		負担金	
	全体	八街市	全体	八街市	全体	八街市	全体	八街市
令和3年度	2,135	94	74,717,642	6,156,735	3,450	323	105,791,757	9,903,000
令和4年度	2,706	87	67,134,583	4,892,769	3,499	341	106,366,759	10,371,000
令和5年度	3,233	112	62,214,522	4,649,915	4,454	406	68,007,094	6,203,000

- ・骨髄又は末梢血幹細胞の移植の推進を図るため、骨髄等を提供をしたドナーに助成金を交付した。

	ドナー	事業所
令和3年度	1件：20,000円×7日＝140,000円	0件：
令和4年度	1件：20,000円×7日＝140,000円	0件：
令和5年度	0件：	0件：

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	献血推進費							決算書	P. 139
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
60	0	0	△ 20	40

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		60	60	40	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	35	40	7報償費	40	40			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	35	40						
対前年度比 （増減額）			35	5						
対前年度比 （増減率）			皆増	14.3%						
							合計	40	40	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

- ・血液の安定的確保と円滑な供給が図れるよう、献血推進協議会委員が中心となり、献血事業の啓蒙普及を図る。

【事業の実施内容】

- ・ 献血思想の普及と献血制度を適正かつ円滑に運営し輸血用血液の確保に努めるため、八街市献血推進協議会を令和6年2月26日に開催した。

【事業の成果】

	献血回数	200ml	400ml	合計
令和3年度	12回	55人	397人	452人
令和4年度	9回	11人	333人	344人
令和5年度	10回	44人	377人	421人

※延べ回数、延べ人数

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	保健活動諸費							決算書	P. 139,141
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
478	△ 96	0	0	382

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		445	449	382	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		354	392	350	7報償費	259	259			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	8旅費	0	0			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	96	68			
	市 債	0	0	0	11役務費	27	23			
	その他	58	0	0	18負担金補助及 び交付金	0	0			
	一般財源	296	392	350						
対前年度比 (増減額)			38	△42						
対前年度比 (増減率)			10.7%	△10.7%						
							合計	382	350	

3. 事業の概要・成果

事業の概要

市民の健康の保持増進を目的とし、市が保健推進員に対して資質の向上を図るための研修を実施し、それに基づき保健推進員が市民に伝達することにより、市が行う各種の保健事業を地域全域に浸透させ、地域住民と行政のパイプ役として、また住民の良き相談相手として活動し、市民の健康増進を図る。

事業の成果

市主催の各種研修会に参加し、活動に必要な知識を習得した後、市民に対し伝達講習会を行い、健康づくりに関する知識の普及に努めた。

市が行う行事への協力及び健康診査や各種がん検診の受診勧奨、健康教室の周知等を行い、市民の健康増進に寄与した。

また、保健推進員養成講座「はつらつ健康教室」を開催して、保健推進員の充足に努めた。

○市主催研修会 4回開催、延べ61人参加

○事業協力 子宮頸がん集団検診、乳がん検診、集団健康教育、子どもの食教室
7日間 従事者：延べ21人 参加者：延べ77人

○保健推進員地区伝達講習会等	開催回数	従事者数	参加者数
----------------	------	------	------

・運動グループのみでの実施	5回	24人	44人
---------------	----	-----	-----

・運動グループ・栄養グループ合同実施	1回	9人	14人
--------------------	----	----	-----

・栄養グループのみでの実施	4回	16人	45人
---------------	----	-----	-----

○保健事業の周知活動（特定健診会場）4日間 従事者：延べ11人 参加者：延べ313人

○はつらつ健康教室 4回開催 延べ19人参加

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	各種予防費						決算書	P. 141
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
132,526	3,018	0	1,088	136,632

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		137,921	132,242	136,632	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		123,126	131,162	136,169	10需用費 ①消耗品費	138	138			
特定 財源	国庫支出金	21,187	0	0	10需用費 ④印刷製本費	68	61			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ⑧医薬材料費	5	0			
	市 債	0	0	0	11役務費	1,783	1,757			
	その他	0	0	0	12委託料	134,123	134,122			
一般財源		101,939	131,162	136,169	19扶助費	515	91			
対前年度比 (増減額)			8,036	5,007						
対前年度比 (増減率)			6.5%	3.8%						
					合計				136,632	136,169

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

- ・感染症の発生及び蔓延を予防するために予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進を図る。

【事業の成果】

- ・子どもの予防接種は、最も早いもので生後2か月から開始する必要がある、出生届出時に予防接種の予診票を渡し、接種スケジュールを説明していることと、かかりつけ医でも接種回数やスケジュール管理されることから、例年接種率が高く維持されているが、今後も広報、ホームページ、個別通知などで接種勧奨していく。日本脳炎2期や2種混合など接種期間が長い一概に伸び率などは比べられないが、小学校の協力を得て、保健だよりに掲載するなど接種勧奨に努める。

	対象者	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小児用肺炎球菌	2月以上60月未満	102.7%	93.2%	99.0%
ヒブ	2月以上60月未満	102.7%	93.2%	98.7%
4種混合	2月以上90月未満	102.6%	92.4%	103.1%
日本脳炎 1期	6月以上90月未満	74.8%	97.3%	81.5%
BCG	1歳未満	100.7%	82.5%	94.8%
B型肝炎	1歳未満	101.2%	91.2%	94.2%
水痘	1歳以上3歳未満	86.8%	84.9%	80.3%
麻疹風しん混合 1期	1歳以上2歳未満	81.7%	96.8%	80.0%
麻疹風しん混合 2期	小学校就学前1年間	90.0%	78.6%	90.0%
日本脳炎 2期	9歳以上13歳未満	69.7%	111.9%	100.7%
2種混合	11歳以上13歳未満	53.5%	67.7%	83.1%
高齢者インフルエンザ	65歳以上	58.9%	60.7%	60.2%
高齢者肺炎球菌	65.70.75.80.85.90.95.100歳	23.0%	23.4%	21.5%

接種率：実接種者数÷標準的な接種期間の人数

令和 5 年度 主要な施策の成果

事業費名	風しんの追加的対策事業費							決算書P.	141
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,350	1,193	0	0	3,543

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		19,743	3,556	3,543	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		1,943	2,806	1,572	11 役務費	460	0			
特定財源	国庫支出金	722	1,646	809	12 委託料	1,890	379			
	県支出金	0	0	0	22 償還金、利子及び割引料	1,193	1,193			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	1,221	1,160	763						
対前年度比 （増減額）			863	△1,234						
対前年度比 （増減率）			44.4%	△44.0%						
							合計	3,543	1,572	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

- ・風しんの発生及び蔓延の予防のために、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性に無料で抗体検査を実施し、抗体価の低い者に予防接種法第5条第1項に基づき、風しんの定期接種を実施するものである。

対象実施期間は、2019年度から2021年度であったが、3年延長され、2024年度までとなっている。

【事業の成果】

- ・クーポン券発送

8,771件（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
風しん抗体検査実施者数	594人	1,056人	221人	143人	33人
風しん予防接種実施者数	137人	228人	64人	44人	16人
予防接種実施／抗体検査実施	23.1%	21.6%	29.0%	30.8%	48.5%
風しん抗体検査実施者数（累計）	594人	1,650人	1,871人	2,014人	2,047人
風しん予防接種実施者数（累計）	137人	365人	429人	473人	489人
抗体検査実施（累計）／クーポン発送	－	18.8%	21.3%	23.0%	23.3%

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費						決算書	P. 141,143
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	1,176,352	0	0	1,176,352

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		695,489	467,606	1,176,352	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		393,734	218,086	775,436	1報酬	7,567	3,890	11役務費	21,400	6,355
特定財源	国庫支出金	393,734	218,086	262,321	2給料	11,572	7,164	12委託料	528,154	174,119
	県支出金	0	0	0	3職員手当等	16,119	2,829	13使用料及び賃借料	12,225	3,603
	市 債	0	0	0	4共済費	2,150	2,127	18負担金補助及び交付金	17,372	17,372
	その他	0	0	0	8旅費	120	120	22償還金、利子及び割引料	556,573	556,572
一般財源		0	0	513,115	10需用費 ①消耗品費	1,200	1,035			
対前年度比 (増減額)			△175,648	557,350	10需用費 ②燃料費	200	49			
対前年度比 (増減率)			△44.6%	255.6%	10需用費 ④印刷製本費	500	201			
					10需用費 ⑧医薬材料費	1,200	0			
					合計		1,176,352	775,436		

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

- 令和5年5月春開始のオミクロン株対応ワクチンでの追加接種(3～6回目)及び初回接種(1・2回目)、令和5年9月秋開始のオミクロン株XBB. 1. 5対応ワクチンでの追加接種(3～7回目)及び初回接種(1・2回目)を希望する者全員が接種できるように新型コロナウイルス感染症の予防接種等を実施するために必要となる体制を確保する。

【事業の実施内容】

- 臨時接種として全額公費負担で対象者に新型コロナワクチンを接種する。
令和5年春接種対象者：65歳以上の方、基礎疾患を有する方、医療従事者等
令和5年秋接種対象者：生後6ヶ月以上のすべての方

【事業の成果】

- コールセンターやインターネットから接種の予約をする体制を構築し、個別医療機関での接種を実施して希望する者が接種をすることができた。
令和5年5月開始の春接種：13, 421人
令和5年9月開始の秋接種：18, 330人

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	母子保健指導事業費							決算書	P. 143
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,559	0	0	0	2,559

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		2,471	2,889	2,559	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		1,811	2,320	1,815	1報酬	352	320			
特定財源	国庫支出金	11	103	281	7報償費	1,644	1,260			
	県支出金	36	100	107	10需用費 ①消耗品費	485	162			
	市 債	0	0	0	11役務費	14	9			
	その他	0	0	0	12委託料	64	64			
	一般財源	1,764	2,117	1,427						
対前年度比 （増減額）			509	△505						
対前年度比 （増減率）			28.1%	△21.8%						
								合計	2,559	1,815

3. 事業の概要・成果

(概要)	母子保健法に基づき母親学級、妊婦相談、妊産婦新生児訪問及びこんには赤ちゃん訪問や2歳児歯科健康診査を行い、育児相談や健康教育を通じて、子どもの健やかな成長発達を促し、子育て支援の充実を図る。また、こうした健診や訪問等の機会に、気になる家庭の状況を確認し、DVや虐待等の懸念がないか確認していく。
(成果)	
母親学級	妊娠6か月前後の妊婦に、妊娠、出産、育児の正しい知識を普及し、分娩や育児等の不安の軽減を目的に実施。また、妊婦同士の交流を図り、妊産婦の孤立化を防ぐ。内容はマタニティ体操、妊婦中の歯の手入れ、抱っこ、オムツ替え実習、沐浴実習、妊娠中の栄養の話などを行っている。 年4コース（1コース3回）実施。参加者：初妊婦延べ121人、経産婦9人
新米ママ食堂	生後6か月未満の母子を支援する場として子育て世帯の安心を醸成できる場、母親が気分転換できる場、地域における助け合う力を育む場の提供を目的に実施。内容は、発育測定・発達確認、赤ちゃんとのふれあい遊びの紹介、新米ママの懇談、食事の提供する。年に2回実施予定。 令和5年度は2回実施した。
4か月児乳児相談	来所率91.1%(前年度比2.7%減) 乳児の成長・発達・育児の状況を聞き、相談内容に応じた保健指導を行う。
10か月児栄養・歯科相談	乳児が健全に育つよう、栄養・歯科について、相談指導を行っている。
2歳児歯科健康診査	2歳6か月に達した者に歯科診療とフッ素塗布を実施。保健師・栄養士・歯科衛生士が各相談について保健指導を行っている。来所率83.3%（令和4年度92.0%）
あそびの教室	1歳6か月健康診査や3歳児健康診査で支援の必要な親子に対して、あそびを通して、子どもとの関わり方を学び、養育者の育児変容と子どもの発達を促進する。また、教室終了後の療育支援先の検討もを行っている。あいあいクラス(1歳6ヶ月～2歳6ヶ月児)：20回実施、延べ141組、ゆうゆうクラス(2歳児以降)：12回実施、延べ83組、りんりんクラス(3歳児以降)：12回実施、延べ75組
こどもの「食」教室	幼児に正しい食習慣を身に付け、健やかな心身の発育・発達を促進している。子どもの「食」を考えることが、家庭全体の食生活を見直すきっかけにもなり、子どもの食行動だけでなく、家族全体の生活習慣の改善につなげるよう支援している。
思春期教育	市内小学5,6年生を対象に生命についての講演。（笹引小、三州小にて実施）
ピカピカ教室	市立保育園・私立保育園、こども園の15園に年長児を対象に講話を実施。 令和4年度は講話のみだったが、令和5年度は実技指導も行った。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	妊婦・乳児健康診査事業費							決算書P.	143
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
35,814	250	0	△ 86	35,978

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		30,392	30,298	35,978	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		28,305	27,828	29,007	10需用費 ①消耗品費	144	143			
特定財源	国庫支出金	0	1,272	2,121	10需用費 ④印刷製本費	150	79			
	県支出金	0	0	5,275	12委託料	34,987	28,526			
	市 債	0	0	0	18負担金補助及び交付金	697	259			
	その他	19,915	12,945	0						
	一般財源	8,390	13,611	21,611						
対前年度比 (増減額)			△477	1,179						
対前年度比 (増減率)			△1.7%	4.2%						
							合計	35,978	29,007	

3. 事業の概要・成果

(概要)

妊婦健康診査の公費助成(受診券14回分)を実施し、妊娠高血圧症候群等の異常の早期発見及び定期的な健診により母胎の健康の保持増進を図る。そして、安心、安全に妊娠期を送り、出産できる環境作りを推進する。また、乳児についても発達の節目の時期に健康診査の公費助成を行い、健全な発達支援に寄与する。

内容：妊婦健診は14回分を助成。医師による診察、血液検査、Hbs抗原、HCV抗体、尿検査、血圧測定、超音波検査、子宮頸がん検査等。乳児健診は、生後3～6か月時と9～11か月時の2回助成。
令和4年度から産婦健康診査を実施（5,000円／回、2回まで）

(成果)

妊娠から出産に至るまでの必要な回数である14回の健康診査が受けられるため、経済的負担が軽減され、安心して出産できる支援づくりにつながっている。乳児健康診査は、3～6か月時と9～11か月時の2回分、健康診査補助をしている。発達の節目（頸座り、お座り、ハイハイ、立っち等）の時期に医療機関で利用でき、こどもの健やかな発達の確認と、養育者の不安解消を図る。

公費助成(受診券)

妊婦健康診査	妊娠届出数	利用延べ数	1人平均利用数
令和3年度	263 件	3,105 件	11.8 枚
令和4年度	235 件	2,755 件	11.7 枚
令和5年度	272 件	2,823 件	10.4 枚

新生児聴覚検査	出生数	利用数
令和3年度	281 件	252 件
令和4年度	240 件	223 件
令和5年度	237 件	221 件

乳児健康診査	出生数	利用延べ数	1人平均利用数
令和3年度	281 件	294 件	1.0 枚
令和4年度	240 件	369 件	1.5 枚
令和5年度	237 件	344 件	1.5 枚

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	1 歳 6 ヶ 月 児 健 康 診 査 事 業 費							決算書	P. 143,145
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
1,363	0	0	0	1,363

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		1,362	1,362	1,363	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		1,347	1,282	1,342	1報酬	1,216	1,216			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	7報償費	120	120			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	11	6			
	市 債	0	0	0	12委託料	16	0			
	その他	0	0	0						
	一般財源	1,347	1,282	1,342						
対前年度比 (増減額)			△65	60						
対前年度比 (増減率)			△4.8%	4.7%						
							合計	1,363	1,342	

3. 事業の概要・成果

(概要)

1歳6か月児を対象に、身体計測、医師および歯科医師による健康診査ならびに歯科ブラッシング指導、保健師および栄養士による相談指導、言語相談（必要な方のみ）を実施。異常を早期発見し、精密検査が必要な場合には、精密検査受診票を発行し、医療機関へつないでいる。また、対象児の発育発達および養育環境等に不安のある方はその後も電話や家庭訪問、教室の中で経過観察を行う。

(成果) 年間の健診の予定を健康カレンダーに掲載し、市内医療機関等に設置している。対象者には、健診の1か月前に通知するとともに、市内保育園や託児所にも日程を掲示依頼するなど、関係機関の協力により、受診率はほぼ横ばいで高止まっている。また未受診者の中には、虐待等ハイリスク家庭も含まれる可能性があることから、健診未受診者に対して、電話や訪問、あるいは、就園先などへ出向き、こどもの発育・発達および養育環境の確認に努めている。また、発達障害の疑いがある場合、養育者の不安感をあおり立てることなく、その困り感に継続的に相談にのり、発達援助を行いながら、必要に応じ医療機関やその他の療育機関を紹介するなど支援している。

	対象	受診者数	受診率
令和3年度	295 人	285 人	96.6 %
令和4年度	277 人	260 人	93.9 %
令和5年度	316 人	296 人	93.7 %

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	3 歳児健康診査事業費							決算書	P. 145
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,039	0	0	64	2,103

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		1,839	3,086	2,103	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		1,672	2,976	2,020	1報酬	1,408	1,408			
特定財源	国庫支出金	0	653	0	7報償費	144	144			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	32	31			
	市 債	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	10	10			
	その他	0	0	0	12委託料	423	342			
	一般財源	1,672	2,323	2,020	17備品購入費	86	85			
対前年度比 (増減額)			1,304	△956						
対前年度比 (増減率)			78.0%	△32.1%						
								合計	2,103	2,020

3. 事業の概要・成果

(概要)

3歳6か月児を対象に、身体計測、医師および歯科医師による健康診査ならびに尿検査および視力、聴力検査、歯科ブラッシング指導、保健師および栄養士による面接、言語相談（必要な方のみ）を実施。異常を早期発見し、精密検査が必要な場合には、精密検査受診票を発行し、医療機関へつないでいる。また、対象児の発育発達および養育環境等に不安のある方はその後も電話や家庭訪問、教室の中で経過観察を行う。

(成果)

健診の受診率は、90.6%と昨年度に比べ1.3ポイント減少した。

令和4年度に、眼科検査に使用するスポットビジョンスクリーナーを国庫補助を受けて購入し、眼に関する異常をより正確に捉えることに努めた結果、眼科要受診者は88名（R4年度は57名）となり、受診者に占める割合は29.5%となっている。

	対象	受診者数	受診率
令和3年度	320 人	301 人	94.1 %
令和4年度	359 人	330 人	91.9 %
令和5年度	329 人	298 人	90.6 %

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	子ども医療費助成事業費						決算書	P. 145
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
165,840	22,298	0	△ 27	188,111

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		161,401	151,208	188,111	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		134,530	137,892	171,570	10需用費 ①消耗品費	13	6			
特定 財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	191	189			
	県支出金	35,568	37,469	43,977	11役務費	6,295	5,546			
	市 債	0	0	0	19扶助費	181,612	165,829			
	その他	1,235	1,849	961						
一般財源		97,727	98,574	126,632						
対前年度比 (増減額)			3,362	33,678						
対前年度比 (増減率)			2.5%	24.4%						
					合計	188,111	171,570			

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

- ・高校3年生までの子どもの保険医療にかかる自己負担額を助成することにより、子どもの健康の向上及び保護者の経済的負担の軽減を図る。

【事業の実施内容】

- ・子ども医療費助成受給券を発券し、現物給付（一部償還払い有り）で助成。
- ・対象となる医療費は、入院、通院（入院時の食事代・保険調剤を含む）のうち、保険診療に伴う医療費の一部自己負担金部分。
- ・助成対象となる医療費における窓口負担額
市民税所得割課税世帯：入院1日・通院1回につき300円、調剤は無料※入院11日又は通院6回以降は無料
市民税均等割世帯及び非課税世帯：入院・通院・調剤すべて無料
- ・令和5年8月1日から助成対象を高校3年生まで拡充。
- ・千葉県子ども医療費助成事業補助金交付要綱
補助対象 入院：中学校3年生まで、通院・調剤：小学校3年生まで：補助率1/2

【事業の成果】

	対象者数	現物給付件数		償還払い件数		扶助額
		入院	通院	入院	通院	
令和3年度	6,608人	279件	61,282件	14件	222件	130,136,555円
令和4年度	6,427人	311件	63,861件	18件	297件	133,402,607円
令和5年度	7,927人	374件	80,723件	27件	426件	165,829,174円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	未熟児養育医療事業費							決算書P.	145
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
4,432	105	0	0	4,537

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		4,487	4,584	4,537	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		3,431	2,673	4,288	12委託料	2	1			
特定財源	国庫支出金	1,602	1,416	1,271	19扶助費	4,430	4,183			
	県支出金	710	598	835	22償還金、利子及び割引料	105	104			
	市 債	0	0	0						
	その他	591	282	842						
	一般財源	528	377	1,340						
対前年度比 （増減額）			△758	1,615						
対前年度比 （増減率）			△22.1%	60.4%						
							合計	4,537	4,288	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

- ・医師が入院養育を必要と認めた未熟児に対し、医療費の自己負担の一部を公費負担し、医療対策の充実と保護者の経済的負担の軽減を図る。

【事業の実施内容】

- ・ 入院養育を必要とする未熟児の医療対策の充実および子育て世帯における経済的負担の軽減するため医療費の一部を公費で補助。

対象の目安：

出生時体重2,000グラム以下、

生活力が特に薄弱（一般状態・体温・呼吸器・循環器・消化器系の異常、黄疸が強いなど）

- ・未熟児養育医療費等国庫負担金交付要綱：補助率1/2
- ・千葉県未熟児養育医療費負担金交付要綱：補助率1/4

【事業の成果】

	実人数	助成件数	扶助額
令和3年度	7人	28件	3,430,187円
令和4年度	9人	23件	2,672,309円
令和5年度	11人	38件	4,182,863円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	子育て世代包括支援センター運営事業費						決算書	P. 145,147
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
1,987	1,497	0	0	3,484

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		4,657	2,361	3,484	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		2,293	1,844	2,843	7報償費	168	156			
特定 財源	国庫支出金	374	1,596	671	10需用費 ①消耗品費	154	130			
	県支出金	48	54	1,017	12委託料	1,665	1,162			
	市 債	0	0	0	18負担金補助及 び交付金	158	56			
	その他	0	0	0	22償還金、利子 及び割引料	1,339	1,339			
一般財源		1,871	194	1,155						
対前年度比 (増減額)			△449	999						
対前年度比 (増減率)			△19.6%	54.2%						
					合計	3,484	2,843			

3. 事業の概要・成果

(概要)

子育て世代包括支援センターは、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行うことにより、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制を構築することを目的とする。
産後ケア事業として（訪問型・宿泊型）、産前産後サポート事業としてデイサービス（はちみつ room）を行った。

(成果)

○産後ケア事業

前年度より訪問型が減少したが、宿泊型及び日帰り型が大幅に増加しており全体的では2.4倍の利用増加となった。事業が認知されたこと、利用料助成を開始したことが要因として考えられ、今後も利用者は増加していくものと予想されるため、利用可能な施設を増加させることが必要となる。

○産前産後サポート事業（ママになろうハッピールーム4回、ママの心の相談室12回、新米ママ食堂2回、ママになろうハッピールームOB会4回）

市内の配置変更等により、実住保育園等で実施していたデイサービス等が令和4年9月以降実施できなかったため、令和5年度に新たな妊産婦のサポートを企画し実施した。

産後ケア事業

	訪問型	宿泊型	日帰り型	延べ利用者数
令和3年度	17 件	1 件		18 件
令和4年度	21 件	4 件		25 件
令和5年度	16 件	16 件	29 件	61 件

産前産後サポート事業

	開催	延べ利用人数
令和3年度	26 回	97 人
令和4年度	13 回	21 人
令和5年度	22 回	68 人

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	高校生等医療費助成事業費							決算書	P. 147
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
15,259	△ 3,890	0	△ 1,041	10,328

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		21,960	16,035	10,328	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		11,868	13,141	10,316	10需用費 ①消耗品費	12	0			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	19扶助費	10,316	10,316			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	11,868	0	0						
	一般財源	0	13,141	10,316						
対前年度比 (増減額)			1,273	△2,825						
対前年度比 (増減率)			10.7%	△21.5%						
							合計	10,328	10,316	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

- ・高校生等の保険医療にかかる自己負担額を助成することにより、保護者の経済的負担の軽減を図る。

【事業の実施内容】

- ・医療機関に支払った領収書などを添付して、申請する一部償還払い方式で助成。
- ・対象となる医療費は、入院、通院（入院時の食事代・保険調剤を含む）のうち、保険診療に伴う医療費の一部自己負担金部分。
- ・助成対象となる医療費における自己負担額
市民税所得割課税世帯：入院1日・通院1回につき300円、調剤は無料
市民税均等割世帯及び非課税世帯：入院・通院・調剤すべて無料
- ・令和5年8月1日から子ども医療費助成制度の拡充により、本制度は令和5年7月31日受診分で終了。

【事業の成果】

	対象人数	償還払い件数	扶助額
令和3年度	1,692人	4,557件	11,858,564円
令和4年度	1,654人	5,094件	13,131,052円
令和5年度	1,663人	4,439件	10,315,681円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	出産・子育て応援事業費						決算書P.	147
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 3 目	事業種別	新規	担当課等	健康増進課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
32,753	2,977	0	0	35,730

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	31,093	35,730	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	24,073	35,700	1報酬	0	0			
特定 財源	国庫支出金	0	17,839	23,158	3職員手当等	0	0			
	県支出金	0	3,747	6,292	4共済費	0	0			
	市 債	0	0	0	8旅費	0	0			
	その他	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	10	8			
一般財源		0	2,487	6,250	10需用費 ④印刷製本費	20	0			
対前年度比 (増減額)			24,073	11,627	11役務費	90	82			
対前年度比 (増減率)			皆増	48.3%	12委託料	3,960	3,960			
					18負担金補助及 び交付金	31,650	31,650			
					合計		35,730		35,700	

3. 事業の概要・成果

(概要)

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠期から出産子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠の届け出や出生の届け出を行った妊婦・子育て世帯等に対し、出産・子育て応援給付金を支給する。

対象は令和4年4月以降に出産した者で、給付金の額は、妊娠届け出時の面談後に5万円、出生後の新生児訪問等による面談後に5万円の支給とする。

令和5年度は伴走型支援アプリ『HELPO』を導入し、出産・子育て支援を行った。

(成果)

出産応援給付金 377名×50,000円＝18,850,000円
子育て応援給付金 256名×50,000円＝12,800,000円

	出産応援給付金	子育て応援給付金	合計支給人数
令和3年度			
令和4年度	255	192	447
令和5年度	377	256	633

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	妊婦支援給付金給付事業費							決算書	P.	147
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課			

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
6,026	2,980	0	22	9,028

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	4,431	9,028	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	4,341	8,336	11 役務費	48	36			
特定財源	国庫支出金	0	3,961	0	18 負担金補助及び交付金	8,980	8,300			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	6,026						
	一般財源	0	380	2,310						
対前年度比 (増減額)			4,341	3,995						
対前年度比 (増減率)			皆増	92.0%						
							合計	9,028	8,336	

3. 事業の概要・成果

(概要)

食料品等の物価高騰から、妊婦及び出産後間もない時期の産婦が食事制限や食料品の買い控えとならないように支援給付金を支給することにより、出産を支援するとともに、妊婦及び産婦の経済的負担の軽減を図る。

令和4年11月2日以降に出産を予定している妊婦に対し、2万円を支給。

(成果)

支給人数415名×20,000円＝8,300,000円 を支給し、妊産婦の家庭の経済的負担を軽減した。

(令和4年度中に妊娠届を提出した者 143名、令和5年度中に妊娠届を提出した者 272名 計415名)

	支給人数
令和3年度	
令和4年度	216
令和5年度	415

令和 5 年度 主要な施策の成果

事業費名	後期高齢者医療健康診査受託事業費							決算書P.	147
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 4 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
21,180	△ 3,700	0	0	17,480

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		18,946	15,884	17,480	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		13,475	14,275	17,138	10需用費 ①消耗品費	162	161			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	244	243			
	県支出金	275	13	0	11役務費	1,500	1,478			
	市 債	0	0	0	12委託料	15,574	15,256			
	その他	13,164	13,792	16,679						
	一般財源	36	470	459						
対前年度比 （増減額）			800	2,863						
対前年度比 （増減率）			5.9%	20.1%						
							合計	17,480	17,138	

3. 事業の概要・成果

事業の概要

高齢者の医療の確保に関する法律の規定に基づき、後期高齢者医療制度の被保険者に対し、生活習慣病の疾病予防を図り、高齢期における健康の保持増進及び地域における自立した生活の支援を目的とし、千葉県後期高齢者医療広域連合からの受託事業として、被保険者を対象に健康診査を実施することにより、保健予防の充実を図る。

事業の成果

後期高齢者医療被保険者の健康診査を千葉県後期高齢者医療広域連合からの受託事業として実施し、生活習慣病の予防や早期発見等により、高齢期における健康の保持増進を支援することができた。

また令和5年度から集団健診の他に個別健診を開始し、受診者が集団検診か個別健診か選択できるようにし、受診しやすい環境を整えた。

- | | | |
|-------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| ・ 日程 | 集団健診 | 令和5年8月25日～8月31日の7日間 |
| | 個別健診 | 令和5年8月1日～令和6年2月29日（医療機関により実施期間は異なる。） |
| ・ 会場 | 集団健診 | 総合保健福祉センター、スポーツプラザ |
| | 個別健診 | 契約医療機関13箇所（市内9箇所、市外4箇所） |
| ・ 広報方法 | 広報紙3回、地区回覧1回、健康カレンダー及びホームページ等に掲載 | |
| ・ 受診者数及び受診率 | | |

年度	受診者数	受診率
令和3年度	1,738人	20.4%
令和4年度	1,815人	21.5%
令和5年度	2,039人	22.0%

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	健康増進事業費							決算書	P. 147,149
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 4 目	事業種別	継続	担当課等	健康増進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
84,556	△ 19,965	0	0	64,591

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		70,900	75,522	64,591	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		58,637	61,549	62,748	7報償費	49	28			
特定財源	国庫支出金	551	472	604	10需用費 ①消耗品費	272	254			
	県支出金	1,462	1,778	1,108	10需用費 ②燃料費	21	20			
	市 債	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	287	279			
	その他	0	0	0	11役務費	3,168	3,123			
	一般財源	56,624	59,299	61,036	12委託料	60,794	59,044			
対前年度比 (増減額)			2,912	1,199						
対前年度比 (増減率)			5.0%	1.9%						
							合計	64,591	62,748	

3. 事業の概要・成果

事業の概要

健康増進法の規定により、対象者に対し、疾病の早期発見及び予防に関する知識の普及を目的とし、各種がん検診、結核健康診断、健康教育及び健康相談を実施することにより、市民の保健向上を図る。

事業の成果

市民の健康の増進を図るために健康相談・健康教育・訪問指導等を行い、健康管理に関する正しい知識の普及を図った。

また、各種がん検診を実施し、がんの早期発見に努めた。

各種検診受診率	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
胃がん検診	3,001人	13.8%	3,046人	13.3%	2,929人	12.8%
大腸がん検診	4,732人	21.8%	4,655人	20.4%	4,506人	19.7%
肺がん（結核）検診	4,146人	19.1%	4,212人	18.4%	4,108人	18.0%
子宮頸がん検診	1,329人	16.8%	1,231人	16.6%	1,236人	15.9%
乳がん検診	4,554人	31.8%	4,384人	30.9%	4,340人	30.6%
前立腺がん検診	2,024人	26.5%	2,102人	24.8%	2,134人	25.2%
肝炎ウイルス検診	716人	7.9%	913人	9.8%	402人	4.3%
生活保護者等健康診査	53人	6.7%	63人	8.1%	57人	7.2%

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	開催回数	人数	開催回数	人数	開催回数	人数
健康教育	5回	23人	5回	13人	9回	24人
健康相談	18回	19人	9回	9人	11回	11人

※人数は延べ人数とする。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	家庭用小型合併処理浄化槽設置事業費							決算書	P. 149
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	環境課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
24,716	0	0	667	25,383

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		24,716	24,716	25,383	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		23,706	23,741	25,383	18負担金補助及び交付金	25,383	25,383			
特定財源	国庫支出金	5,832	1,482	5,832						
	県支出金	8,667	8,502	8,836						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	9,207	13,757	10,715						
対前年度比 (増減額)			35	1,642						
対前年度比 (増減率)			0.1%	6.9%						
							合計	25,383	25,383	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、補助対象区域において、新築、建替及び増築を伴わずに、既設単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から、し尿と生活排水の処理が同時にできる合併処理浄化槽に付け替える市民に対して補助金を交付する。

【事業の成果】

指標名	令和3年度 (予定基数25基)	令和4年度 (予定基数25基)	令和5年度 (予定基数25基)
単独処理浄化槽からの転換基数	21基(5基)	21基(7基)	24基(15基)
汲み取り便槽からの転換基数	5基(1基)	1基	0基

設置された浄化槽のすべてが窒素又は磷除去能力を有する高度処理型合併浄化槽

()内はより高度な窒素除去能力を有する高度処理型合併浄化槽

※申請数は補助金交付数と同一

令和 5 年度 主要な施策の成果

事業費名	八富成田斎場費							決算書	P. 149
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	環境課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
90,154	△ 2,823	0	△ 667	86,664

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		45,164	54,127	86,664	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		45,164	54,126	86,664	18負担金補助及び交付金	86,664	86,664			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	13,600	13,600	21,600						
	その他	0	0	0						
	一般財源	31,564	40,526	65,064						
対前年度比 (増減額)			8,962	32,538						
対前年度比 (増減率)			19.8%	60.1%						
							合計	86,664	86,664	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

八街市、成田市、富里市の3市で共同運営している斎場に係る経費。

【事業の成果】

指標名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
火葬件数（八街市）	746件	868件	858件
式場利用件数（八街市）	63件	70件	67件
控室利用件数（八街市）	45件	45件	37件
霊安室利用件数（八街市）	31件	34件	28件

指標名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
火葬件数（3 市）	2,548件	2,887件	3,041件

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	環境衛生諸費							決算書	P.	149
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	環境課			

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
441	0	0	△ 4	437

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

[illegible]

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

環境衛生全般及び、環境課庶務に関する業務を円滑かつ効果的に行う。

- ・ 現場用車両の維持管理
- ・ 山田台雑排水処理装置管理業務
- ・ 危険害虫駆除業務
- ・ 千葉県浄化槽促進協議会活動
- ・ し尿処理及びし尿浄化槽清掃業者の指導
- ・ 八街市食品衛生連合会に関する事務
- ・ 墓地事務
- ・ 外来生物、生物多様性、動物愛護事務
- ・ 環境課庶務

【事業の成果】

環境衛生全般及び、環境課庶務に関する業務を円滑かつ効果的に行うことができた。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	狂犬病予防対策費							決算書	P. 149,151
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 5 目	事業種別	継続	担当課等	環境課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
452	0	0	4	456

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		727	466	456	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		391	433	426	10需用費 ①消耗品費	125	122			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	28	27			
	県支出金	0	0	0	11役務費	303	277			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	391	433	426						
対前年度比 (増減額)			42	△7						
対前年度比 (増減率)			10.7%	△1.6%						
								合計	456	426

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

狂犬病予防法に基づき畜犬登録及び鑑札・狂犬病予防注射済票の交付を行うと共に、４月の７日間、市内２５会場にて集合による狂犬病予防注射を実施する。

【事業の成果】

單位：件

指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規登録	284	495 (133)	539 (458)
転入	57	137 (81)	200 (171)
転出	45	65	139
抹消（死亡等）	469	518	486
年度末の登録数	4,339	4,388	4,502
狂犬病予防注射件数	2,549	2,920	2,761
接種率	58.7%	66.5%	61.3%

() マイクロチップが装着された犬で、環境大臣指定の登録機関でマイクロチップ
情報が登録された件数

八街市は、令和4年10月1日から参加

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	不法投棄監視対策費							決算書P.	151
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 6 目	事業種別	継続	担当課等	環境課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,546	0	0	0	2,546

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		2,369	2,235	2,546	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		2,239	2,116	2,116	7報償費	720	720			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	242	241			
	県支出金	360	360	360	12委託料	1,584	1,155			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	1,879	1,756	1,756						
対前年度比 (増減額)			△123	0						
対前年度比 (増減率)			△5.5%	0.0%						
							合計	2,546	2,116	

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

- (1) 市内における廃棄物等の不法投棄を的確に把握するため、八街市不法投棄監視員（２０名）を委嘱し市民の快適な生活環境の保全を図る。
- (2) 廃棄物等の不法投棄を未然に防ぐため不法投棄禁止プレートを作成する。
- (3) 八街市内全域の産業廃棄物及び残土等不法投棄の未然防止のため、警備会社に委託し監視及びパトロール実施する。

◎施策の成果

- | | |
|----------------------------|------------|
| (1) 不法投棄監視員報酬 | 720,000円 |
| 月額3,000円×12ヶ月×20人 | |
| 不法投棄監視員研修 令和5年5月18日(木) | |
| 監視回数 927回 | |
| 令和5年度千葉県産業廃棄物不法投棄防止事業総合補助金 | 360,000円 |
| (2) 不法投棄禁止プレート | 240,570円 |
| @2,700円×81組×1.1 | |
| 34件 67枚 配布 | |
| (3) 八街市産業廃棄物不法投棄監視業務 | 1,155,000円 |
| 年間30回 発見件数 1件 | |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	水質対策事業費							決算書	P. 151
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 6 目	事業種別	継続	担当課等	環境課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
3,401	0	0	△ 16	3,385

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		2,923	2,874	3,385	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		2,853	2,814	2,679	10需用費 ①消耗品費	16	13			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	11役務費	2	2			
	県支出金	0	0	0	12委託料	3,067	2,574			
	市 債	0	0	0	18負担金補助及び交付金	300	90			
	その他	0	0	0						
一般財源		2,853	2,814	2,679						
対前年度比 (増減額)			△39	△135						
対前年度比 (増減率)			△1.4%	△4.8%						
							合計	3,385	2,679	

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

- (1) 水道法、八街市小規模水道条例に基づく施設に対し、利用者が安全な水の配水を維持できるよう監督指導等を行う。 ボランティアによる印旛沼流域の河川清掃活動を行う。
- (2) 八街市における有機塩素系化合物等による地下水汚染の状況を把握するため、市内から抽出した飲用井戸水の水質調査を実施する。
- (3) 個人所有の飲用井戸水に対し、硝酸態窒素および亜硝酸態窒素または大腸菌を除去する浄水器設置の補助を行う。
- (4) 八街市内の河川水質汚濁状況を把握するとともに、水質汚濁防止のために講ずべき施策の策定のため河川水質検査を実施する。

◎施策の成果

- | | |
|---|-------------------|
| (1) 水道法、八街市小規模水道条例に基づく施設への立ち入り検査 | 7 施設実施 |
| 鹿島川上流（根古谷付近）の清掃活動を実施、参加者26名、約20kgのゴミを回収 | |
| 消耗品 残留塩素測定試験薬 | 4, 9 9 4 円 |
| 河川清掃消耗品 | 7, 8 7 4 円 |
| 河川清掃参加者保険料 | 1, 9 0 0 円 |
| (2) 八街市地下水水質調査業務 | 1, 9 8 0, 0 0 0 円 |
| 八街市内南部地区（6 0 箇所） | |
| (3) 浄水器設置費補助金 | 9 0, 0 0 0 円 |
| 4 0, 0 0 0 円×1 基 | 5 0, 0 0 0 円×1 基 |
| (4) 八街市河川水質検査業務 | 5 9 4, 0 0 0 円 |
| 八街市内 1 5 地点（作田川水系 2 地点・高崎川水系 6 地点・鹿島川水系 7 地点） | |
| 年間 2 回実施 | |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	公害対策諸費						決算書	P.	151
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 6 目	事業種別	継続	担当課等	環境課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
1,476	0	0	0	1,476

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		697	1,942	1,476	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		652	1,885	768	報酬	36	0			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	⑩需用費 ①消耗品費	9	7			
	県支出金	23	27	31	⑩需用費 ②燃料費	156	141			
	市　債	0	0	0	⑩需用費 ⑥修繕料	75	60			
	その他	88	220	96	⑪役務費	22	18			
	一般財源	541	1,638	641	⑫委託料	1,173	537			
対前年度比 （増減額）			1,233	△1,117	⑭公課費	5	5			
対前年度比 （増減率）			189.1%	△59.3%						
								合計	1,476	768

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

自動車騒音の状況及び対策の効果等を把握し、自動車騒音公害防止の基礎資料となるよう道路を走行する自動車の運行に伴い発生する騒音に対して継続的に把握し環境省に報告する。

公害苦情処理（野焼き・騒音等）や土地の埋立て及び土砂等の規制に関する許可などの環境保全全般に関する事務を行う。

◎施策の効果

- | | | |
|-------------------------|---|--------------------------------------|
| ・消耗品費 | 事務用消耗品 | 7, 3 9 6 円 |
| ・燃料費 | 公用車ガソリン代 | 1 4 1, 1 4 4 円 |
| ・修繕費 | 公用車車検代 | 5 9, 7 4 2 円 |
| ・保険料 | 公用車自賠責保険 | 1 7, 5 4 0 円 |
| ・委託費 | 自動車騒音常時監視業務 | 5 3 6, 8 0 0 円 |
| | 市内3 地点（国道4 0 9 号・県道川上八街線・県道東金山田台線） | |
| | 調査実施日 令和6 年1 月2 4 日（火）午前1 2 時から翌1 2 時まで2 4 時間実施 | |
| ・公課費 | 公用車自動車重量税 | 5, 0 0 0 円 |
| ・令和5 年度市町村併任職員立入検査業務交付金 | | 3 0, 5 0 4 円 |
| ・特定事業許可申請件数 | 2 件 | 申請手数料 9 6, 0 0 0 円（4 8, 0 0 0 円×2 件） |
| ・環境保全全般のパトロール件数 | | 9 5 件 |
| ・埋立等の監視等処理件数 | | 1 1 件 |
| ・公害苦情処理件数（野焼き・騒音等） | | 8 8 件 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	環境保全対策推進費						決算書	P. 153
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 6 目	事業種別	継続	担当課等	環境課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
213	0	0	16	229

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		117	114	229	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		117	114	222	7報償費	5	5			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	79	72			
	県支出金	0	0	0	18負担金補助及 び交付金	145	145			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
一般財源		117	114	222						
対前年度比 (増減額)			△3	108						
対前年度比 (増減率)			△2.6%	94.7%						
					合計	229	222			

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

- 小学生を対象に「地球温暖化対策」をテーマに環境学習講座・体験コーナー「やちまた環境フェア」を開催する。 講師謝礼（千葉県地球温暖化防止推進員） 5, 0 0 0 円
環境フェア消耗品 4, 6 2 0 円
- 環境保全に対する意識を高めることを目的に、小・中学生を対象に環境保全ポスターを募集する。
令和5年度ポスターコンクール表彰式 入賞者記念品代 6 7, 5 4 0 円
- 印旛沼及び作田川環境保全と水質の汚染防止を図る。
①美しい作田川を守る会 負担金 1 0 1, 0 0 0 円
②印旛沼水質保全協議会 負担金 2 8, 0 0 0 円
- 一般財団法人省エネルギーセンター
エネルギー管理講習資質向上講習受講負担金 1 5, 6 0 0 円

◎事業の成果

- 令和5年8月20日（日）中央公民館 視聴覚室で実施。参加者、子供14名、大人11名の参加
廃食油を利用した「石けん作り」「パネルクイズ」「エコドライブシミュレータ」体験コーナー
- 応募件数 120件（小学校低学年41件 小学校高学年43件 中学生36件）
最優秀賞3名 優秀賞15名 計18名 令和5年11月24日（木）に表彰式を実施。
- ①作田川「平成大橋」（山武市）に稚魚の放流を行った。県職員を講師に講習会を行った。
②印旛沼水質保全協議会・手賀沼水循環保全協議会共催による勉強会の開催。
- 省エネ法に基づきエネルギーの使用の合理化等に関して必要な知識と技能を習得する。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	雑草刈取事業費							決算書	P. 153
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 6 目	事業種別	継続	担当課等	環境課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
59	0	0	0	59

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分				令和5年度の歳出(節・細節)内訳									
3年度		4年度		5年度		節(細節)		予算額		決算額			
予算額(最終)		59		59		59		節(細節)		予算額		決算額	
決算額		21		21		21		11 役務費		21			
特定財源	国庫支出金	0		0		0		12 委託料		38		0	
	県支出金	0		0		0							
	市債	0		0		0							
	その他	0		0		0							
一般財源		21		21		21							
対前年度比(増減額)				0		0							
対前年度比(増減率)				0.0%		0.0%							
								合計		59		21	

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

『八街市あき地の管理の適正化に関する条例』に基づき、「あき地」の管理を適正化することにより良好な生活環境と住民の安全を図る。

◎施策の成果

「あき地」の所有者及び管理者に対して、雑草等の刈取りをはじめ、「あき地」の適正な管理を依頼し良好な生活環境と住民の安全を図った。

◎令和５年度 雑草除去等の通知件数 ２３１件

・通信運搬費 返信用封筒切手代 21,000円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	住宅用設備等脱炭素化促進事業費							決算書	P. 153
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 6 目	事業種別	新規	担当課等	環境課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,970	0	0	0	2,970

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		2,970	2,620	2,970	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		2,970	2,620	2,870	18負担金補助及び交付金	2,970	2,870			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	2,970	2,620	2,870						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	0	0						
対前年度比 (増減額)			△350	250						
対前年度比 (増減率)			△11.8%	9.5%						
							合計	2,970	2,870	

3. 事業の概要・成果

◎事業の概要

家庭における地球温暖化対策の推進に加え電力の強靱化を図るため、住宅用設備等を導入する者に対して『八街市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金』を交付する。

◎施策の成果

・定置用リチウムイオン蓄電システム	70,000円×34件=2,380,000円
	40,000円×1件=40,000円
小計	35件 2,420,000円

・ プラグインハイブリッド自動車	150,000円×	1件＝	150,000円
	小 計	1件	150,000円

・ V 2 H 充 放 電 設 備	4 9 , 0 0 0 円 × 1 件 =	4 9 , 0 0 0 円
	8 9 , 0 0 0 円 × 1 件 =	8 9 , 0 0 0 円
	4 0 , 0 0 0 円 × 1 件 =	4 0 , 0 0 0 円
	1 2 2 , 0 0 0 円 × 1 件 =	1 2 2 , 0 0 0 円
	小 計 4 件	3 0 0 , 0 0 0 円

合 計 2, 8 7 0, 0 0 0 円

・千葉県住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 2, 870, 000 円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	上水道事業会計繰出事業費							決算書P.	153
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 7 目	事業種別	継続	担当課等	企画政策課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
200,646	△ 32,530	0	0	168,116

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		188,084	188,140	168,116	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		188,084	170,410	135,542	18負担金補助及び交付金	135,542	135,542			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	23投資及び出資金	32,574	0			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	188,084	170,410	135,542						
対前年度比 （増減額）			△17,674	△34,868						
対前年度比 （増減率）			△9.4%	△20.5%						
							合計	168,116	135,542	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

市上水道事業と県営水道事業との水道料金の格差を是正し、市民負担の軽減を図るため、市上水道事業（公営企業会計）に補助することにより、市民負担の軽減を図るとともに市上水道事業の経営健全化を図る。

- | | |
|--|--------------|
| ・市上水道事業児童手当補助金（地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費にかかる補助金） | 1,360,000円 |
| ・市上水道事業営業対策費補助金（水道料金の高騰抑制を図る補助金） | 134,182,000円 |
| ・水道管路耐震化事業（水道安全対策事業）出資金 | 次年度へ明許繰越 |

【事業の成果】

国の繰出基準等に基づき、一般会計から繰出金を支出することで、水道経営の健全化を促進し、経営基盤の強化と水道料金の高水準抑制が図られた。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	印旛郡市広域市町村圏事務組合水道企業部繰出事業費						決算書	P. 153
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 7 目	事業種別	継続	担当課等	企画政策課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
5,694	△ 23	0	0	5,671

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		2,852	4,507	5,671	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		2,852	4,507	5,671	18負担金補助及び交付金	132	132			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	23投資及び出資金	5,539	5,539			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	2,300	3,900	4,900						
	その他	0	0	0						
	一般財源	552	607	771						
対前年度比 (増減額)			1,655	1,164						
対前年度比 (増減率)			58.0%	25.8%						
							合計	5,671	5,671	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

効率的かつ安定的に水道用水を供給するため、利根川などから取水した原水を水道水にして、印旛地区の7市1町1企業団の9団体へ供給している印旛郡市町村圏事務組合水道企業部に対し、国の繰出基準に基づき、一般会計から補助金等を支出することにより、八街市への水道水の安定供給を図る。

- ・水源開発・広域化対策補助金(印旛沼開発施設緊急改築に関する利子分) 69,000円
- ・児童手当補助金(職員の児童手当に係る補助金) 63,000円
- ・一般会計出資金(水道水源開発整備に係る出資金及び印旛沼開発施設緊急改築に係る元金分) 5,539,000円

【事業の成果】

国の繰出基準に基づき、負担金、補助金及び出資金を支出することにより、水道事業の安定化・健全化が図られた。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	上水道事業会計繰出事業費（明許繰越分）							決算書	P. 153
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 1 項 7 目	事業種別	継続	担当課等	企画政策課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	0	15,940	0	15,940

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		0	0	15,940	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	0	12,992	23投資及び出資金	15,940	12,992			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	12,900						
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	0	92						
対前年度比 (増減額)			0	12,992						
対前年度比 (増減率)			0.0%	皆増						
							合計	15,940	12,992	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

市上水道事業と県営水道事業との水道料金の格差を是正し、市民負担の軽減を図るため、市上水道事業（公営企業会計）に補助することにより、市民負担の軽減を図るとともに市上水道事業の経営健全化を図る。

令和4年度の水道課における管路耐震化工事が未完了であったことから、明許繰越を行い、工事完了後に支出を行った。

【事業の成果】

令和4年度繰越 上水道更新工事（04-R-1、04-R-2）に対する出資。

基準に則り繰り出しを行うことで、水道管路の計画的な更新が行われ、安定した給水が可能となる。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	清掃総務費							決算書	P. 155
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 2 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	クリーン推進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
660	0	0	19	679

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		598	704	679	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		446	677	568	8旅費	92	91			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ②燃料費	134	114			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ⑥修繕料	208	132			
	市 債	0	0	0	11役務費	15	13			
	その他	0	0	0	13使用料及び賃借料	32	20			
一般財源		446	677	568	18負担金補助及び交付金	52	52			
対前年度比 (増減額)			231	△109	26公課費	146	146			
対前年度比 (増減率)			51.8%	△16.1%						
							合計	679	568	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

クリーン推進課及びクリーンセンター全般の事務等を円滑かつ効果的に行う。

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第4条第9号口の規定による現地確認等の実施
- ・千葉県環境衛生促進協議会活動
- ・複写機・事務用車両等の維持管理
- ・汚染負荷量賦課金の負担

【事業の成果】

クリーン推進課及びクリーンセンターの事務等を円滑かつ効果的に行うことができた。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	クリーンセンター周辺地区振興費							決算書P.	155
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 2 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	クリーン推進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,280	0	0	0	2,280

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		2,277	2,276	2,280	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		2,275	2,257	2,257	10需用費 ①消耗品費	100	80			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ⑤光熱水費	10	7			
	県支出金	0	0	0	18負担金補助及び交付金	2,170	2,170			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	2,275	2,257	2,257						
対前年度比 (増減額)			△18	0						
対前年度比 (増減率)			△0.8%	0.0%						
							合計	2,280	2,257	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

クリーンセンター（ごみ焼却施設及び最終処分場）周辺地区の振興をはかり、廃棄物行政の適正な推進と施設の円滑かつ安定てきな稼働に資するため周辺地区に対して必要な措置をとる。

- ・クリーンセンター周辺地区の振興を目的とする補助金の交付
- ・害鳥対策として、周辺農家への必要物品の配布
- ・水源対策として、設置している水田用井戸ポンプの電気使用料の負担

【事業の成果】

クリーンセンター（ごみ焼却施設及び最終処分場）の円滑かつ安定的な稼働を図ることができた。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	クリーンセンター・処分場管理運営費						決算書	P. 157
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 2 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	クリーン推進課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
622,238	△ 59,700	0	△ 19	562,519

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		514,784	540,097	562,519	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		504,160	531,039	548,755	10需用費 ①消耗品費	38,549	38,548	17備品購入費	327	327
特定 財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ②燃料費	5,964	4,121	26公課費	343	343
	県支出金	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	589	589			
	市 債	0	0	0	10需用費 ⑤光熱水費	93,918	83,152			
	その他	104,136	107,914	105,772	10需用費 ⑥修繕料	3,198	3,190			
一般財源		400,024	423,125	442,983	11役務費	1,059	925			
対前年度比 (増減額)			26,879	17,716	12委託料	410,973	409,963			
対前年度比 (増減率)			5.3%	3.3%	13使用料及び賃 借料	2,767	2,766			
					14工事請負費	4,832	4,831			
					合 計		562,519	548,755		

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

クリーンセンターの施設維持管理及び焼却施設・処分場に搬入された廃棄物を適正に処理する。

【事業の成果】

○環境調査測定業務を実施することにより、施設内外及び周辺環境の監視を行った。

また、適切な薬剤使用により、水質、焼却残渣、排ガスのいずれも基準値以内の計測値を確認でき、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」に該当する物質（31項目）において、全項目基準値以内を達成することができた。

主な経費と契約額（執行額）

	令和5年度	令和4年度
薬剤等消耗品費	32,645,021 円	31,342,121 円
活性炭系助剤（ダイキソ除去用）4-9月	5,932,850 円 23,440 kg	4,126,650 円 30,500 kg
活性炭（ダイキソ除去用）10-3月	4,105,640 円 6,030 kg	
特号消石灰（酸性ガス中和）	6,877,582 円 192,400 kg	4,215,266 円 132,150 kg
キレート処理剤（飛灰中の重金属固定）	3,751,440 円 7,840 kg	1,921,150 円 4,990 kg
他 14 品目を購入		
環境調査測定業務	6,329,400 円	6,626,400 円
水質、排ガス、放射性物質等の測定		

○専門知識を有する業者に運転管理及び保守点検を委託、焼却施設や最終処分場、汚水処理施設等の安定稼働を図ることができた

主な経費と契約額（執行額）

	令和5年度	令和4年度
ごみ焼却処理施設等管理業務	212,520,000 円	212,520,000 円
法定検査に伴うボイラー等点検整備業務	92,707,000 円	92,400,000 円
焼却処理施設保守点検業務	80,117,000 円	49,855,000 円
最終処分場汚水処理施設維持管理業務	2,046,000 円	1,958,000 円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	ごみ収集処理事業費							決算書	P. 157
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 2 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	クリーン推進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
355,499	△ 19,247	0	0	336,252

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		347,513	350,800	336,252	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		334,184	331,276	334,062	12委託料	336,052	333,867			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	18負担金補助及び交付金	200	195			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	1,683	1,569	1,299						
	一般財源	332,501	329,707	332,763						
対前年度比 (増減額)		△2,908	2,786							
対前年度比 (増減率)		△0.9%	0.8%							
								合計	336,252	334,062

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

廃棄物の収集及び処理を委託することにより経費の節減を図る。また、リサイクルに専念することにより最終処分場の延命化を図る

【事業の成果】

- 広報やちまたや市ホームページ等により、ごみ減量化について周知を行った。
(広報やちまた、SNS、LINE、ツイッターを使用)
- 施設見学を行った。(市内小学校8校、盲学校1校) また、出前講座を行った。
- 人口減少に伴いごみの量は減少傾向にある。また、資源ごみの古紙については、スマートフォンの普及により紙媒体の雑誌等の発行部数が減少している影響から、廃棄量が減少している。

主な再資源化項目及び量は次のとおり。

主な再資源化項目及び量は次のとおり。	令和5年度	令和4年度
焼却灰（主灰、飛灰）	1,585 t	1,657 t
古紙（新聞、雑誌、ダンボール、雑紙）	764 t	820 t
ビン	365 t	382 t
プラスチック製容器包装	361 t	370 t
リサイクル率（暫定値）	19.16 %	19.37 %

- 最終処分場については、令和4年度より埋立量が減少した。コロナ禍収束により不燃ごみの量が減少したことが要因として考えられる。

最終処分場に関する主な数値は次のとおり

最終処分場に関する主な数値は次のとおり	令和5年度	令和4年度
年間埋立量	698 t	753 t
残余容量	50,068 m ³	52,508 m ³
残余年数	約20年	約20年

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	焼却炉維持修繕事業費						決算書P.	157
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 2 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	クリーン推進課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
17,500	△ 8,000	0	0	9,500

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		30,000	37,022	9,500	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		24,556	17,221	7,696	14工事請負費	9,500	7,696			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
一般財源		24,556	17,221	7,696						
対前年度比 (増減額)			△7,335	△9,525						
対前年度比 (増減率)			△29.9%	△55.3%						
					合計	9,500	7,696			

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

安定的かつ効率的な焼却処理を行うために、消耗若しくは損傷した部分の修繕・工事を行う。

【事業の成果】

適切な修繕・工事の実施により、焼却炉を安定的に稼働させ、可燃ごみを適切に処理することができた。

主な工事と契約額

令和5年度

- ・ 2号水冷ジャケット修繕工事 484,000 円
- ・ クリーンセンター側溝改修工事 495,000 円
- ・ 前処理施設（粗大ごみ切断機）修繕工事 1,936,000 円
- ・ 焼却施設灰クレーン巻上ブレーキ交換工事 1,210,000 円

令和4年度

- ・ クリーンセンター工場棟アンモニアボンベ室シャッター補修工事 981,200 円
- ・ 2号ごみクレーンバケット修繕工事 990,000 円
- ・ 1号・2号クレーンバケット、セル部更新工事 8,690,000 円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	リサイクル推進費							決算書P.	159
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 2 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	クリーン推進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
1,251	△ 300	0	0	951

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		1,468	1,332	951	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		849	806	724	18負担金補助及び交付金	951	724			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	849	806	724						
対前年度比 （増減額）			△43	△82						
対前年度比 （増減率）			△5.1%	△10.2%						
							合計	951	724	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

- ・ごみの減量化及び再資源化を図るため、資源ごみを集積する資源回収実施団体に資源ごみ（古紙類、スチール缶、アルミ缶）1キログラム当たり4円の奨励金を交付する。
令和5年度は、47団体の登録があり、604,084円の奨励金を交付した。
（令和4年度は、47団体の登録があり、698,204円の奨励金を交付）
- ・資源回収実施団体の活動を援助し、リサイクルの普及・啓発活動を行う酒八富再資源化事業協同組合八街支部に予算限度額である120,000円の補助金を交付した。
（令和4年度は、予算限度額108,000円を交付）

【事業の成果】

- ・令和5年度、資源回収実施団体は、151,021キログラムの資源化を行った。
(令和4年度、資源回収実施団体は、174,551キログラムを資源化)

内訳

資源ごみ	古紙類	スチール缶	アルミ缶
回収量	144,050kg	2,651kg	4,320kg

(令和4年度 内訳)

資源ごみ	古紙類	スチール缶	アルミ缶
回収量	166,460kg	2,913kg	5,178kg

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	廃棄物減量化推進事業費							決算書	P. 159
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 2 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	クリーン推進課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
278	0	0	0	278

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		278	278	278	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		138	126	205	18負担金補助及び交付金	278	205			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	138	126	205						
対前年度比 （増減額）			△12	79						
対前年度比 （増減率）			△8.7%	62.7%						
							合計	278	205	

3. 事業の概要・成果

【事業概要】

- ・一般家庭から排出される生ごみを減量化するため、家庭用生ごみ減量機器を購入し、設置した者に対し購入費の2分の1に相当する額（生ごみ処理容器：上限額3,000円・2基まで、電気式生ごみ処理機：上限額20,000円・1基まで）を補助し、生ごみ減量化を図る。

令和5年度に交付した補助金の金額は204,500円であり、その内訳は生ごみ処理容器が16,700円、電気式生ごみ処理機が187,800円であった。

(令和4年度 補助金額 126,000円(内訳:生ごみ処理容器38,600円:電気式生ごみ処理機87,400円))

【事業の成果】

- ・令和5年度は、申請のあった17人に対して補助金を交付した。そのうち10人に上限額を交付した。

内 訳

機種の種別	人 数	基 数
生ごみ処理容器	6人	6基
電気式生ごみ処理機	11人	11基
合 計	17人	17基

(・令和4年度 補助金交付人数16人内5人が上限額)

(令和4年度 内訳)

機種の種類別	人 数	基 数
生ごみ処理容器	11人	15基
電気式生ごみ処理機	5人	5基
合 計	16人	20基

令和５年度 主要な施策の成果

事業費名	ごみ焼却施設基幹的設備改良事業費						決算書	P. 159
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 2 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	クリーン推進課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
1,065,854	0	0	0	1,065,854

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和５年度の歳出（節・細節）内訳					
予算額（最終）		319,536	1,705,121	1,065,854	節（細節）	予算額	決算額	節（細節）	予算額	決算額
決算額		162,263	1,705,121	1,065,854	12委託料	14,606	14,606			
特定財源	国庫支出金	0	311,750	193,183	14工事請負費	1,051,248	1,051,248			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	150,000	1,309,000	821,000						
	その他	0	0	0						
一般財源		12,263	84,371	51,671						
対前年度比 （増減額）			1,542,858	△639,267						
対前年度比 （増減率）			950.8%	△37.5%						
					合計	1,065,854	1,065,854			

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

八街市クリーンセンターのごみ焼却施設は供用開始から約２０年が経過し、老朽化が顕著になっているため、ごみ焼却施設を構成する重要な設備について、ごみ焼却施設基幹的設備改良事業として大規模な改良工事を令和３年度から令和５年度までの３ヶ年で実施するものである。
なお、本事業は国庫補助金（１／３）を利用して行っている。

- ・ 委 託 費 ごみ焼却施設基幹的設備改良工事施工監理業務 14,606 千円
- ・ 工事請負費 ごみ焼却施設基幹的設備改良工事 1,051,248 千円

【事業の成果】

ごみ焼却施設の大規模な改良工事を行うことにより、施設の安定的な稼働に資するとともに、経常的な維持補修費や光熱水費等を縮減し、工事完了後１０年以上の延命化及び３％以上のＣＯ２排出削減等を図る。

基幹的設備改良工事の進捗状況

- ・ 執 行 額 R3(実績) 162,263千円 R4(実績) 1,705,121千円 R5(実績) 1,065,854千円
- ・ 工事進捗率 R3(実績) 5.5% R4(実績) 65.1% R5(実績) 100%

※ 工事進捗率は、予算の執行状況ではなく工事の進捗状況となっています。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	焼却炉維持修繕事業費（明許繰越分）						決算書P.	159
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 2 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	クリーン推進課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	0	19,800	0	19,800

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	0	19,800	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	0	19,800	14工事請負費	19,800	19,800			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
一般財源		0	0	19,800						
対前年度比 (増減額)			0	19,800						
対前年度比 (増減率)			0.0%	皆増						
					合計	19,800	19,800			

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

焼却施設内の電子機器の安全かつ安定稼働の確保を目的にUPS装置(無停電電源装置)の交換工事を行う。
本件工事において、コロナ禍や世界情勢の影響を受け、UPSの材料となる半導体、電子部品等の主要
部品の納期が長期化したことに伴う工期延長により明許繰越を行った。

【事業の成果】

適切な工事の実施により、焼却施設を安全・円滑かつ適切に運転することが可能となった。

(契約金額)

・クリーンセンターUPS更新工事 19,800,000 円

(当初契約工期) → (変更後契約工期)

自 令和4年8月25日 自 令和4年8月25日

至 令和5年3月24日 至 令和5年6月30日

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	印旛衛生施設管理組合費						決算書	P. 159
会計区分	一般会計	予算科目	4 款 2 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	環境課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
135,674	0	0	0	135,674

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		125,029	122,518	135,674	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		125,029	122,518	135,674	18負担金補助及び交付金	135,674	135,674			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	125,029	122,518	135,674						
対前年度比 (増減額)			△2,511	13,156						
対前年度比 (増減率)			△2.0%	10.7%						
							合計	135,674	135,674	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

八街市、佐倉市、四街道市、富里市、酒々井町４市１町で構成する組合で運営している、し尿及び浄化槽汚泥の処理施設の管理運営に係る経費。

【事業の成果】

指標名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
し尿搬入量（八街市）	2,623.80	2,523.14	2,438.80
単独浄化槽汚泥搬入量（八街市）	6,676.92	6,583.19	5,862.49
合併浄化槽汚泥搬入量（八街市）	8,063.18	8,363.73	8,287.27
合計	17,363.90	17,470.06	16,588.56

(キロリットル)			
指標名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
し尿及び浄化槽汚泥搬入量 (4市1町)	43,300.31	42,276.79	40,971.31

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	農業委員報酬							決算書	P. 159
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	農業委員会事務局		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
14,529	502	0	0	15,031

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		15,204	15,550	15,031	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		14,841	15,291	15,030	報酬	15,031	15,030			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	1,725	2,434	2,047						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	13,116	12,857	12,983						
対前年度比 (増減額)			450	△261						
対前年度比 (増減率)			3.0%	△1.7%						
							合計	15,031	15,030	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

農業委員及び農地利用最適化推進委員へ報酬を支給し、農地の権利移動や転用に関する審査等を円滑に行う。また、定期的に農地パトロールを実施。

【事業の成果】

農業委員等への報酬

農業委員会組織と農業者のパイプ役として、地域の発展に寄与した。

委員数 計29名

農業委員 11名

会 長	1名	47,000円
-----	----	---------

副会長	1名	41,000円
-----	----	---------

班 長 3名 39,000円

委員	6名	37,000円
----	----	---------

農地利用最適化推進委員

推進委員	18名	37,000円
------	-----	---------

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	農業委員会費						決算書	P. 159,161
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 1 目	事業種別	継続	担当課等	農業委員会事務局	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,670	1,237	0	0	3,907

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		3,566	2,979	3,907	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		3,440	2,806	3,160	8旅費	11	1	18負担金補助及び交付金	267	267
特定財源	国庫支出金	0	0	0	9交際費	20	5	26公課費	5	5
	県支出金	323	757	967	10需用費 ①消耗品費	473	350			
	市 債	0	0	0	10需用費 ②燃料費	110	88			
	その他	713	709	1,015	10需用費 ④印刷製本費	120	101			
	一般財源	2,404	1,340	1,178	10需用費 ⑥修繕料	75	62			
対前年度比 (増減額)			△634	354	11役務費	862	418			
対前年度比 (増減率)			△18.4%	12.6%	12委託料	1,522	1,446			
					13使用料及び賃借料	442	417			
					合計		3,907		3,160	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

法令事務として、調査委員会、事前審査、総会を開催し、権利の移動や転用の申請に対して審査を行うこととともに農地の利用状況調査と農地の利用最適化の推進を図る。

また、農地法違反に関して指導を行う。

【事業の成果】

農業委員会に関する法律に定めるところの農業委員会の適正な運営を遂行した。

①農地法に基づく許可申請の処理

- ・申請状況は、農地法第3条申請31件、第4条10件、第5条126件、計167件を処理した。

②申請に伴う調査と審議

- ・農地利用関係調整及び議案審議のため、調査委員会を5回、総会を12回、臨時総会を1回開催した。
- ・審議過程を詳細に記録した議事録を作成し、審議の透明性・公平性が保たれた。

③農地利用状況の調査と農地台帳等の整備

- ・農地利用状況の調査と農地台帳システムを有効に活用することで、事務の円滑化を効率性を図れた。

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	農業総務費							決算書	P. 161,163
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 2 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
651	0	0	0	651

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		578	600	651	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		309	555	467	10需用費 ①消耗品費	418	385			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ②燃料費	121	24			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ⑥修繕料	88	36			
	市 債	0	0	0	11役務費	15	13			
	その他	0	0	0	26公課費	9	9			
	一般財源	309	555	467						
対前年度比 (増減額)			246	△88						
対前年度比 (増減率)			79.6%	△15.9%						
							合計	651	467	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

市内外で開催されるイベント等に参加し、市民及び県内外の消費者に市特産物の試食等のPRを行い、知名度の向上、ブランド化及び有利販売による販路拡大を図る。

【事業の成果】

市民及び県内外の消費者に市特産物の試食及び配布を行い、知名度の向上、ブランド化及び有利販売による販路拡大が図れた。

○市特産物PR用消耗品（スイカ、落花生、フルーツ&キャロット） 384,717円
10回実施（西瓜試食会、千葉県誕生150周年記念イベント、小出義雄マラソンほか）

○産業指導連絡車 (No.4 9 0)	燃料費	24,509円
○産業指導連絡車 (No.4 9 0)	修繕料(車検代(平成11年登録))	36,135円
○産業指導連絡車 (No.4 9 0)	役務費(車検時自賠責保険料)	12,850円
○産業指導連絡車 (No.4 9 0)	公課費(車検時重量税)	8,800円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	園芸用廃プラスチック適正処理事業費							決算書	P. 163
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
12,188	0	0	0	12,188

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		12,188	12,188	12,188	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		9,396	9,136	8,786	18負担金補助及び交付金	12,188	8,786			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	1,928	1,874	1,802						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	7,468	7,262	6,984						
対前年度比 (増減額)			△260	△350						
対前年度比 (増減率)			△2.8%	△3.8%						
							合計	12,188	8,786	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

園芸用廃プラスチックについては、産業廃棄物であり事業者自らが適正に処理をしなければならないが、個々の施設園芸農家では処理が難しいため、市廃プラスチック対策協議会で回収し千葉園芸プラスチック加工（株）において適正に処理する事により農村環境の保全と施設園芸の健全な発展を図る。

【事業の成果】

処理費と運搬費(一括回収した廃プラスチックを処理工場へ搬入する費用)に対し補助を行うことにより、農村環境の保全と施設園芸の健全な発展が図れた。

○園芸用廃プラスチック適正処理事業補助金 8,785,725円

【内訳】県補助金 1,802,200円 市補助金 6,983,525円

- ・回収日数 上期（8/24～9/28のうち10日間）、下期（2/13～2/22のうち5日間） 計 15日間
- ・処 理 量 塩化ビニール 89,800kg、ポリエチレン 90,420kg 合計 180,220kg
- ・処 理 費 89.6円/kg（内訳：県10円、全農10円、市34.8円、農家34.8円）
- ・運 搬 費 7.9円/kg（内訳：市3.95円、農家3.95円）

周知方法

農家組合連合会回覧、市広報、ホームページ、メール

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	森林環境整備基金費							決算書	P. 163
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	財政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
1	0	0	0	1

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		3,623	3,491	1	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		3,623	3,491	1	24積立金	1	1			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	3,623	3,491	1						
	一般財源	0	0	0						
対前年度比 (増減額)			△132	△3,490						
対前年度比 (増減率)			△3.6%	△100.0%						
							合計	1	1	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

・森林環境整備基金への積立

【事業の成果】

・森林環境整備基金への積立金	814円
（内訳） 運用益の積立	814円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	環境保全型土づくり対策事業費							決算書	P. 163
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
4,579	0	0	0	4,579

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		4,638	4,444	4,579	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		2,053	4,062	4,523	11 役務費	79	67			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	18 負担金補助及び交付金	4,500	4,456			
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	2,052	2,905	0						
	一般財源	1	1,157	4,523						
対前年度比 (増減額)			2,009	461						
対前年度比 (増減率)			97.9%	11.3%						
							合計	4,579	4,523	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

緑肥作物を作付けすることにより、土壌内の線虫抑制、雨水による土砂流出防止、砂ぼこりの軽減等の環境にやさしい農業の実践を図る。

【事業の成果】

緑肥作物(ライ麦・エン麦・ヘアリーベッチ・シロカラシ・小麦)を作付けすることにより、土壌内の線虫抑制、雨水による土砂流出防止、砂ぼこりの軽減等の環境にやさしい農業の実践を図ることができた。

また、小麦の種子については土づくりと併せて食糧の自給率向上を図ることができた。

周知方法：農家組合連合会回覧及び連合会非加入者へ通知、市広報、ホームページ、メール

○周知等通知文書送送料 66,768円

届出書発送（農家組合連合会非加入者）261通 19,658円

補助券発送 318通 47,110円

合計	579通	66,768円
----	------	---------

○補助金額 4,456,134円

- ・補助対象となる種子（５種類）ライ麦、エン麦、ヘアリーベッチ、シロカラシ（菜の花）、小麦
- ・補助金は、種子を販売した店舗に対し交付

種子名	購入された数量	購入金額	補助金額	作付け面積
ライ麦	2,514kg	1,865,647円	912,965円	4,786a
エン麦	3,917kg	2,840,414円	1,389,798円	6,880a
ヘアリーベッチ	367kg	441,720円	216,397円	861a
シロカラシ	1,489kg	1,973,786円	966,948円	5,466a
小麦	3,819kg	1,985,880円	970,026円	4,530a
合計	12,106kg	9,107,447円	4,456,134円	22,523a

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	農業後継者対策事業費							決算書P.	163
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
11,349	△ 725	0	0	10,624

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		33,348	16,533	10,624	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		18,598	12,858	9,786	10需用費 ①消耗品費	9	8			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	12委託料	275	275			
	県支出金	15,789	9,615	6,744	18負担金補助及び交付金	10,340	9,503			
	市 債	0	0	0						
	その他	1,241	1	0						
	一般財源	1,568	3,242	3,042						
対前年度比 (増減額)			△5,740	△3,072						
対前年度比 (増減率)			△30.9%	△23.9%						
							合計	10,624	9,786	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

地域の農業の担い手が減少していることから、農業後継者や新規就農者に対し給付金を支給することにより、就農者の定着並びに魅力ある新しい農業の構築を図る。

【事業の成果】

新規就農者に対し、経営開始直後の施設・機械の導入が必要な時期に給付金を支給することで、経営の安定と農業への定着を図った。

また、親元就農者に給付金を支給し、後継者確保の一助となることができた。

- | | |
|---|------------|
| ○農業後継者対策事務用消耗品 | 7,524円 |
| ○農業体験インターンシップ業務委託料
・八街地区指導農業者並びに農業者会 | 275,000円 |
| ○農業後継者対策事業補助金
・八街市4Hクラブ（農業後継者団体） 会員数17人 | 120,000円 |
| ○農業次世代人材投資事業補助金
・交付期間：最長5年 交付者数5人（うち夫婦型1組・2人） | 5,243,155円 |
| ○農業後継者育成支援給付金
・交付期間：最長2年20,000円/月 給付者12人（うち新規6人） | 2,640,000円 |
| ○農業経営開始資金
・交付期間：最長3年 交付者数1人（新規） | 1,500,000円 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	産業まつり事業費							決算書P.	163
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
3,900	0	0	0	3,900

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	3,900	3,900	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	3,900	3,900	18負担金補助及び交付金	3,900	3,900			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	1,845						
	一般財源	0	3,900	2,055						
対前年度比 （増減額）			3,900	0						
対前年度比 （増減率）			皆増	0.0%						
							合計	3,900	3,900	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

本市の農業・商業・工業を広く紹介するため、農畜産物の共進会・即売会や本市の特産物をPRするためのイベントを開催し、市民・近隣地域住民に対し、農産物・商工業製品を紹介し、地域活動の活性化に繋げ地産地消の拡大を図る。

【事業の成果】

本市で生産並びに販売されている農産物、商工業製品を地域住民に広く紹介するため、農産物共進会、商工業製品の展示即売等を一堂に会して展開し、市の農業、商業、工業を市民のみならず近隣住民に広く紹介でき、地域活動の活性化及び地産地消の拡大、共進会による生産農家の営農技術の高揚が図れた。

○産業まつり負担金 3,900,000円
第46回産業まつり 11/19（日）
会場：八街中学校 来場者数：約18,000人
出店団体数：58団体（うち産業市 22団体）

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業費						決算書P.	163
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
12,240	△ 5,666	0	0	6,574

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		11,522	3,448	6,574	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		8,005	3,448	6,574	18負担金補助及び交付金	6,574	6,574			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	8,005	3,448	6,574						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
一般財源		0	0	0						
対前年度比 (増減額)			△4,557	3,126						
対前年度比 (増減率)			△56.9%	90.7%						
							合計	6,574	6,574	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

市内農業者に対し、産地の生産性向上に必要な園芸生産施設や省力機械等の整備、共同利用施設の整備、園芸施設の改修及び省エネルギー型装置の更新、生産性向上を図るための機械・装置の導入の際の補助を実施することにより、施設園芸農家等の強化を図る。

【事業の成果】

省力化機械を導入し、園芸産地の生産性向上を図ることができた。

「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業補助金 6,574,000円

※全額県支出金 補助率 補助対象事業費の1/4以内

補助件数：生産力強化支援型 8件

(内訳)

・人参収穫機	2 台
・里芋毛羽取機	1 台
・肥料薬剤散布機	1 台
・マルチ回収機	1 台
・サツマイモ洗浄機	1 台
・大根引拔機	1 台
・ポテカルゴ	1 台
・ハイクリブーム	1 台
・ミックスソーワ	1 台
・サブソイラー	1 台
・半自動封函機	1 台
・大根洗浄機	1 台
・カットロータリー	1 台

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	環境保全型農業直接支援対策事業費							決算書	P. 163,165
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,400	0	0	0	2,400

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		2,400	2,400	2,400	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		1,847	1,996	1,969	18負担金補助及び交付金	2,400	1,969			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	1,385	1,497	1,476						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	462	499	493						
対前年度比 (増減額)			149	△27						
対前年度比 (増減率)			8.1%	△1.4%						
							合計	2,400	1,969	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

地球温暖化防止、生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む事業者に対し、交付金を交付し農業の再生や自然環境機能の維持・増進を図る。

【事業の成果】

地球温暖化防止、生物多様性保全等に効果の高い営農活動(有機農業)に取り組む事業者に対し、交付金を交付し意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、市内農業の再生を図るとともに、農業が本来有する自然環境機能の維持・増進が図られた。

○環境保全型農業直接支援対策事業交付金 1,968,600円

- ・ 交付団体：4 団体 実施面積：1,559a
- ・ 補助割合 国1/2 県1/4 市1/4
- ・ 有機農業の取組
交付単価 10 a 当たり12,000円 実施面積 1,070a
- ・ 有機農業(炭素貯留効果の高い有機農業)
交付単価 10 a 当たり14,000円 実施面積 489a

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	弥富川地区基幹水利施設ストックマネジメント事業費						決算書	P. 165
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
8,065	0	0	0	8,065

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		9,335	9,335	8,065	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		9,044	9,109	7,834	18負担金補助及び交付金	8,065	7,834			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	8,100	8,100	7,000						
	その他	0	0	0						
	一般財源	944	1,009	834						
対前年度比 (増減額)			65	△1,275						
対前年度比 (増減率)			0.7%	△14.0%						
							合計	8,065	7,834	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

本市からの排水先である弥富川の適切な排水機能を維持するため、千葉県が事業主体となり、老朽化した施設の改修や法面整備工事を行い、弥富川の延命化を図る。（工事区間延長：1,450m）

事業費については、国・県・佐倉市・八街市で分担しており、負担割合は協定により決定しており、事業完了予定の令和８年度まで債務負担行為を設定している。

【事業の成果】

◎弥富川地区基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金 7,833,525円

(負担割合)

- ・工事費 国50% 県25% 2市分25% (佐倉市16.325% + 八街市8.675%)
・雑費及び事務費 県75% 2市分25% (佐倉市16.325% + 八街市8.675%)

(本市の負担額)

- | | | | | | |
|------|-------------|---|--------|---|------------|
| ・工事費 | 86,000,000円 | × | 8.675% | = | 7,460,500円 |
| ・雑費 | 1,200,307円 | × | 8.675% | = | 104,126円 |
| ・事務費 | 90,300,000円 | × | 8.675% | = | 268,899円 |
| | | | (合計) | | 7,833,525円 |

(令和5年度事業実績)

- ・排水路護岸工事 施工延長 104m
- ・用地費（借地料、用地買収費、補償費）

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	八街市物価高騰対策農業者支援金事業費							決算書P.	165
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	新規	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	105,875	0	0	105,875

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		0	0	105,875	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	0	79,736	10需用費 ①消耗品費	100	17			
特定財源	国庫支出金	0	0	75,209	10需用費 ④印刷製本費	300	144			
	県支出金	0	0	0	11役務費	575	385			
	市 債	0	0	0	18負担金補助及び交付金	104,900	79,190			
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	0	4,527						
対前年度比 (増減額)			0	79,736						
対前年度比 (増減率)			0.0%	皆増						
								合計	105,875	79,736

3. 事業の概要・成果

○八街市物価高騰対策農業者支援金事業

【事業の概要】

コロナ禍における物価高騰等の影響を受けている農畜産物の販売収入がある市内農業経営体に対して、一経営体につき3万円の支援金を支給する。

【事業の成果】

コロナ禍において物価高騰等の影響を受けている市内農業経営体に対して支援金を交付することで、農業経営を支援できた。

- ・ 消耗品費 16,615円 (コピー用紙等)
- ・ 印刷製本費 79,893円 (封筒印刷代)
- ・ 通信運搬費 188,535円 (郵送代)
- ・ 補助金 21,600,000円 (支給件数720件)

○第二次八街市物価高騰対策農業者支援金事業

【事業の概要】

物価高騰の影響を受ける市内農業経営体に対して、一経営体につき10万円の支援金（八街市物価高騰対策農業者支援金または八街市物価高騰対策中小企業等支援金の支給決定者は7万円）を支給する。

【事業の成果】

物価高騰の影響を受けている市内農業経営体に対して支援金を交付することで、農業経営の負担緩和に寄与することができた。

- ・印刷製本費 64,328円 (封筒印刷代)
- ・通信運搬費 196,741円 (郵送代)
- ・補助金 57,590,000円 (支給件数785件：7万円697件、10万円88件)

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	農業振興費							決算書	P. 165
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
4,201	0	0	0	4,201

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		4,574	4,197	4,201	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		1,738	3,806	3,820	1報酬	515	376			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ①消耗品費	95	40			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ⑤光熱水費	204	133			
	市 債	0	0	0	11役務費	18	11			
	その他	34	46	46	12委託料	90	60			
	一般財源	1,704	3,760	3,774	18負担金補助及び交付金	3,279	3,200			
対前年度比 (増減額)			2,068	14						
対前年度比 (増減率)			119.0%	0.4%						
							合計	4,201	3,820	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

農業振興に係る需用費、負担金及び補助金等の助成を行い農業振興を図る。

【事業の成果】

農業振興に係る需用費及び各種団体等への負担金及び補助金等の助成を行い農業振興を図った。

○農家組合連合会長報酬	24組合×均等割10,000円＋戸数割100円×692戸	309,200円
○農業経営基盤強化促進協議会委員報酬	会長5,500円×3回、委員5,000円×10人(3回分)	66,500円
○農業振興事務用消耗品等	花いっぱい運動緑化推進用苗木購入他	39,786円
○農業用井戸電気代(6ヶ月分)	(榎戸用水：5月～10月)	133,779円
○農産物放射性物質検査手数料	(1検体 大玉スイカ)	11,000円
○特産作物試験ほ場設置業務委託料	(トウキ・トウモロコシ)	60,000円
○千葉米改良協会負担金		3,000円
○印旛地区植物防疫協会負担金		10,000円
○印旛地区落花生協議会負担金		16,000円
○市植物防疫協議会補助金		621,000円
○市農業研究会補助金		2,500,000円
○落花生原種採種ほ生産組合補助金		50,000円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	有害鳥獣駆除対策費							決算書	P. 165,167
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,778	1,182	0	0	3,960

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		413	791	3,960	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		413	745	2,971	10需用費 ①消耗品費	18	18			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	11役務費	21	18			
	県支出金	0	8	2,017	12委託料	520	520			
	市 債	0	0	0	18負担金補助及び交付金	3,401	2,415			
	その他	0	0	0						
	一般財源	413	737	954						
対前年度比 （増減額）			332	2,226						
対前年度比 （増減率）			80.4%	298.8%						
							合計	3,960	2,971	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

有害鳥獣による農作物被害の減少及び防止を目的に、ワナの設置等により有害鳥獣を捕獲し、農作物被害の軽減を図る。

【事業の成果】

箱わなにより、アライグマ、ハクビシン、タヌキ等の捕獲及び猟友会によるカラス駆除により有害鳥獣の減少が図られた。

○農作物被害対策消耗品 17,864円

○有害鳥獣駆除業務損害保険料 18,030円

○有害鳥獣駆除委託料 520,000円（前期分260千円、後期分260千円）

・契約相手方 佐倉獺友会（駆除従事者14名）

★カラス重点捕獲は6日間

捕獲数 33羽 (内訳) ハシボソカラス 6羽 ハシブトカラス 27羽

【年間捕獲実績】

・カラス 56羽 ・タヌキ 17頭 ・ハクビシン 22頭 ・アライグマ 140頭 ・アナグマ 2頭

○八街市野生鳥獣被害防止対策協議会補助金 2,005,280円

○狩猟免許取得促進事業補助金 51,500円

・補助対象者 4名

○農作物被害防止電気柵設置事業補助金 358,000円

・補助対象者 19名

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	農業災害対策支援事業費						決算書P.	167
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
275	0	0	0	275

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		937	695	275	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		538	272	193	18負担金補助及び交付金	275	193			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	359	181	129						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	179	91	64						
対前年度比 (増減額)			△266	△79						
対前年度比 (増減率)			△49.4%	△29.0%						
					合計				275	193

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

災害により被害を受けた農業者に対し、農業経営の安定または施設復旧のために要する資金を貸し付けた融資機関に対し利子補給を行い、被害農業者の経営の維持安定を図る。

【事業の成果】

災害により被害を受けた農業者に対し、農業経営の安定または施設復旧のために要する資金を貸し付けた千葉みらい農業協同組合に対し利子補給及び債務保証料の補助を行い、被害農業者の負担軽減と経営の維持安定が図れた。

○農業災害対策利子補給費 ※貸付金融機関 千葉みらい農業協同組合

- ①平成29年10月22日から23日の台風21号及び平成29年10月29日の台風22号による被害農業者に対する利子補給
 経営安定 0件 0円 施設復旧 1件 1,497円 計 1件 1,497円 うち県負担 1,010円
- ②平成30年台風24号による被害農業者に対する利子補給
 経営安定 0件 0円 施設復旧 1件 659円 計 1件 659円 うち県負担 442円
- ③令和元年台風15号、19号による被害農業者に対する利子補給
 経営安定 10件 95,837円 施設復旧 7件 54,245円 計17件 150,082円 うち県負担 100,053円
 合計19件 152,238円 101,505円

○農業災害対策資金債務保証料補助金 ※貸付金融機関 千葉みらい農業協同組合

- ④平成29年10月22日から23日の台風21号及び平成29年10月29日の台風22号による被害農業者に対する債務保証料補助金
 経営安定 0件 0円 施設復旧 1件 336円 計 1件 336円 うち県負担 224円
- ⑤令和元年台風15号、19号による被害農業者に対する債務保証料補助金
 経営安定 10件 25,550円 施設復旧 7件 14,459円 計17件 40,009円 うち県負担 26,666円
 合計18件 40,345円 26,890円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	農業資金利子補給事業費							決算書P.	167
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
236	0	0	0	236

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		269	251	236	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		229	226	233	18負担金補助及び交付金	236	233			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	114	113	113						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	115	113	120						
対前年度比 (増減額)			△3	7						
対前年度比 (増減率)			△1.3%	3.1%						

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

効率的かつ安定的な経営を目指す農業者に対し、農業経営規模の拡大、合理化、その他の経営改善に要する資金を支援することにより、農業構造の確立を図る。

【事業の成果】

農業者が自ら農業経営の改善を図るため、借入た資金の借入残高に応じて負担する借入金利を利子補給することで、農業者の負担を軽減することができた。

○農業近代化資金利子補給補助金

支払先	貸付件数	市補助金額
千葉みらい農業協同組合	1 件	7,106円
合計	1 件	7,106円

○農業經營基盤強化資金利子補給補助金(1/2県補助)

支払先	貸付件数	市補助金額	うち県負担分
(株) 日本政策金融公庫	8 件	225,816円	112,905円
合計	8 件	225,816円	112,905円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	落花生種子更新事業費							決算書	P. 167
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
200	0	0	0	200

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		200	200	200	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		200	200	150	18負担金補助及び交付金	200	150			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	200	200	150						
対前年度比 (増減額)			0	△50						
対前年度比 (増減率)			0.0%	△25.0%						
							合計	200	150	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

市の特産品である落花生の栽培面積が減少傾向にある中で、落花生の種子更新を行う生産者に対し補助金を交付することにより、栽培面積の確保と品質の向上を図る。

【事業の成果】

市内農業者に販売した落花生種子(千葉半立)の販売額の1/2を、販売者である千葉みらい農業協同組合に補助し、栽培面積の確保並びに品質の保持・向上を図ることができた。

○落花生種子更新補助金 149,535円

※事業費の 1 / 2 以内 20万円限度

- ・補助金交付先 千葉みらい農業協同組合
- ・購入農業者 8 名
- ・購入数量 135kg (15kg/袋×9袋)

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	農林業対策費						決算書	P. 167,169
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課	

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
1,397	0	0	0	1,397

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		736	1,143	1,397	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		720	1,062	1,209	10需用費 ①消耗品費	115	110	26公課費	5	5
特定 財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ②燃料費	73	51			
	県支出金	0	0	0	10需用費 ④印刷製本費	94	78			
	市 債	0	0	0	10需用費 ⑥修繕料	83	49			
	その他	87	93	88	11役務費	25	22			
	一般財源	633	969	1,121	12委託料	473	473			
対前年度比 （増減額）			342	147	13使用料及び賃 借料	90	84			
対前年度比 （増減率）			47.5%	13.8%	18負担金補助及 び交付金	311	307			
					22償還金、利子 及び割引料	128	30			
								合計	1,397	1,209

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

農地及び山林の保全及び法令業務に係る需用費及び委託費等

【事業の成果】

◎需用費 288,308円

（消耗品費） 109,437円

・事務用消耗品（24,957円） ・緑化推進用の苗及び苗木の購入費（84,480円）

緑化推進用の苗及び苗木を畑の所有者に提供し、夕日丘地区で延長約113mに植栽され、大雨時の土砂流出対策と緑化推進が図られた。

（燃料費）51,381円 （修繕料）49,390円 ・公用車の燃料費及び修繕料

（印刷製本費） ・緑化推進門松カードの作成 78,100円

門松カード（37,000枚）を配布し、多くの市民に活用され森林愛護と緑化推進が図られた。

◎役務費 21,620円

・公用車保険料 17,540円

・農地中間管理事業通信運搬費 4,080円

農地中間管理機構から受託している農地中間管理事業の事務に係る郵送代（切手代）で、令和5年度は14件の農地中間管理事業を活用した農地の賃貸借権が設定された。

◎委託料 473,000円

・水土里情報システム保守管理業務 473,000円（農地情報・航空写真等の更新及び保守管理業務）

水土里情報システムを活用し、法令業務の適正化と効率化を図り、農地の利用調整等を行い、令和5年度は、約19.8haの新規の農地集積（貸借）が行われ、農地の適正な利用が図られた。

◎使用料及び賃借料 83,600円

・千葉県森林クラウド年間使用料 83,600円

千葉県森林クラウドを活用し、森林法に伴う法令業務の適正化と届出や相談等への迅速な対応ができ千葉県及び林業事業体とリアルタイムで情報共有された。（R5年度 届出受理件数 40件）

◎負担金 ・農林業及び土地改良区関係の各団体への負担金 307,300円

各団体への負担金により、農林業や土地改良事業に係る業務への支援や研修会等の開催、各事業の普及啓発及び推進活動などの事業が行われ、農林業及び土地改良事業の振興が図られた。

◎償還金 ・機構集積協力金返還金 30,000円

機構集積協力金の交付を受けた者が令和5年度中で中途解約し、10年間の賃借要件を満たさないことから千葉県補助金等交付規則等により、市を通じて千葉県へ返還するものです。

◎公課費 ・自動車重量税 5,000円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	農村地域整備開発促進事業費							決算書P.	169
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
77	0	0	0	77

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		91	91	77	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		77	77	77	7報償費	77	77			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	77	77	77						
対前年度比 (増減額)			0	0						
対前年度比 (増減率)			0.0%	0.0%						
							合計	77	77	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

農業振興地域整備計画の重要事項について、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、意見を伺うことを目的とした農業振興地域整備促進協議会の委員報償。

【事業の成果】

八街市農業振興地域整備計画変更申請（農振除外・編入）に基づき、農業振興地域整備促進協議会を開催し、委員からの意見を踏まえて千葉県へ協議の申請を行った。

◎八街市農業振興地域整備促進協議会委員報償 77,000円

- ・令和5年度 第1回開催
審査案件 除外申請 5件
調査期間 令和5年7月3日（月）～令和5年7月19日（水）
委員 11名 × 3,500円 = 38,500円
- ・令和5年度 第2回開催
審査案件 除外申請 6件
調査期間 令和5年12月22日（金）～令和6年1月10日（火）
委員 11名 × 3,500円 = 38,500円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	農業再生協議会事業費							決算書	P. 169
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
110	0	0	0	110

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		840	1,610	110	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		815	1,546	110	18負担金補助及び交付金	110	110			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	815	1,546	110						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	0	0						
対前年度比 （増減額）			731	△1,436						
対前年度比 （増減率）			89.7%	△92.9%						
							合計	110	110	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

経営所得安定対策等の実施に伴い、経営所得安定対策の推進及びこれを円滑に実施するための行政と農業者団体等の連携体制の構築、戦略作物の生産振興や米の需給調整、地域農業の振興を図ると共にこの他、農地の利用集積、荒廃農地等の再生利用、担い手の育成・確保等に資することなどを目的とし、事業を行っている再生協議会を支援する。

【事業の成果】

経営所得安定対策を推進する八街市地域再生協議会の運営に係る経費を負担することにより、八街市地域再生協議会が推進する経営所得安定対策の推進が図れた。

○地域農業再生協議会運営事業補助金 110,000円
※全額県支出金充当事業

・制度パンフレット代	36,000円
・振込手数料	1,540円
・消耗品	70,612円
・通信運搬費	1,848円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	多面的機能支払交付金事業費							決算書P.	169
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
2,261	0	0	0	2,261

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		2,274	2,261	2,261	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		2,260	2,260	2,260	18負担金補助及び交付金	2,261	2,260			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	1,695	1,695	1,695						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	565	565	565						
対前年度比 (増減額)			0	0						
対前年度比 (増減率)			0.0%	0.0%						
							合計	2,261	2,260	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

地域の共同活動により、農用地・水路・農道等の地域資源の保全活動を行っている団体を支援することで、地域資源の適切な保全管理を推進し、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る。

【事業の成果】

用草区・大谷流区・小谷流区・勢田区・岡田区・根古谷区に存在する農用地、水路、農道等の地域資源の保全活動を行っている「鹿島川上流地区地域資源保全会」により、交付金を活用した地域の共同活動が行われ、地域資源の適切な保全管理がなされた。

◎多面的機能支払交付金 2,260,400円

(対象農地面積) 田：7,450 a 畑：127a

(交付金額) 田: $7,450 \text{ a} \times \text{交付単価} (3,000 \text{ 円} / 10 \text{ a}) = 2,235,000 \text{ 円}$

烟： 127 a × 交付単価 (2,000円/10a) = 25,400円 (合計) 2,260,400円

(負担割合) 国50%・県25% (県支出金 1,695,300円)

市25% (市負担額 565,100円)

(令和5年度 鹿島川上流地区地域資源保全会活動実績)

- ・ 総会実施（1回）
- ・ 運営委員会議実施（1回）
- ・ 鹿島川川土手の草刈（13日間）及び草焼却作業（1日間）
- ・ 鹿島川川土手の修復及び土嚢積み作業（2回）
- ・ 川土手支障木伐採作業（1回）
- ・ 活動区域の全体パトロール（1回）及び点検（13回）
- ・ 草刈り機、運搬車等の点検、修理（6回）

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	土地改良事業推進費							決算書	P. 169
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 3 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
149,448	△ 687	0	0	148,761

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		18,925	21,103	148,761	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		18,792	20,943	148,459	18負担金補助及び交付金	148,761	148,459			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	600						
	その他	0	0	0						
一般財源		18,792	20,943	147,859						
対前年度比 (増減額)			2,151	127,516						
対前年度比 (増減率)			11.4%	608.9%						
							合計	148,761	148,459	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

土地改良施設の維持管理に対する負担金及び北総中央用水土地改良区の運営費に対する補助金を関係市町の受益面積又は流域面積割で分担している。また、北総中央用水土地改良事業建設費の償還については、国・県・関係7市で分担している。関係機関の負担金及び補助金により、土地改良区の安定した運営と良好な施設の維持管理が行われ、農業生産の向上と農業経営の安定化を図る。

【事業の成果】

◎北総中央用水土地改良区への負担金及び補助金の支援により、土地改良区の安定した運営と施設の維持管理が行われ、利根川から安定した農業用水を導き、また、調整池の良好な維持管理により、畑地帯の冠水被害も軽減され、農業生産の向上と農業経営の安定化が図られた。

○北総東部用水共用施設維持管理負担金 3,646,161円

(取水口から分水地点までの北総中央と北総東部の共用施設の維持管理負担金)

$$11,829,000\text{円(共用施設維持管理費)} \times 35.5\%(\text{本市の負担率}) - 553,134\text{円(前年度精算額)} = 3,646,161\text{円}$$

○北総中央用水土地改良事業建設費負担金 131,951,212円 (国営事業建設費の償還)

本市の償還総額 1,987,059,998円 償還利率 0.2% 償還期間 2年据置期間を含めて17年間

償還額 (R3~R4) 3,895,910円/年 (R5年~R19) 131,951,212円/年

○北総中央用水排水施設維持管理負担金 459,740円

$$\cdot \text{実ノ口調整池維持管理費負担分 } 730,000 \text{円 (維持管理費)} \times 36\% \text{ (本市の負担率)} = 262,800 \text{円}$$

・高松調整池維持管理費負担分 336,650円(維持管理費)×58.5%(本市の負担率) = 196,940円

○北総中央用水土地改良区運営費補助金 10,372,000円

$$32,000,000\text{円（運営費）} \times 32.4112\% \text{（本市の負担率）} \div 10,372,000\text{円}$$

○県営用排水改良事業分担金 700,000円

◎印旛沼土地改良区では、流域関係15市町の負担金により良好な施設の維持管理が行われ、本市では水田の安定した営農が図られ、併せて農業用水の水質保全にも結びついている。

○印旛沼流域排水負担金 1,329,624円 (印旛沼土地改良区)

$$9,045,063\text{円（市町の負担金）} \times 14.7\% \text{（本市の負担率）} \approx 1,329,624\text{円}$$

令和 5 年度 主要な施策の成果

事業費名	畜産業振興費							決算書	P. 169,171
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 4 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
338	0	0	0	338

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		429	2,140	338	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		292	2,074	258	10需用費 ①消耗品費	5	0			
特定財源	国庫支出金	0	0	0	10需用費 ②燃料費	149	98			
	県支出金	0	1,725	0	10需用費 ⑥修繕料	75	54			
	市 債	0	0	0	11役務費	20	18			
	その他	0	0	0	18負担金補助及び交付金	84	83			
一般財源		292	349	258	26公課費	5	5			
対前年度比 (増減額)			1,782	△1,816						
対前年度比 (増減率)			610.3%	△87.6%						
							合計	338	258	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

畜産経営の健全な発展及び安全な畜産物を安定的に供給するために支援を行い畜産業の振興を図る。

【事業の成果】

畜産経営の安定、生産性の向上に寄与し、畜産業の振興が図れた。

○公用車 (No. 4193) 燃料費	98,643円
○公用車 (No. 4193) 修繕料(車検代、エンジンオイル交換代)	53,768円
○公用車 (No. 4193) 役務費(車検時自賠責保険料)	17,540円
○千葉県畜産協会負担金	13,400円
○印旛郡市畜産振興協議会負担金	70,000円
○公用車 (No. 4193) 公課費(車検時重量税)	5,000円

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	畜産防疫事業費							決算書P.	171
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 4 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
400	0	0	0	400

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額（最終）		400	400	400	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		400	400	400	18負担金補助及び交付金	400	400			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	400	400	400						
対前年度比 (増減額)			0	0						
対前年度比 (増減率)			0.0%	0.0%						
							合計	400	400	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

家畜農家の環境衛生、家畜防疫、畜産公害の防止及び安定的な畜産物の供給を図る。

【成果】

家畜感染症の予防ができ、伝染病等の患畜は発生せず畜産業の経営安定に努めることができた。

○市家畜防疫協会補助金 400,000円

- | | | |
|----------------------------|-----|---|
| ・牛アカバネ病（生）ワクチン予防接種補助 | 25 | 頭 |
| ・牛アカバネ病（3種混合）ワクチン予防接種補助 | 107 | 頭 |
| ・牛伝染性鼻気管炎5混（不）ワクチン予防接種補助 | 26 | 頭 |
| ・牛伝染性鼻気管炎6混（生・不）ワクチン予防接種補助 | 13 | 頭 |
| ・牛伝染性鼻気管炎6混（生）ワクチン予防接種補助 | 5 | 頭 |
| ・豚コレラ（CSF、豚熱）ワクチン予防接種補助 | 680 | 頭 |

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	家畜改良事業費							決算書	P. 171
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 4 目	事業種別	継続	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
300	0	0	0	300

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		300	300	300	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		300	300	300	18負担金補助及び交付金	300	300			
特定財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	300	300	300						
対前年度比 (増減額)			0	0						
対前年度比 (増減率)			0.0%	0.0%						
							合計	300	300	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

優良な乳用牛精液を導入することにより、搾乳牛の乳量と乳質の向上、品質を安定させ年間を通して安定した乳生産を図る。

【成果】

雌牛の出生確率の高い優良な乳用牛精液を導入し、次世代を担う乳用牛への改良を行い、畜産経営の安定を図った。

○乳用牛改良事業補助金 300,000円

※事業費の1/2 限度額 500,000円

• 乳用牛精液 268本

令和5年度 主要な施策の成果

事業費名	八街市飼料価格高騰対策支援金事業費							決算書	P. 171
会計区分	一般会計	予算科目	5 款 1 項 4 目	事業種別	新規	担当課等	農政課		

1. 予算額（最終）（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	繰越予算額	予備費 及び流用額	合 計
0	29,209	0	0	29,209

2. 決算額及び財源の内訳（単位：千円）

年度区分		3 年度	4 年度	5 年度	令和 5 年度の歳出(節・細節)内訳					
予算額 (最終)		0	0	29,209	節(細節)	予算額	決算額	節(細節)	予算額	決算額
決算額		0	0	29,208	10需用費 ①消耗品費	10	9			
特定財源	国庫支出金	0	0	29,208	11役務費	3	3			
	県支出金	0	0	0	18負担金補助及び交付金	29,196	29,196			
	市 債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
一般財源		0	0	0						
対前年度比 (増減額)			0	29,208						
対前年度比 (増減率)			0.0%	皆増						
							合計	29,209	29,208	

3. 事業の概要・成果

【事業の概要】

コロナ禍における飼料等価格の高騰により、経営に影響を受ける市内畜産農家の負担を緩和するため、一経営体につき、令和4年分の飼料購入額において、令和3年分の飼料購入額からの増額分に30%を乗じて得た額の支援金を給付する。

【事業の成果】

コロナ禍において飼料価格高騰の影響を受けている市内畜産農家に対して支援金を交付することで、市内畜産農家の農業経営を支援できた。

- ・ 消耗品費 9,352円 (コピー用紙等)
- ・ 通信運搬費 2,508円 (郵送代)
- ・ 補助金 29,196,000円 (支給件数17件)